

中国地域環境関連マップ 2010
ガイドブック

平成 22 年 3 月

経済産業省 中国経済産業局

【 資料編 目次 】

1. 県別の廃棄物資源化状況	1-1
2. 環境産業関連施策(各県、主要都市)	
2-1. 各県の環境関連施策	2-1
2-2. 主要都市の環境関連施策	2-7
3. 地域の取組み(国、自治体等)	
3-1. 国、自治体等	3-1
3-2. 情報交換システム(マッチングシステム)制度一覧	3-9
4. インフラ	
4-1. 再資源化関連施設:各種リサイクル法関係	
4-1-1. 容器包装リサイクル関係【民間の再生処理事業者】	4-1
4-1-2. 容器包装リサイクル関係【公共のリサイクルプラザ・センター】	4-3
4-1-3. エコタウン中核施設	4-8
4-1-4. 自動車・家電リサイクル関連施設・リサイクルポート	4-12
4-2. 再資源化関連施設	
4-2-1. RDF 製造施設	4-13
4-2-2. RPF 製造施設	4-16
4-2-3. バイオマス発電施設	4-18
4-2-4. 廃棄物発電施設	4-22
4-3. 教育・研究機関	
4-3-1. 教育・研究機関の概要	4-25
4-3-2. 大学等における研究者一覧	4-27
4-3-3. 研究機関における研究内容一覧	4-41
5. 環境関連企業	
5-1. 廃棄物リサイクル分野	5-1
5-2. バイオマスリサイクル分野	5-15
5-3. 環境関連機器製造分野	5-24
5-4. 環境調和型製品製造分野	5-40

1. 県別の廃棄物資源化状況

1. 県別の廃棄物資源化状況

項目		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	中国地域	
一般廃棄物	収集ごみ量 (万t)	19.0	20.6	62.0	91.3	49.9	242.8	
	直接搬入量 (万t)	1.9	4.7	7.8	8.7	10.3	33.4	
	集団回収量 (万t)	0.9	0.2	5.9	2.8	1.9	11.7	
	ごみ総排出量 ¹⁾ (万t)	21.8	25.5	75.7	102.8	62.1	287.9	
	資源化量 ²⁾ (万t)	3.4	5.6	12.6	21.6	15.5	58.7	
	リサイクル率 ³⁾ (%)	19.7%	22.7%	24.4%	23.7%	28.0%	-	
	最終処分量 (万t)	2.5	4.3	6.8	12.3	7.2	33.1	
	発電施設	施設数	1	1	5	7	4	18
		発電能力 (kw)	4,000	3,690	17,858	46,500	12,780	84,828
	資源化施設	施設数	3	4	8	11	6	32
処理能力 (t/日)		161.0	231.5	158.6	522.0	283.6	1,356.7	
産業廃棄物	排出量 (万t)	64.0	169.3	697.7	860.0	875.2	2,666.2	
	再生利用量 (万t)	45.3	90.4	265.9	427.3	396.4	1,225.3	
	リサイクル率 (%)	70.8%	53.4%	38.1%	49.7%	45.3%	-	
	最終処分量 (万t)	2.4	38.3	51.0	60.4	76.6	228.7	

1) ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

2) 資源化量＝市町村資源化量(集団回収量を含まない)

3) リサイクル率＝(資源化量合計＋集団回収量)/(ごみ処理量＋集団回収量)＝(資源化量合計＋集団回収量)/ごみ総排出量

※ 発電施設に関する詳細は、「4-2-4. 廃棄物発電施設」を参照。

※ 資源化施設に関する詳細は、「4-1-2. 容器包装リサイクル関係【公共のリサイクルセンター・プラザ】」を参照。

■調査年度

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
一般廃棄物	H19年度				
産業廃棄物	H19年度		H16年度	17年度	15年度

※参考資料

【一般廃棄物】

環境省HPより 廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理実態調査結果(平成19年度実績)

http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/h19/index.html

【産業廃棄物】

各県の産業廃棄物実態調査結果／各県の環境・廃棄物関連部局

○鳥取県

鳥取県HPより 産業廃棄物実態調査(平成19年度実績)結果について

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=101970>

○島根県

島根県HPより 平成20年度しまね循環型社会の現状報告(平成19年度実績データ掲載有)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/haikibutsu/junkankeikaku.html>

○岡山県

岡山県HPより 第2次岡山県廃棄物処理計画 第4章 産業廃棄物

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=46273

○広島県

広島県HPより 平成18年度広島県産業廃棄物実態調査(平成17年度実績)

http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/i/i2/sanpai_top/sanpai_top.html

○山口県

山口県HPより 平成19年(2007年)度版山口県環境白書(平成15年度実績)

http://eco.pref.yamaguchi.jp/policy/whitepaper/kankyo_ymg2007.htm

2. 環境産業関連施策（各県、主要都市）

2 - 1 . 環境産業関連施策（各県）

2-1.各県の環境関連施策(平成22年度)

(1)鳥取県

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	【経済成長戦略】 リサイクルビジネス推進 アクションプラン策定事業	1,537	商工労働部 経済通商総室	○環日本海定期貨客船航路、鳥取自動車道など新たな交通 インフラの活用を視野に入れ、地域の循環資源(金属くず、 廃プラなど)の現状、将来動向等を調査し、新たな時代にお ける鳥取県のリサイクルビジネスの取組方針を策定する。
2	【経済成長戦略】 太陽光発電関連 産業育成事業	10,874		○産学官が連携し、県内企業の太陽光発電関連産業への新 規参入、技術者等を対象とした人材育成などに取り組むとと もに、産業技術センターに先導的な研究開発業務等を委託 する。(緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別交付金事業)
3	【経済成長戦略】 次世代LED開発促進事業	3,000		○今後も成長が期待されるLED関連産業について、県内で 約30社が関連商品の開発に取り組み始めていることから、企 業間連携による新プロジェクト創出を促進するための「LEDコ ンソーシアム」を設置し、コンソーシアムから生まれたプロジェ クトに対して調査経費を支援する。(補助率2/3 上限1,000 千円) (※コンソーシアム設置経費は「ふるさと雇用再生特別交付金 事業」により別途5,026千円計上)
4	【温暖化防止県民運動】 地球温暖化防止推進事業	9,290	生活環境部 環境立県推進課	○地球温暖化対策の普及啓発や人材育成について、地域 の核となる県地球温暖化防止活動推進センター(平成22年 度に指定予定。)に委託して実施する他、県地球温暖化対策 条例の普及啓発等を行う。(委託費の一部は「ふるさと雇用再 生特別交付金事業」により別途3,000千円計上)
5	EVタウン推進事業	17,706		○電気自動車(EV)の普及を推進するため、県庁としてカー シェアリング(レンタカー)による利用を行うとともに、充電イン フラ整備への支援を行う。(レンタカー3台の平日借り上げ、急 速充電器10箇所相当・充電スタンド25箇所相当の設置)
6	住宅用太陽光発電等 導入促進事業	180,070		○太陽光発電システム等の新エネルギー設備やLED照明、 高効率給湯器等の省エネルギー設備の導入促進を図るた め、太陽光発電システムとその他の設備を複合的に導入する 事業に対して、市町村と連携した支援を行う。
7	環境にやさしいLED照明 導入促進事業	50,100		○とっとり発グリーンニューディール政策の一環として、県内 で製造されるLED照明の製造事業者が新たに未開拓分野 への開拓にチャレンジする場合、モデル的に導入する経費に 対して助成する。(補助率 1/3)また、市町村が地元企業 や地域と連携して、商店街アーケード照明・防犯灯・公園照 明などにLED照明を導入又は地域等に補助する場合に助 成する。(補助率 1/2)
8	ごみ減量リサイクル 実践推進事業	2,949		○可燃ゴミの大半を占める紙ごみ、生ごみの分別徹底を図る ため、県連合婦人会に委託し、家庭における分別や生ごみ の水切りの実践効果の検証を行い、効果を数値で明確にア ピールするとともに、段ボールを活用した低コストの生ごみ堆 肥づくりの普及を図る。
9	ラムサール条約湿地 "中海"登録5周年事業	20,905	生活環境部 公園自然課	○中海のラムサール条約湿地登録5周年を記念し、島根県 及び関係自治体等と連携し、条約の趣旨である「環境保全」 と「賢明利用(ワイズユース)」の重点的な普及啓発フォー ラムを行うとともに、住民活動等の取組を支援するため補助金 を創設する。また、水質浄化が期待できるアマモ・コアマモの 藻場造成をNPO法人に委託して実施する。
10	環境にやさしい・木の住まい 助成事業	259,380	生活環境部 住宅政策課	○県産材を活用した住宅の新築及びリフォームに対する助成 制度について、住宅建設における環境負荷低減を促進する 観点から、助成内容の一部見直しを行った上で補助制度を3 年間延長するもの。

(鳥取県のつづき)

11	森林J-VER推進事業	6,750	農林水産部 森林・林業総室	○県内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、県営林においてCO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VER)の取得を行うとともに、民間事業者が取得する際の所要経費に対して支援(補助率1/2)を行う。(板井原県営林及び民間5社を想定)
12	木質バイオマス発電・熱供給等事業化調査・実証試験事業	1,680		○日南町で計画されている木質バイオマス発電・熱供給施設等を対象に、事業化調査、木質バイオマスの供給実証試験に係る経費を支援(補助率2/3)する。
13	未利用エネルギーを活用した小水力発電導入検討事業	13,230	企業局 経営企画課	○賀祥ダムから放流される水資源を有効的に活用するため、小水力発電施設を設置するにあたり基礎調査を実施するもの。

(2) 島根県

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	しまねものづくり 産業活性化プロジェクト	242,215	商工労働部	<p>○県内製造業の競争力強化を図るため、経営管理面の強化や技術力の底上げなどものづくり企業を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまねのものづくり高度化支援事業 ・技術革新支援総合助成事業 ・戦略的取引先確保推進事業 ・しまね産学官連携促進支援事業 ・ものづくり産業中核人材育成支援事業
2	新産業創出プロジェクト	298,357		<p>○競争力のある新技術や新素材を活用した新事業展開を実現・拡大するため、事業化に向けた企業との共同開発と市場開拓等を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新産業創出戦略構築事業 ・熱制御システム開発プロジェクト ・新エネルギー応用製品開発プロジェクト ・機能性食品産業化プロジェクト ・プラズマ熱処理技術開発プロジェクト ・ICT技術開発プロジェクト
3	資源循環型技術 経営支援事業	40,000		<p>○産業廃棄物の発生の抑制、減量化、再生利用に関する技術、または産業廃棄物の原材料として利用した製品を民間企業が研究開発するのに必要な経費を助成するとともに、産業技術センター等の公設試験研究機関が基礎研究を実施することにより民間の応用研究を支援。</p>
4	森林整備加速化・林業 再生事業 (木質バイオマス 利用施設等整備)	2,332,000 (うち48,800)	農林水産部	<p>○木質バイオマス資源の利用促進に資するもので、周辺地域への波及効果の高い公共施設等におけるボイラーの整備等を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー等導入支援
5	しまねグリーン製品 認定・普及促進事業	6,661	環境生活部	<p>○循環資源を利用した製品の利用促進による廃棄物の発生抑制・再資源化を推進するとともに、環境に配慮した県産品を育成し県内産業の振興を図るため、一定の基準を満たしたリサイクル製品を認定する制度を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象商品の募集・審査・認定 ・認定商品の県内外へのPR
6	産業廃棄物リサイクル 施設等整備促進事業	55,000	環境生活部	<p>○産業廃棄物の循環的な利用を図るとともに、循環型産業の活性化を推進することを目的として、事業者が産業廃棄物の排出抑制、減量化、リサイクルに効果が高く、先進的な事業等で県内への波及効果が高い施設を新たに設置又は改造する場合に、その経費の一部を助成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率及び補助上限額: 1/3、1千万円、特に内容が優れており波及効果が高いもの1/2、2千万円

(3) 岡山県

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	ストップ温暖化！推進事業	263,443	環境政策課	<p>○地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき地球温暖化防止対策に関する新たな県実行計画を策定するほか、太陽光発電や省エネ設備の導入支援、電気自動車の導入支援などを行い、県民、事業者それぞれの主体的なCO2削減の取組を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・地球温暖化防止行動計画策定事業 ・太陽光発電・省エネ設備設置促進事業 ・EV普及促進事業 等
2	岡山県自然環境プラン(仮称)策定事業	3,121	自然環境課	<p>○自然保護条例に基づく、自然保護に関する基本的かつ総合的な施策に係る基本方針である岡山県自然保護基本計画の目標年度が平成22年度までであることから、次期計画として「岡山県自然環境プラン(仮称)」を策定する。</p>
3	環境学習推進事業	28,634	環境政策課 自然環境課	<p>○県民一人ひとりが環境問題を自らのこととしてとらえ、身近なところからの取組が求められる中で、環境学習を総合的かつ効果的に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働による環境学習推進事業 ・移動環境学習車運営事業 ・環境学習エコツアー 等
4	マイクロものづくり 岡山創成事業	353,182	産業振興課 経営支援課 工業技術センター	<p>○イノベーションによる新産業の創出を図るため、変革が進む次世代自動車分野について、県内企業における新型電気自動車の共同開発プロジェクトへの参画を支援し開発力を高めるとともに、カーエレクトロニクス化の取組を強化する。また、今後の成長産業である航空機関連産業について、MRJの国内生産開始を踏まえ、競争力の強化を支援し受注拡大を図る。</p>
5	電池関連産業創出事業	4,468	産業振興課	<p>○イノベーションによる新産業の創出を図るため、今後の発展が見込まれる燃料電池、太陽電池、二次電池などの電池関連分野において、産学官連携による新技術、新製品の研究開発を推進する。</p>
6	グリーンバイオ・プロジェクト 推進事業	69,966		<p>○食料と競合しないセルロース系バイオマス資源を、高機能で付加価値の高い次世代バイオ材料や石油代替性のあるバイオ燃料として利用するための先端技術の開発等を推進する。</p>

(4) 広島県

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	LED関連産業 創出プロジェクト	58,485	商工労働局	○LED開発支援体制を確立するとともに、産学官の連携体制を構築し、LED関連産業の統合的な支援を行う。
2	低炭素化技術の 研究開発推進事業	10,260		○低炭素社会づくりに貢献するため、産業科学技術研究所に低炭素技術研究・活用センターを設置するなど、産学官連携で研究開発から産業利用までを一体的に推進する。
3	木質等バイオマス 事業者推進事業	1,000		○幅広い木質等バイオマスに着目し、その具体的な利活用技術開発や事業化に向けた取組みを支援することにより、関連産業の創出を図る。
4	ひろしまEVタウン 推進事業	92,250	環境県民局	○環境にやさしい電気自動車(EV)の導入を促進するため、レンタカー会社を通じた観光地等への配置を支援する。
5	広島県グリーン ニューディール 基金事業	719,200		○住宅用太陽光システム等普及促進事業 ○事業者等省エネ改修支援事業 ○公共施設省エネ・グリーン化推進事業 ○微量PCB汚染廃電気機器等把握支援事業 ○アスベスト廃棄物処理施設整備事業 ○微量PCB廃棄物処理施設整備事業
6	環境保全活動 支援事業	26,316		○地球温暖化問題や廃棄物問題等の環境問題の解決に向けて、県民・事業者・行政の一体的な取組を強化する。 ・エコチャレンジ日記、エコカレンダーの作成・配布 ・廃棄物抑制に関する啓発・広報の実施
7	びんごエコタウン 推進事業	414,858		○循環型社会の拠点形成とリサイクル産業の振興を図るため、県内初のリサイクル企業向け用地「びんごエコ団地」を分譲し、企業立地促進のため助成する。
8	産業廃棄物排出 抑制・リサイクル施設 整備費助成事業	401,107		○資源循環型社会への転換を進める上で、効果が大きいと認められる産業廃棄物の排出抑制・リサイクル施設の整備に要する経費の一部の助成をする。
9	事業所内廃棄物 排出抑制支援事業	30,450		○事業所から排出される産業廃棄物を抑制するため、排出事業者自らが行う「産業廃棄物の排出抑制を目的とする機器整備」に要する経費の一部の助成をする。
10	排水処理新技術 実用化プロジェクト	10,000		○瀬戸内海域への排水のうち、汚濁物質や汚泥の排出量が大きい業種に対し、排水処理過程で発生する新エネルギーの活用等が期待されるバイオマスによる汚濁物質削減等の新技術の導入を促進する。

(5) 山口県

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	産業廃棄物適正処理 推進事業	54,518	環境生活部	○監視パトロール等による不適正処理の未然防止を図るとともに、関連事業者の優良化に向けた取組みを推進する。
2	食品ロス削減推進事業	1,146		○食品廃棄物の減量化を図るため、新たに家庭、飲食店、食品工場等において食品ロスとして廃棄されている食品の有効活用を推進する。
3	浄化槽設置整備事業	253,039		○生活排水(し尿と雑排水)の処理を適切かつ効率的に行うため、市町の浄化槽設置助成事業に対する補助を行い、生活環境の保全、公衆衛生の確保及び河川等の公共用水域の水質保全を図る。
4	循環型社会形成 加速化事業	73,770		○山口県循環型社会形成推進基本法に基づき、リサイクル産業創出の支援や、事業者等の3R活動(ごみ減量、再利用、再生利用)の促進に取り組む。 ・地域循環型プロジェクト支援事業 ・やまぐちエコ市場形成事業 ・資源循環事例等認定普及事業 ・循環型社会形成推進基本計画改定事業
5	CO2削減新社会システム 構築事業	9,800		○CO2削減効果の高い社会システムとして、カーボン・オフセットシステム、排出量取引制度等の普及・定着に向けた取組を総合的に推進する。
6	地球にやさしい環境づくり 融資事業	953,759		○環境保全型(温暖化対策を含む)の施設を整備する中小企業、組合及び一般県民に対する金融機関との協調融資(融資枠 1,780,000千円)
7	森林バイオマスエネルギー 定着化事業	24,742	農林水産部	○「バイオマスエネルギー地域利用システム」の定着化を図り、森林バイオマスエネルギーの利用の推進と森林資源の活用を促進する。 ・低コスト収集運搬システム ・中山間地域電熱供給システム
8	省エネ・省資源型産業 集積促進事業	30,000	商工労働部	○宇部地域等で取り組んできた「知的クラスター創成事業」及び「都市エリア産学官連携促進事業」に係る研究成果の事業化を促進するため、県内中小企業に対して、省エネ・省資源分野の先端技術製品の試作品製作に係る経費を助成する等。

※平成22年度に実施される予定の事業について記載

※参考資料

- 1) 鳥取県:平成22年度当初予算における重点事業一覧/鳥取県庁ホームページ(総務部財政課)
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx>
- 2) 島根県:平成22年度当初予算主要事業の概要/島根県庁ホームページ(総務部財政課)
<http://www.pref.shimane.lg.jp/>
- 3) 岡山県:平成22年度主要施策別予算の概要/岡山県庁ホームページ(総務部財政課)
<http://www.pref.okayama.jp/>
- 4) 広島県:平成22年度当初予算の概要、当初予算関係資料/広島県庁ホームページ(総務部財政室)
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>
- 5) 山口県:平成22年度当初予算の概要/山口県庁ホームページ(総務部財政課)
<http://www.pref.yamaguchi.jp/>

2 - 2. 環境産業関連施策（主要都市）

2-2. 主要都市の環境関連施策(平成22年度)

(1)鳥取市

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	全国高校生 「環境問題」 懸賞論文募集事業	920	企画調整課	○広く全国の高校生から「環境問題」に関する懸賞論文を募集し、表彰する。あわせて、シンポジウムを行い、県内及び全国への「環境情報」の発信を行う。 ・応募期日:平成22年9月上旬予定 ・表彰、シンポジウム開催日:平成22年10月下旬の休日
2	花と木のまつり 開催補助金	1,513	経済戦略課	○市民の主体的参加による「花のまつり」(4月29日)、「木のまつり」(11月3日)を開催する。
3	保育園園庭 芝生化事業	9,417	児童家庭課	○保護者との協働により、保育園の園庭を「鳥取方式」で、芝生化する。 ・芝植え作業(6月) ・施肥、冬芝種子まき作業(9月)
4	森づくり市民活動 支援事業	550	林務水産課	○ボランティア団体等による植栽、保育及び交流会の実施。
5	公園芝生化推進事業	3,534	都市計画課	○安全快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高めるための公園、公共空地の芝生化事業。(6,000㎡)
6	家庭用自然エネルギー 導入促進事業	23,870	環境政策課	○自然エネルギーの有効利用と化石燃料に替わるエネルギー普及により二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化の防止を図る。 ○太陽光発電システム、小型風力発電、ペレットストーブ、薪ストーブ、太陽熱温水器等の設置費等に補助。
7	ごみの減量化及び 再資源化対策費	24,020	生活環境課	○再資源化等推進事業を実施する団体に対し、回収量に応じて、奨励金を交付することによりごみの減量化・再資源化を推進することを目的とする。 ・奨励金単価:古紙類6円/kg、割り箸10円/kg、その他再資源化等対象物4円/kg・本
8	生ごみ減量化 推進事業費補助金	4,140		○ごみの減量化及び再資源化の促進を目的とした生ごみ処理機の購入補助事業。 ・購入金額の1/3を補助(上限2万円)。
9	ごみ減量化推進事業	2,437		○あらゆる世代を対象に、ごみダイエットについて、様々な事業を総合的に実施する。 ・環境ワークショップ、オリジナル・マイバッグ・コンテスト ・ノーレジ袋・マイバッグ持参推進啓発キャンペーン ・生ゴミ処理機貸出 等

(2)松江市

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	屋外運動場 芝生化事業	59,341	学校管理	<p>○子どもたちの体力向上や、地球温暖化対策のための緑化意識の普及や高揚を図るとともに、地域コミュニティの醸成や新たな地域連携のきっかけづくりのため小学校の屋外運動場芝生化事業を実施する。</p> <p>【芝生化実施校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度(芝生植栽) 内中原小・朝酌小・宍道小 ・平成22年度(芝生植栽) 古志原小・竹矢小・川津小 持田小・法吉小・佐太小・玉湯小 ・平成23年度～26年度 各7校
2	新ごみ処理施設 建設事業	7,970,228	環境施設 建設	<p>○環境に配慮した新ごみ処理施設が、平成23年3月竣工予定。</p> <p>【事業期間】 平成19～22年 【全体事業費】 17,034,543千円 【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理方式 シャフト式ガス化溶融炉(処理能力 255t/日) ・敷地面積 約30,400㎡ <p>【環境への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備更新によりダイオキシンの発生を抑制 ・燃焼後に残る再生物を建設資材等に再利用可能 ・排出熱を利用した、発電設備を保有
3	新分別啓発事業 新分別ガイドブック 作製事業 (ごみ収集事業) ごみ処理手数料 審議会経費 (減量対策事業)	16,436	リサイクル 都市推進	<p>○新ごみ処理施設の稼働により変更となる、ごみの収集区分を周知する。また、新たな区分への変更に伴い、手数料の変更について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新分別の周知 900箇所程度を目標に新分別体系の説明会を開催する。 (自治会単位を基本とし、世帯数が多い自治会は複数回実施) ・手数料の検討 変更後の収集区分に見あった新しい料金体系を検討するため審議会を開催する。
4	太陽光発電導入 促進事業費補助金 (地球温暖化 対策事業)	44,896	環境保全	<p>○二酸化炭素排出量削減及び省エネルギーの推進のため、一般家庭及び事務所における太陽光発電システムの設置経費の一部を補助する。</p> <p>【補助率】</p> <p>(住宅上) ・出力1kwあたり70,000円 ・上限3kw(210,000円) ・件数200件</p> <p>(事業所用) ・出力1kwあたり70,000円 ・上限20kw(1,400,000円) ・件数2件</p>
5	屋上・壁面緑化 推進事業 (みどりで省エネ 推進事業)	1,500	環境企画	<p>○市内の建築物で屋上・壁面緑化を促進するため、整備費に対し補助を行い、緑豊かな景観の創出や都市環境の向上を図る。</p> <p>【補助対象】 個人宅や民間施設における建築物の屋上・外壁面の緑化に要した経費(植栽基盤、かん水・排水設備及び植栽経費など)</p> <p>【補助基準額】 屋上、壁面緑化ともに100千円/㎡</p> <p>【補助率】 対象経費の1/2 または (補助基準額)×(緑化面積) のいずれか小さい額</p> <p>【限度額】 屋上:1,000千円/件、壁面:500千円/件</p> <p>【予定件数】 屋上:1件、壁面:1件</p>

(3)岡山市

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	生物多様性地域戦略 づくり推進プロジェクト	1,180	環境局	○「生物多様性元年」と位置づけて、地域全体の理解を深め、市民協働で生物多様性保全に関する取組を進めるとともに、名古屋で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)の成功にも貢献する。
2	身近な生きもの の里事業	2,826		○ホテルなど「身近な生きもの」をシンボルにした地域づくり活動を市民と協働して進め、生息環境の保全に取り組む。
3	ESD推進事業	6,400		○国連大学が認定する「ESDの地域拠点」として、地域全体が連携して効果的なESDを推進していくため、市民団体等の活動支援、指導者の養成、プログラム開発、国内外の地域との交流等を行う。
4	環境パートナーシップ 事業	4,000		○市民・事業者の自主的な環境保全活動の輪の拡大や活動内容の充実を支援する。
5	美しいまちづくり・ 快適なまちづくり事業	19,409		○路上喫煙制限地区・美化推進重点地区の周知徹底を図るとともに、啓発指導を強化し、美しいまちづくりを一層推進する。
6	第2次環境基本計画・ 新実行計画策定事業	7,888		○岡山市環境基本計画を見直すとともに、地球温暖化対策を市域全体で推進するための長期的な計画を策定する。
7	自然エネルギーの 利用促進と省エネルギー 対策の推進	179,950		○住宅用太陽光発電システム導入補助 ○複合的地球温暖化防止設備導入補助 ○「エコ通り」推進 ○市民共同発電所 ○市有施設における環境負荷の低減
8	電気自動車普及 推進プロジェクト	20,100		○関係機関との連携により、市域内への電気自動車等の普及拡大を図る。
9	総合的な汚水処理 対策の推進	9,117,001		○下水道全体計画を見直し、公共下水道と合併処理浄化槽等の適切な役割分担により、総合的な汚水処理対策を推進する。 ・公共下水道整備事業(汚水整備) ・括合併処理浄化槽設置補助
10	ごみ減量化・ 資源化の推進	80,121		○様々な施策によりさらなるごみ減量化・資源化を推進する。 ・環境学習の充実(副読本作成) ・生ごみ処理容器購入費補助 ・ごみステーション設置費補助 ・ごみステーション監視・指導員の配置 ・不法投棄監視カメラ経費等 ・カラス等防護ネット貸与制度
11	バイオ燃料 (廃食用油再生) 地域利用事業	2,300		○家庭と事業所から出るてんぷら油の回収量を増やし、市有ごみ収集車を全車BDF使用とするなど、CO2の削減に地域ぐるみで貢献する。
12	資源化物回収の拡大	22,200		(拡大分) ○食品トレイ回収事業 ○使用済み蛍光灯回収事業
13	焼却残さのセメント 原料化事業	40,000		○当新田環境センターと岡南環境センターの焼却残さをセメント原料としてリサイクルすることで、資源化の推進と最終処分場の延命化を図る。
14	西部リサイクルプラザ 施設整備	44,278		○西部リサイクルプラザを整備することで、資源化の推進と最終処分場の延命化を図ります。平成22年度は事業者選定に向けた取組を進める。

(4)倉敷市

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	ごみ減量化対策事業	149,094	リサイクル 推進部	<p>○ごみの減量化及びリサイクルの推進活動等を行った町内会・子供会等に対する補助金ほか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化協力団体報奨金(1kgあたり6円)113,116千円 ・生ごみ処理容器購入費補助金19,100千円 ほか ・堆肥容器 補助率 2/3、限度額5千円 ・生ごみ処理機 補助率1/2、限度額30千円 ・マイバッグ・マイ箸啓発経費 1,517千円
2	ペットボトル回収事業	78,668		<p>○使用済みペットボトルを市内のスーパー等のリサイクル協力店の店頭回収容器を設置して回収及び選別・圧縮を行う経費。</p> <p>【拠点収集・運搬等委託料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル協力店等のスーパー分 22,916千円 ・水島地区ごみステーション分 4,432千円 ・玉島地区ごみステーション分 5,863千円 ・選別圧縮等委託料 44,889千円 ほか
3	循環型社会推進事業	26,468		<p>○循環型社会形成の推進のため、先進的なリサイクル事業を支援する為の経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成推進モデル事業費補助金 25,000千円 ・先進的なリサイクル事業に対して補助を行う(補助率1/4 限度額 25,000千円) ・岡山エコタウン関係施設巡回見学受入事業費補助金 800千円 ・新ごみ処理事業契約管理委託料 668千円
4	資源循環型廃棄物処理施設運営事業	2,023,473		<p>○PFI手法に基づき一般廃棄物等を処理する経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理業務委託料 2,020,425千円 ・ごみ処理事業契約管理委託料 803千円 ・ごみ質分析手数料 2,250千円
5	新エネルギー(太陽光発電)推進事業	63,000	環境政策部	<p>○新エネルギー(太陽光発電)の導入推進に係る経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金(補助額 30千円/kW, 限度額 120千円)
6	地球温暖化防止対策実行計画策定事業	10,981		<p>○地球温暖化対策実行計画を策定するための経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行計画策定用調査委託費 9,308千円 ・印刷製本費 700千円 ほか
7	地球温暖化対策学習推進事業	1,807		<p>○地球温暖化対策のための啓発事業を行うための経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等講師謝礼金 707千円 ・環境イベント実施負担金 1,000千円 ほか
8	緑のカーテン事業	225		<p>○緑のカーテン(つる性植物)を普及させるための経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 150千円 ・印刷製本費 75千円
9	電気自動車等購入費補助事業	9,000		<p>○電気自動車・充電設備の導入促進に係る経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車等導入促進事業補助金(電気自動車 200千円/台, 充電設備 100千円/台)
10	LED照明設置費補助事業	2,000		<p>○LED照明導入促進事業費補助金</p>
11	電気自動車普及啓発モデル事業	2,160		<p>○電気自動車を普及啓発するため、市が所有する電気自動車を、閉庁日に市民及び観光客へ貸し出す業務を委託するための経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業運営委託料 1,737千円 ・損害保険料 413千円 ・消耗品費 10千円
12	エネルギー使用量削減計画策定事業	4,522		<p>○省エネ法により義務付けられた、エネルギー使用量削減の中長期計画策定に係る経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量調査・削減計画策定委託料 4,500円 他

(5)広島市

事業名	H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など	
1	ゼロエミッションシティ 広島を目指す 第2次減量 プログラムの推進	-	環境局 環境政策課	○第二次減量プログラム(目標年度:平成25年度)に基づき、ごみを可能な限りゼロに近づけ、環境への負担を低減するゼロエミッションシティの実現を目指し、市民、事業者、行政が一体となった取り組みを実施する。
2	民間建築物省エネ設備 改修支援補助事業	120,000	環境局 エネルギー・ 温暖化 対策部企画課	○民間事業者が実施する省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の複合的な導入・改修に関わる費用の一部を補助する。
3	地域照明LED化 普及促進モデル事業	78,113		○町内会を対象にモデル地域を選定し、町内会が管理する街路灯を、蛍光管からLEDに切り替える。
4	大規模事業者 省エネ対策等支援事業	9,041		○温暖化対策条例に基づく計画書制度の運用及び事業者に対する指導・助言を行うとともに、市民参加の排出量取引を試行的に実施する。

(6)福山市

事業名	H21予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など	
1	ふくやまエコファミリー 認定制度	735	環境総務課	○電気、ガス、水道等の使用量削減など、温暖化防止に努める世帯を「ふくやまエコファミリー」として認定。認定世帯には、参加賞と認定証を進呈。
2	エコでえ〜こと キャンペーン	3,000	環境啓発課	○指定する環境にやさしい行動(一行動)に対し発行される1枚のエコシールや、市が指定するスタンプ、または環境にやさしい賞品のエコマークを対象とし、専用応募カード(エコシール・エコマークを貼ったもの)の抽選により景品を交付するもの。 【エコシールの対象となる行動】 ・参加協力店でマイバッグ等を利用し、レジ袋を断る。 ・参加協力店でマイ箸を利用し、割り箸を断る。 ・市が指定する環境講演会・学習会・施設見学に参加する 等
3	ふくやまエコ 企業認定制度	-	環境総務課	○事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減や地球温暖化防止に貢献する活動等に取り組む事業者を「ふくやまエコ企業」として認定するもの。認定者には、エコ企業認定証及び認定ロゴを進呈。また、市内の金融機関内で低利融資が受けられる場合がある。(限定ロゴは、パンフレット、ちらし、ホームページ、広告及び名刺に使用可能)
4	ISO14001 及びエコアクション21 認証取得費補助	3,500		(1)ISO14001の取得 補助対象経費の2分の1以内の額で、500,000円を限度とする額を補助 (2)エコアクション21の取得 補助対象経費の4分の1以内の額で、100,000円を限度とする額を補助 ※ただし、補助金額に千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。
5	太陽光発電設置費補助	28,000		○1kW当たり20,000円を補助。上限:4kW 80,000円

(福山市のつづき)

6	太陽光発電モデル 地区設置費補助	5,600	環境総務課	○1kW当たり70,000円を補助。上限:4kW 280,000円 (モデル地区の認定を受けようとする地区は、近接した5戸以上の住宅にシステムの設置を必要とする。)
7	太陽光発電融資 あっせん	2,000		○1kW当たり250,000円 上限:4kW:1,000,000円 無利子 ※月々の償還額は1万円以上で、融資の月の翌月から起算して50回以内の元金均等月賦償還
8	ふくやまECOスクール 認定制度	—		○学校活動に伴う温室効果ガス排出削減等に取り組む学校を「ふくやまECOスクール」として認定するもの。認定校には、認定証と認定ロゴマークを進呈。
9	住宅用太陽光発電 システム及び 省エネルギー設備 整備費補助事業	8,400		○太陽光及び省エネ設備工事をした場合が対象 1kW当たり 30,000円 上限:4kW 120,000円 ※算出した額が70,000円未満のものは、捕縄金の額を70,000円とする。
10	大規模太陽光発電 システム設置費補助事業	1,000		○市内に事業所を有し市税に滞納がなく、市内の事業所等に1kW当たり5,000円を補助。 ※大規模太陽光発電システムとは、最大出力が50kW以上の太陽光発電設備であり未使用のものを示す。
11	住宅用太陽熱利用 システム設置費補助事業	1,000		○1件当たり 25,000円

(7)山口市

事業名	H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1 公共施設省エネ設備 導入推進事業	6,000	環境部	○本庁舎前庭駐車場にLED照明による外灯を設置する。
2 地球温暖化 対策推進事業	4,000		○市域の温室効果ガス削減のため、エコドライブ講習会や緑のカーテンなどの事業を実施するとともに、山口市地球温暖化対策地域協議会(温暖化とめるつちやネットワークやまぐち)と連携して、環境家計簿の普及啓発やエコイベント開催による啓発を行う。
3 ISO14001 推進事業	1,593		○ISO14001規格に基づき、環境経営の管理手法である計画(Plan)-実施(Do)-点検(Check)-見直し(Action)の環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図る。また、市民、事業者等の環境負荷低減に関する意識を高めていく。
4 住宅用太陽光発電 導入支援事業	13,700		○温室効果ガスの発生抑制に有効な新エネルギーである太陽光発電設備の普及を促進するため、太陽光発電システムを設置する市民に対し、市独自の設置費補助を行う。
5 一般廃棄物最終処分 場整備事業	71,000		○次期一般廃棄物最終処分場の整備に向けた現地調査、設計を行う。
6 資源物拠点回収 施設設置事業	25,610		○24時間いつでも資源物を排出できる資源物ステーションを設置する。また年末時期には、周辺道路の混雑緩和と排出機会の拡大を図るため、臨時資源物ステーションを設置する。
7 事業系ごみ削減 対策推進事業	1,357		○各事業者を対象に啓発・指導等を行い、更なる事業系廃棄物の排出量抑制と資源化を推進する。
8 搬入物適正化事業	5,479		○搬入物検査機により、積荷検査を実施することで、清掃工場に搬入される事業ごみの分別・資源化への誘導や焼却不適物の搬入の防止など、ごみの適正処理を図る。

(8)下関市

事業名		H22予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1	地球温暖化 対策事業	7,460	環境部	○市域における温室効果ガスの削減に向けた普及活動を行うとともに、地球温暖化対策地域協議会を通じ、「みどりのカーテン推進事業」「ノーマイカーデー」等、多様な温暖化対策を市民・事業者と協働で実施する。
2	環境広域・国際連携 推進業務	1,153		○山口県西部5都市の「環境広域連携」や日中韓10都市で構成される「東アジア経済交流推進機構環境部会」での取り組みを中心に、広域的環境問題の現況調査や共同事業を実施する。
3	浄化槽指導業務	91,282		○浄化槽の設置者、保守点検業者に対し、し尿等の適正処理に係る指導を行う。また生活排水等による水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置費用の一部を補助する。
4	環境美化 推進事業	1,649		○地域住民が主体となって実施する清掃活動に対し支援を行っている大賞事業と、毎年1ヶ所の拠点を設けて実施するキャンペーン事業を行う。(しものせき美化美化(びかびか)大作戦の実施)
5	廃棄物減量 推進事業	36,900		○ごみ減量化及び3Rを推進するための諸施策を実施し、限りある資源やエネルギーを有効活用し、地球環境に負担の少ない循環型社会の形成を目指す。(生ごみ堆肥化容器購入補助金、再資源化推進事業奨励金)

3. 地域の取組み



3－1．地域の取組み（国、自治体等）

3-1.地域の取組(国、自治体等)

(1) 中国地方全般

事業主体・施設名	事業場所	題目	取組み概要
経済産業省 中国経済産業局	中国地域全体	地域資源・技術を活用した循環型地域システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬戸内静脈物流システムの輸送ルート等の具体化 ○リサイクル等環境技術・製品情報の広域でのマッチングによる事業化支援 ○個別リサイクル法の厳正な運用及び3Rの取組推進 ○中国地域水ビジネス推進協議会による海外とのマッチング ○環境クラスターのブロックを越えた連携による国内・海外の市場拡大・ビジネスマッチング
		バイオマス・水素の高度利用社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体連携による木質バイオマスの広域高度利活用システム構築の方向性調査 ○バイオマスの高度利用に係る基盤技術研究(試行事業)及び並行した形での地域内利活用システム(川上～川中)の構築支援 ○中国地域バイオマス協議会との連携による木質バイオマスの高度利活用関連事業の情報発信及びビジネス・マッチング(川中～川下) ○水素エネルギー利用開発研究会等との連携による水素自動車・水素供給 ○設備等に係る技術開発、実証事業の支援
		CO2削減に向けた低炭素型エネルギー供給の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○「Sun2太陽光ネットワーク」のメンバー拡充により関係機関との情報共有、情報発信機能強化 ○地域新エネルギービジョン策定の支援等を通じて新エネルギーの導入・利用拡大を支援 ○新エネルギー導入拡大のモデルとなる事業の掘り起こしとともに、次世代エネルギーパークの整備に取り組む自治体を支援 ○工場への太陽光発電導入の働きかけ(工場立地法の緑地等面積の一部へ充当) ○林地残材や下水汚泥を利用したバイオマス発電導入の促進 ○EV及びEV向け急速充電器の導入促進 ○スマートグリッドの導入による最適なエネルギー需給構造の構築に向けた検討 ○電源地域の振興を支援し、原子力発電の立地、プルサーマルの導入を推進 ○広報事業の実施により、原子力発電の立地、プルサーマル導入について地域住民の理解を促進 ○クリーンコールテクノロジーを用いた石炭火力発電の導入に向けた技術開発支援
農林水産省 中国四国農政局	中国地域全体	バイオマス・ニッポン総合戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○バイオマスの総合的な利活用を普及啓発するため、以下の取組みを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス関連情報を広く提供するため、メールマガジンの内容の充実、定期的な発行 ・バイオマスタウン構想策定の推進 ・バイオマスの環づくり交付金等の円滑な実施
	中国地域全体	畜産環境対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○耕種農家のニーズを踏まえた良質堆肥の製造等について畜産サイドに普及啓発を行うとともに、地域資源の循環、化学肥料の代替資材としての利用促進等の観点から耕種サイド、普及サイドに対し家畜排せつ物由来堆肥に関する理解促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜排せつ物と堆肥の利活用を推進 ・家畜排せつ物処理施設の管理運用状況及び法対応状況を把握等
	真庭市	真庭市木質バイオマス活用地域エネルギー循環システム化実験事業	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業では、真庭地域で利活用されていない樹皮、林地残材、間伐材をエネルギー源として地域内で有効に活用し既存燃料の高度化を推進するとともに、地域内で試験的に利用されている木質ペレットを効率よく低コストで供給するシステムの実験を平成17～21年度の5年間をかけて実施。原油換算で年間1,289klのエネルギー利用規模のトータルシステムが成立することを目標とする。

(3. 地域の取組み(国、自治体等)／中国地方全般のつづき)

環境省 中国四国地方 環境事務所	中国地域全体	循環型社会 地域支援事業	○地域において循環型社会の形成に向けた取組みでNGO・NPO・研究機関・事業者が地方公共団体等と連携して行う、他の地域に波及していく、先駆的なモデルとなるような事業を公募により、採択し支援する。
	瀬戸内沿岸	瀬戸内海 海ごみ対策の推進	○瀬戸内海のごみの発生抑制及び適正処理の推進を図るため、関係機関が海ごみ問題に関する共通認識を持って、共同して対策を検討することにより瀬戸内海の環境を維持及び保全することを目的としている。また、瀬戸内海海ごみ対策検討会を設置し、以下の活動を実施している。 ・海ごみの現状把握に関する活動 ・海ごみの回収に関する活動 ・回収した海ごみの適正処理に関する活動 ・海ごみの発生抑制に関する活動等

(2) 鳥取県

事業主体・施設名	事業場所	題目	取組み概要	
鳥取県	県内全域	「4つのR」 普及促進	○イベント、出前説明会、巡回パネル展示、セミナー等による「4つのR」の啓発。 ※「4つのR」Refuse(不要なものを断る)、Reduce(ごみを減らす)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)	
		リサイクル技術・ 製品の実用化支援	○大学、企業等が行うリサイクルに資する技術・製品開発等に対する助成。	
		リサイクル製品 の普及促進	○循環資源(廃棄物、間伐材等)を原材料として加工したもので、安全性等一定の基準を満たしたものを鳥取県認定グリーン商品として認定するとともに、認定事業者で構築する協議会が行う展示会、商談会の開催等に係る経費を支援。 ○溶融スラグの利用促進の検討。	
		リサイクル産業 クラスターの形成支援	○(財)鳥取県産業復興機構における「リサイクル産業クラスターコーディネーター」設置への支援。	
		環境ビジネス の活性化	○環境ビジネスに関心のある県内外の企業等の参集のもと、環境ビジネス交流会を開催。(講演会、シーズ発表会、展示会・商談会、ポスターセッション等)	
		廃棄物リサイクル 施設等の整備	○廃棄物をリサイクルするための施設・設備等を行う企業への金融支援。	
		レジ袋削減	○県内3地域に推進母体となる「ノーレジ袋推進協議会」を設立 ○毎月10日を「ノーレジ袋デー」とし、消費者団体等と協働で店頭キャンペーン及びイベントでの普及啓発。	
		グリーン購入 の推進	○製品やサービスを購入する際、リサイクル製品など環境負荷ができるだけ小さいものやサービスを率先して購入。	
		木質ペレット の利用促進	○県総合事務所等に廃材、端材等を活用した木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを設置。CO2排出削減効果も大。	
10	境港市 下水道センター	境港市	下水道汚泥を 堆肥原料として利用	○市の下水道センターで脱水した汚泥を市内の業者の乾燥炉で水分20%以下とし、鳥取県内にある堆肥工場で水分調整剤として利用。従来のセメント原料と半々で計画。
11	大山町	大山町	木質バイオマス 燃料活用	【大山町バイオマスタウン構想/農林水産省】 ○同町の構想では、木質バイオマスをペレットストーブやボイラーの燃料として活用していくことを通じた林業の再生等、大山町独自の恵まれた環境を絶やすことなく継承し、発展させていく取組みの一つとして、同町一体となってバイオマス資源の有効活用について取り組む。

(3) 島根県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
12	島根県 地域振興部 土地資源対策課	県内全域	地域新エネルギー 導入の取組み	○エネルギー問題や地球環境問題の取組みとして、島根県では「島根県地域新エネルギー導入促進計画」(平成20年6月改定)に基づき、地域新エネルギーの導入に向けた調査や普及・啓発に取り組んでいる。
13	島根県 商工労働部 産業振興課	県内全域	新産業創出 プロジェクト	○新技術・新材料・新製品を開発し、それを県内企業に技術移転し、あるいはその成果を利用した県外企業の誘致により、県内製造品出荷額を増加させるとともに雇用の創出を図る。
14	島根県 環境生活部 廃棄物対策課	県内全域	レジ袋削減 キャンペーンの実施	○3R(ごみの発生抑制, 再使用, 再生利用) 推進の一環として、広報活動などにより県民への啓発を行う。
15	島根県 農林水産部	県内全域	廃棄物資源の 循環利用の促進	○堆肥品質共励会の実施や堆肥利用マップの作成などにより、優良堆肥の循環利用を促進する。
16			木質バイオマス 利用推進プロジェクト	○木質バイオマスのエネルギー利用の促進、安定供給体制作りなどを進める。
17			総合的なバイオマス 利活用の推進	【平成15年度 島根県バイオマス総合利活用計画】 ○畜産排せつ物や製材工場残材、下水汚泥など、バイオマス資源の有効活用が課題となっており、その利活用を積極的に推進するため、平成15年度に2010年を目標とする県の基本計画「島根県バイオマス総合利活用計画」を策定。
18	松江市	松江市	廃食油リサイクル 推進事業	○家庭で天ぷらや揚げ物などに利用した天ぷら油を回収し、精製プラントで処理を行なうことで、バイオディーゼル燃料(BDF)を精製。この燃料をごみ収集車への代替燃料として使用することで、宍道湖・中海・日本海とその流域河川への油流出を防ぎ、環境保全(CO2の削減、水質・大気保護)とごみの減量を進める。
19	出雲市	出雲市	レジ袋無料配布 中止の取組み	○平成21年7月から市内12事業者、27店舗においてレジ袋の無料配布を中止した。この取組みの実施店舗においてはマイバックの持参率が平均85%となっている。
20	出雲市	出雲市	廃食油のBDF 精製・利用	○コミュニティーセンター等を拠点として廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料として精製し、環境施設関係のダンプ車10台、市営生活バス2台に使用。
21	益田市	益田市	生ごみ処理機の 購入補助	○益田市では生ごみの堆肥化を促進し、生ごみの減量化と再利用を図るため、電気式生ごみ処理機械及び生ごみ処理容器コンポスト容器の購入補助を行う。
22			家庭用太陽光 発電システムに 対する補助	○低炭素社会の実現に向け、家庭用太陽光発電システムの設置にかかる費用について補助を行う。(H22年度実施予定)
23	JA雲南	飯南市	ペレット堆肥の 普及推進と 固形燃料の開発	○家畜排せつ物を活用した資源環境型農業資材の販売。

(4) 岡山県

事業主体・施設名	事業場所	題目	取組み概要
24 岡山県 産業労働部	県内全域 (主に岡山市、 倉敷市、真庭市)	バイオマスを 原料とした 素材や燃料の製造・ 普及によるグリーン バイオ産業群の形成	【岡山グリーンバイオプロジェクト/岡山県】 ○地球温暖化防止等の観点からバイオマス産業は、今後の有望分野として期待されているが、原料供給体制や製造コスト等の課題がある。 ○岡山県は中四国一の農林業県であるとともに工業県として優れたものづくりの伝統を有し、バイオマス利用の関連技術を備えた企業があるなど、植物由来の製品生産等を行う上で大きなポテンシャルがあることから、需給両面で地域を挙げた一体的・集中的な取組みを行い、グリーンバイオ産業群を形成して、地域経済の活性化と地域雇用の創出を図るとともに、資源循環型社会の実現に繋げていく。
25 岡山県 生活環境部	県内全域	「岡山エコタウン プラン」の推進	○岡山エコタウンプランは、岡山県が制定した全国初の「岡山県循環型社会形成推進条例」の実行計画となるものであり、環境ビジネスを地域産業の基軸とし、先進的な「環境と調和したまちづくり」を推進すべく以下の取組みを実施している。 ・地域の産業インフラである水島コンビナートで培われてきた高度な環境技術を利用し、地域の処理課題となっている木質系廃棄物等の循環資源を原料とした新しい環境ビジネスを展開。 ・民間企業主導による環境教育の推進 ・本プランのハード事業で製造されるリサイクル品等を学校や企業で積極的に利用するなど、県民一人一人を「環境県民」として育成
26 岡山県菜の花 プロジェクト 推進協議会	岡山県内	菜の花 プロジェクト	○2009年3月に行政、商工・農業・消費者・女性等30団体により、「岡山県菜の花プロジェクト推進協議会」を設立。協議会趣旨に賛同する協賛団体や生産者等の協力を得て、菜の花栽培を通じた遊休地の解消・資源循環型社会の形成に資する活動を行っている。2009年秋に、菜の花栽培希望者に種子の提供を行い（県内各地約20ha分）、協議会でも約6haの菜の花栽培に取り組んでいる。
27 岡山市 バイオディーゼル 岡山株式会社	岡山市	官民協働による バイオディーゼル 燃料化	○岡山市は、市民及びパートナー企業との協働により、一般家庭、学校やスーパーなどの廃食用油をバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルし、ごみ収集車などで軽油の代替燃料として使用する事業を2009年度から実施している。市は一般家庭から出される廃食用油を回収し、パートナー企業は学校や事業所などの廃食用油の回収とBDF製造を行う。BDF製造施設は、パートナー企業が市内に新設し2009年6月より稼働開始している。2009年末現在、市有ごみ収集車62台がB100で運行中。市では、今後、廃食用油の回収量とBDFの使用量を増大させリサイクルの環を広げていきたい考え。
28 玉野市	玉野市	学校給食 センターの 廃食油から BDF燃料製造	○平成15年3月から廃食用油をバイオディーゼル燃料(BDF)に転換する「廃食用油燃料化装置」が稼働しており、市内の2つの学校給食センターから廃食用油を回収、平成21年3月までの6年間で約8,000リットルのBDFを精製している。現在、パッカー車(ごみ収集車)1台とトラック2台をこの燃料が使用できる車として、車検証の記載変更を行っている。
29 新見市	新見市	新見市特定間 伐等促進計画	○京都議定書の第一期間における森林吸収量の目標を達成するため、平成20年度～平成24年度の5か年間で、間伐等の取組みを強力に促進する目的とした計画。

(岡山県のつづき)

30	真庭市	真庭市	廃棄物系 バイオマスの 利活用推進	<p>【真庭市バイオマスタウン構想/農林水産省】 ○木質系廃材、家畜排泄物及び食品廃棄物の廃棄物系バイオマスと未利用木材の未利用バイオマスを主たる対象とし、個々のバイオマスの「収集～変換～利用」の仕組みを体系的に整備し、利用率を高めている。廃棄物系バイオマスの目標利用率90%以上を目指している。</p>
31			バイオマス ツアー真庭	<p>○平成18年12月から財団法人地域総合整備財団の助成(地域再生マネージャー事業)を受けてバイオマスツアー真庭を開始。同市と観光連盟では地元バス会社の協力を得て、バイオマスの利活用の意義と、それが育まれた「真庭の地」をより深く理解してもらうために、市役所や事業所が独自に受け入れていた視察をまとめ同ツアーを開始。このツアーはバイオマスを活用している事業所等を巡り、市内のバイオマスの活用と地域内循環の現状を総合的に学ぶことができる。あわせて、同市と観光連盟では同ツアーが観光振興に発展することを目指している。</p>
32			バイオマスの収集、 運搬技術から下流の 変換エネルギー利用 技術までを通した 一貫した地産地消 ・地域循環型 エネルギーシステム の実証検証	<p>【バイオマスエネルギー地域システム化実験事業】 ○真庭地域で利活用されていない樹皮、林地残材、間伐材をエネルギー源として地域内で有効に活用し既存燃料の高度化を推進するとともに、地域内で試験的に利用されている木質ペレットを効率よく低コストで供給するシステム実験を平成17～21年度の5年間をかけて実施し、原油換算で年間1,900klのエネルギー利用規模のトータルシステムが成立することを目的としている。</p>
33	美作市	美作市	バイオディーゼル 燃料の生産事業	<p>○美作市は、環境に配慮したまちづくりを目指し、バイオディーゼル燃料(BDF)の生産事業を開始。 ○今まで焼却処分されていた廃食用油を再生利用するプラントを、平成18年に同市勝田総合支所の敷地内に建設。精製プラントは、平成19年4月に廃食用油の精製プラントとして稼働したものであり、美作市及び隣接する西粟倉村の一般家庭をはじめ、事業所、公共施設から収集した廃食用油とメタノール、水酸化カリウム(苛性カリウム)を化学反応させてBDFを製造している。</p>

(5) 広島県

事業主体・施設名	事業場所	題目	取組み概要	
34	広島県 環境県民局	県内全域	「びんごエコタウン構想」の推進	○平成12年に、広島県東部の備後地域を循環型経済拠点構築のモデル地域「びんごエコタウン」として定め、これまで福山リサイクル発電株式会社等の循環型企業の立地が進んでいる。広島県では、このモデル地域内にリサイクル産業団地「びんごエコ団地」(6区画)を整備し、平成20年から分譲を進めており、広域的なリサイクル拠点の形成を目指している。
35			「エコひろしま」広島県の環境情報サイトの運営	○広島県のより良い環境創りをめざし、県民の皆様に環境情報を分かりやすく伝えるために、広島県の環境情報の発信拠点として、2003年4月に開設。 ・環境情報を体系的に整理し、わかりやすく情報提供を行う ・パブリックコメント、環境ブログにより、皆様からの意見を収集
36			レジ袋無料配布中止	○二酸化炭素排出削減のため、県民一人ひとりにエコライフの実践を呼びかける。「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動」を平成20年から取り組みを開始。 ○その重点取り組みのひとつとして、平21年10月から県内一斉にレジ袋無料配布中止に取り組む。
37	広島市	広島市	110万人のエコ講座	○全町内会を対象にごみ減量・リサイクルや地球温暖化対策についての説明会を開催し、市民に一層の取り組みを呼びかける。
38			家庭用生ごみ処理機購入補助	○家庭におけるごみの減量や堆肥化を一層推進するため、市民が生ごみ処理機等を購入した場合、その費用の一部を補助する。
39			レジ袋削減等の取組	○事業者によるレジ袋の削減等をより効果的に推進するため、市民団体・行政が協働して取り組むとともに、ごみ発生抑制・リサイクル推進について市民へ啓発を行う。
40			住宅環境性能向上促進補助	○家庭から排出される温室効果ガスを削減するため、住宅への太陽光発電システムの設置、複層ガラスの設置等省エネ効果が高い工事に関わる費用の一部を補助する。
41			低公害車運送車両の導入促進	○自動車から排出される温室効果ガスを削減するため、運送業者の低公害車の導入に係わる費用の一部を補助するとともに普及啓発を行う。
42			道路照明灯省エネ化推進事業	○道路照明に使われている水銀ランプを球切れ時に合わせて、省エネ効果の高いランプに交換する。
43	尾道市	尾道市	廃食油を ごみ収集車の 代替燃料BDF に再生	○平成18年度、家庭から出される使用済み天ぷら油(廃食油)を回収し、バイオディーゼル燃料(BDF)へ再生する事業を開発。支所・公民館・資源ステーション(350か所)から回収した廃食油を原料に、民間処理業者が製造したBDFを、ごみ収集車の燃料の一部に使用している。
44			おのみちエコじゃん キャンペーン	○一人でも多くの人が簡単で楽しみながら継続できる、CO2(二酸化炭素)排出削減を目標とした企画。マイバックを持ち歩いてレジ袋を断る、エコ通勤をする、地産地消をするなど身近で簡単にできることを1か月実践しようと呼びかけたキャンペーンで、3か月半の期間で4,566人が参加。

(広島県のつづき)

45	尾道市	尾道市役所他	尾道エコオフィス大賞	○尾道市役所内(学校など関係機関等含む)における環境に配慮した活動を募集し、最も優秀な環境配慮活動を評価及び表彰することで、市が率先して環境配慮に取り組むことを促進。
46		尾道市役所	ISO14001認証取得事業	○環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を認証取得することにより、市役所が率先して環境配慮活動に取り組み、住民・事業所の皆様に信頼をいただきながら、協働の環境行政を推進していく。本年3月認証取得予定。
47	尾道市 尾道港祭協会	尾道駅、尾道市役所周辺	尾道みなと祭「きれいな祭り事業」	○尾道みなと祭会場において、ごみ分別ステーションを設置。公募したボランティア(平成21年度は426名参加)とともに、ごみを10分別してリサイクルを実施。飲食屋台では、エコトレイ、リユースカップの使用を義務付けるなど、リサイクル・排出抑制に取り組む。(平成21年度は全体回収量の6割以上をリサイクル)また、祭りの会場においてボランティアによるごみ回収を行い、会場での啓発を行っている。
48	尾道市 尾道住吉会	尾道駅～浄土寺	おのみち住吉花まつり「きれいな祭り事業」	○「夜空も足元も綺麗なまつり」を目標に、祭り当日と翌日早朝にごみの分別回収並びに市内美化活動を実施。祭り終了後の周辺道路や路地等へのポイ捨てを減らす為に、ごみ分別ステーション周辺にてボランティアの巡回清掃、持ち帰り用袋の配布によるごみ持ち帰りと減量化の促進。祭り翌日には、市内中高大学生や団体等ボランティアによる、清掃活動を行い市内美化を実施。事業開始前の平成19年度から比較して処分場への持ち込みごみは約45%の減少。また、持ち込みごみのうち約20%を資源化。
49	福山市	福山市	エコショップ認定制度	○2004年度、買い物袋持参の推進や再生商品の販売、ごみの減量化に取り組んでいる店舗を「エコショップ(環境にやさしい店)」として認定し、広く市民にアピールすることにより、環境保全意識の高揚とごみの減量化を推進している。(2010年1月末時点 80店舗)
50			ごみ減量大作戦	○ごみの発生制御、減量化を推進するため、リサイクル可能な事業系紙ごみの受入制限等を行っていた。一般廃棄物基本計画では、毎年約1%の減量を行うことで、2015年度の年間排出量を2004年度比で約10%削減し、157,000t(1人1日当たり950g)とすることを目標としている。目標達成のため、集団回収の推進、生ごみ処理機の普及促進、家庭系紙ごみの減量、粗大ごみ有料化等を実施・検討し、ひいては、ごみ処理費用の削減、資源の有効利用、最終処分場の延命化に繋げる。
51	府中市	府中市	「エコ・ショップ府中」認定制度	○府中市は、ごみの減量化やリサイクルに積極的に取り組んでいる店舗を対象にした「エコ・ショップ府中」認定制度を導入する。 ○「環境にやさしい店」として市民に広くPRし、取り組みを後押しする。買い物袋やかご持参の推進。空き缶、空き瓶などの店頭回収の実施など9項目の基準を設定。市が申請書の内容を審査し、1項目以上をクリアした店を認定する。
52	庄原市	庄原市	バイオマスタウン構想	○農畜産業の生産活動から発生する資源及び豊富な森林資源の有効活用を図るため、「土づくりを基本とした資源循環システム」と「木質バイオマスを有効に利活用した資源循環システム」の構築に取り組む。
53	北広島町	北広島町	バイオマスタウン構想	○菜の花ECOプロジェクトの推進、生ごみ、家畜糞尿、木材、刈草、資源作物等を活用した産業振興のまち北広島町を目指す。
54			一般廃棄物処理基本計画	○今後15年間のごみの処理体制や分別方法、ごみの減量化やリサイクルなど、ごみを適正処理するための基本方針を定めたもの。「環境にやさしい、ごみゼロ社会の実現」を目指して、ごみの減量化・リサイクルへの取り組みを積極的に推進していく。

(6) 山口県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
55	山口県 環境生活部	県内全域	食品系 有機性廃棄物 の資源循環 プロジェクト	○県では、生ごみを資源として有効利用し、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を図るため、山口県循環型社会形成推進基本計画における重点プロジェクト(食品系有機性廃棄物の資源循環プロジェクト)として生ごみリサイクルの取組みを進めている。
56	山口県 廃棄物・リサイクル 対策課	県内全域	容器包装 リサイクルの促進	○消費者は分別排出、市町村は分別収集、事業者は再商品化という役割分担の下でリサイクルを促進しようとするもの。
57			山口県 エコ・ファクトリー 認定制度	○産業廃棄物の発生抑制や減量化、循環的な利用に積極的に取り組んでいる事業所を「山口県エコ・ファクトリー」として認定することにより、産業廃棄物の減量化を促進し、循環型社会づくりを進める。
58			Food&Green リサイクルシステム	○県内では年間約19万tの食品系有機性廃棄物が排出され、そのほとんどは焼却処理されている。県では生ごみを資源として有効利用し、環境への負担が少ない循環型社会の形成を図るため、山口県循環型社会推進基本計画における重点プロジェクトとして生ごみリサイクルの取組みを進めている。
59	やまぐち エコ市場 事務局	県内全域	エコ・グリーン 作戦事業	○地球環境時代のライフスタイル推進の観点から、省エネ等の環境配慮や屋上緑化等みどりのまちづくり運動に取り組むことにより、地球温暖化対策を進め、良好な景観を形成し、エコライフやまぐちの実現を目指す。
60	周南市	周南市	緑のリサイクル 事業	○「世界に誇れるリサイクル都市 周南」の実現を目指し、ごみの減量化、再資源化を推進し、「緑のリサイクル事業」を実施し、循環型社会の形成に向けた取組み。 ○公園等の維持管理において発生する剪定枝や落ち葉を収集して市内の緑化を推進。

3 - 2. 地域の取組み（情報交換システム）

3-2. 情報交換システム(マッチングシステム)制度一覧

(1) 鳥取県

1	とっとりエコ市場web	事務局	鳥取県産業振興機構西部支部環境クラスター
電話番号	0859-27-1942	URL	http://www.tottori-eco.com/
設立年月日	-	会員数	-
会費	入会金・年会費:無料		
概要	○循環型社会の構築や地球温暖化対策の推進に貢献するとともに、地球経済の活性化を図ることを期待して、行政、企業、研究機関の環境関連情報の収集や発信の場を提供し、産学官の連携の強化、販路拡大、新たなビジネスの創出等の取組みを支援する。		

(2) 島根県

2	産業廃棄物処理業者検索システム	事務局	島根県環境生活部廃棄物対策課
電話番号	0852-22-6151	URL	http://www.pref.shimane.jp/section/haitai/sangyo/search/search.html
設立年月日	-	会員数	-
会費	無料(登録・斡旋)		
概要	○島根県内の産業廃棄物の適正な処理、及び再利用を促進することを目的に、産業廃棄物処理に関する島根県許可業者の情報を提供している。また、同サイトでは、産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、埋立処分、再生利用・資源化等に関する相談や処理業者の紹介を行っている。		

3	しまね再資源化施設情報検索システム	事務局	島根県土木部技術管理課
電話番号	0852-22-6014	URL	http://web-gis.pref.shimane.lg.jp/recycle/
設立年月日	-	会員数	-
会費	無料(登録・斡旋)		
概要	○建設リサイクル法で定める特定建設資材廃棄物(「コンクリート塊」「アスファルト・コンクリート塊」「建設発生木材」)を入れ、再資源化を行う島根県内の施設情報をインターネット上で公開し、建設工事発注者及び受注者の皆様が工事現場付近における受入可能施設検索を補助し、建設リサイクルの促進とさらなる建設リサイクル法の実効性確保を目的とするもの。		

(3) 岡山県

4	循環資源マッチング制度	事務局	岡山県循環資源総合情報支援センター (財)岡山県環境保全事業団)
電話番号	086-298-2123	URL	http://junkan.okix.jp/okayama3/contents/html/index.htm
設立年月日	平成18年5月26日運用開始	会員数	281社
会費	無料(登録・斡旋)		
概要	○循環資源(廃棄物)を提供する事業者と循環資源を利用する事業者をインターネットを介してマッチング(斡旋)することにより、循環資源を有効に活用し循環型社会の形式を推進していくものである。 ○この制度では、「情報の最新性とスピードアップ」、「登録された情報の検索・照会機能の迅速化・多様化」を図る観点からインターネットを活用することを基本としてシステムを構築している。 ○インターネットを介することにより、県民や事業者が循環資源に関する情報の検索、循環資源の提供者と利用者の登録申請、会員登録された事業者自ら情報の登録・更新等が可能となる。 ○排出者は県内事務所に限るが、処理事業者県外からも受け入れる。		

(岡山県のつづき)

5	中四国環境ビジネスネット (B-net)	事務局	財団法人岡山県産業振興財団
電話番号	086-286-9700	URL	http://www.optic.or.jp/jyunkan/
設立年月日	平成21年4月1日	会員数	102名(H22.4月現在)
会費	無料		
実施内容	<p>○循環資源の利活用による岡山県内環境産業の起業化、事業化及び商品開発に向けた研究者及び企業間等の連携支援</p> <p>○3R、新エネルギー等、環境をキーワードに広域ネットワークを活用した企業側の技術開発、市場の動向及び先進事例等に係る情報収集と情報発信 ※中四国環境ビジネスネット(B-net)フォーラムの開催</p> <p>○中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)と連携した、大学シーズに係る情報収集と情報発信</p>		

(4) 広島県

6	ひろしま産廃ネット	事務局	(社)広島県産業廃棄物協会
電話番号	082-247-8499	URL	http://www.hiro-sanpai.or.jp/pages/index.html
設立年月日	昭和59年6月18日	会員数	正会員:417社、賛助会員:27社、計444社
会費	<p>正会員(収集・運搬):入会金20,000円、会費36,000円/年</p> <p>正会員(中間処理・最終処分):入会金30,000円、会費60,000円/年</p> <p>賛助会員:入会金15,000円、会費30,000円/年</p>		
概要	<p>○広島県内の産業廃棄物をとりまく環境をよりよくしていくため、県民・産業廃棄物排出事業所・処理業者へ情報発信を実施している。</p> <p>○産業廃棄物処理業者検索システムにより、廃棄物の発生場所・種類に応じた処理・業者を検索することができる。</p>		

7	(社)中国地域ニュービジネス協議会	事務局	(社)中国地域ニュービジネス協議会
電話番号	082-221-2929	URL	http://www.cnbc.or.jp/
設立年月日	平成8年7月23日(社団法人化)	会員数	521社(平成22年1月現在)
会費	入会金無料、正会員:1口6万円/年、個人会員:1口3万円/年		
概要	<p>○新産業・ニュービジネス創出や広域的なネットワーク作りなどを会員に実現してもらうことを目的に設立。中国経済産業局・中小企業基盤整備機構をはじめとした地域内の自治体・支援機関</p> <p>○大学等との連携、および(社)日本ニュービジネス協議会連合会と全国各地のニュービジネス協議会との連携による全国に広がるネットワークを積極的に活用している。</p> <p>○新産業・ニュービジネスの創出に当たっての様々な課題に対して、適切なアドバイスや会員・外部経営資源(人・モノ・資金・技術)とのコーディネート、マッチング、有益な仕組み・情報、または、人脈づくりのための各種出合いの場を提供している。</p>		

8	中国地域バイオマス協議会	事務局	(独)産業技術総合研究所中国センター (社)中国地域ニュービジネス協議会
電話番号	082-221-2929	URL	http://www.cnbc.or.jp/
設立年月日	平成20年12月	会員数	71社(平成22年1月現在)
会費	無料		
概要	<p>○バイオマス分野の研究開発の活性化、バイオマス関連シーズの事業化、産業クラスター計画の循環・環境型社会形成プロジェクトにおけるバイオマス関連事業の推進及びバイオマス産業の創出を目指す。</p>		

(5) 山口県

9	やまぐちエコ市場	事務局	やまぐちエコ市場事務局 (山口県環境生活部廃棄物・ リサイクル対策課)
電話番号	083-933-2992	URL	http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/ecoichiba/ index.php
設立年月日	平成18年5月15日	会員数	361社(平成21年12月現在)
会費	入会金無料、年会費:10,000円/年		
概要	○廃棄物の排出先と受入側の需給情報をインターネット上に一元化し、情報や技術を交換する。企業間の連携で事業創出を目指すほか、同時にホームページで公開することにより全国的な広がりを目指す。 ○また、事業化促進・技術相談・商談会・交流会・情報交換会・展示会等の企画・開催なども行っている。		

4. インフラ

4－1．インフラ

(再資源化関連施設：各種リサイクル法関連)

4-1. インフラ(再資源化施設:各種リサイクル法関係)

4-1-1. 容器包装リサイクル関係【民間の再生処理事業者】

※日本容器リサイクル協会の登録再生処理業者を掲載(平成22年度)

(1)ガラスびんの再生事業者

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
1	(株)イズコン再資源化研究所	ガラスびん	ガラス製容器 以外	出雲市武志町640	0853-23-7883
2	坂田砕石工業(株) 本社工場			久米郡久米南町山手645	0867-28-2811
3	(有)すずか 三原工場		ガラス製容器	三原市西野5-22-3	0848-64-8002
4	(有)ヤマウチ 豊田工場		ガラス製容器 以外	下関市羽山町22-23	0832-22-0273
5	日立建設(株) 宇部瀝青工場リサイクルセンター			宇部市大字車地字八窪185	0836-62-0066

(2)PETボトルの再生事業者

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
6	環境開発事業協同組合 帯高工場	PETボトル	ペレット フレーク化	倉敷市帯高82-2	086-428-7320
7	(株)正和クリーン 尾道PETボトル再生工場			尾道市長者原1-220-7	0848-48-4570
8	日本合繊(株) 御領工場			福山市神辺町下御領1360-1	084-925-5522
9	(株)帝人 ※1 (活動休止中) 徳山事業所 徳山原料重合工場		ポリエステル 原料	周南市由加町1-1	0834-25-4555

※1 H22年4月1日より、帝人ファイバー(株)より社名変更。

(3)紙製容器包装の再生事業者

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
10	(株)本田春荘商店 西風新都営業所	紙製容器包装	選別	広島市安佐南区伴南2-4-24	082-849-0113
11	宇部興産(株) 宇部・伊佐セメント工場	紙製容器包装 プラスチック製 容器包装	固形燃料化 ガス化	宇部市大字小串1978-96	0836-31-2111
12	周南総合リサイクル(株) 下松支店	紙製容器包装	選別	下松市末武中1234-1	0833-41-7570
13	(株)トクヤマ 南陽工場		固形燃料化	周南市御影町1-1	0834-34-2505

(4)プラスチック製容器包装の再生事業者

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
14	因幡環境整備(株) いなばエコ・リサイクルセンター	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	鳥取市船木118-1	0857-38-4181
15	水島エコワークス(株) 本社工場		ガス化	倉敷市水島川崎通1-14-5	086-447-3255
16	(株)エスアイケイ 岡山工場		材料リサイクル	新見市土橋3198-1	0867-74-9711
17	(株)コーヨー リサイクルセンター			広島市安佐北区安佐町 大字久地2854-5	082-837-3666
18	(株)広島リサイクルセンター 久井工場、第1工場・第2工場	ガラスびん PETボトル プラスチック製 容器包装	ガラス製容器 以外ペレット、 フレー化 材料リサイクル	三原市久井町下津1126	(本社) 082-567-2510
19	(株)エフピコ 福山リサイクル工場	プラスチック製 使用済食品容器	トレー及び 透明容器の 材料リサイクル	福山市箕沖町127-2	084-957-2301
20	JFEプラリソース(株) 福山原料化工場	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル 高炉還元	福山市箕沖町113	084-981-3160
21	クリエート産業(有) プラスチック再生事業所		材料リサイクル	下関市彦島西山町2-1-23	083-261-4567
22	宇部興産(株)EUP宇部工場		ガス化	宇部市大字小串1978-96	0836-31-2111
23	(株)広島企業 宇部テクニリサイクルセンター		材料リサイクル	宇部市大字山中字甲石700-13	0836-62-6230
24	共英製網(株)山口事業所 ガス製造施設		ガス化	山陽小野田市大字小野田6289-18	0836-83-6171
25	(株)リング リサイクルセンター		材料リサイクル	阿武郡阿武町大字奈古3626	08388-2-3233

4-1-2. 容器包装リサイクル関係 【公共のリサイクルプラザ・センター】

※市町村の資源化施設のうち、処理能力10t/日以上、且つ、年間処理量1,000t/年以上の施設を掲載。

(1) 鳥取県

26	東部環境クリーンセンター	市町村・事務組合	東部広域行政管理組合
住所	鳥取市伏野2220	電話番号	0857-59-1802
処理能力(t/日)	81.8	資源回収量(t/年)	5,584
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成9年

27	境港市リサイクルセンター	市町村・事務組合	境港市
住所	境港市夕日ヶ丘2-119-6	電話番号	0859-45-8626
処理能力(t/日)	10	資源回収量(t/年)	719
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成7年

28	西部広域行政管理組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	西部広域行政管理組合
住所	西伯郡伯耆町口別所630	電話番号	0859-68-4071
処理能力(t/日)	69.2	資源回収量(t/年)	11,147
処理対象物	紙類 金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ その他		
処理内容	選別、圧縮梱包、その他	使用開始時期	平成9年

(2) 島根県

29	西持田リサイクルプラザ	市町村・事務組合	松江市
住所	松江市西持田町621	電話番号	0852-31-6120
処理能力(t/日)	16	資源回収量(t/年)	2,214
処理対象物	金属類(缶) ガラス類(ガラスびん) ペットボトル		
処理内容	色選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成10年

30	松江市川向リサイクルプラザ	市町村・事務組合	松江市
住所	松江市竹矢町1439-5	電話番号	0852-38-8050
処理能力(t/日)	64	資源回収量(t/年)	12297(平成20年度実績)
処理対象物	その他紙製容器包装類 その他プラスチック製容器包装類 古紙 布類		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成14年

31	出雲クリーンプラザ	市町村・事務組合	出雲市環境事業部
住所	出雲市西神西町1732-3	電話番号	0853-43-3741
処理能力(t/日)	139	資源回収量(t/年)	7,284
処理対象物	粗大ごみ 埋め立てごみ 古紙 ガラス類 乾電池 ペットボトル		
処理内容	破碎、選別、梱包出荷	使用開始時期	平成7年

32	雲南市飯南町事務組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	雲南市飯南町事務組合
住所	雲南市木次町里方1369-39	電話番号	0854-42-3391
処理能力(t/日)	12.5	資源回収量(t/年)	595
処理対象物	金属類 ガラス類 プラスティック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成16年

(3) 岡山県

33	岡山市東部リサイクルプラザ	市町村・事務組合	岡山市
住所	岡山市東区西大寺新地453-5	電話番号	086-944-7122
処理能力(t/日)	27	資源回収量(t/年)	4,402
処理対象物	紙類 金属類 ガラス類 ペットボトル 布類 不燃ごみ 粗大ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成13年

34	岡山市新保資源選別所	市町村・事務組合	岡山市
住所	岡山市南区新保687-3	電話番号	086-234-9550
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	2,981
処理対象物	紙類 ガラス類 ペットボトル 布類		
処理内容	選別	使用開始時期	平成4年

35	倉敷市資源選別所	市町村・事務組合	倉敷市
住所	倉敷市水島川崎通1-18	電話番号	086-447-4850
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	3,160
処理対象物	びん類		
処理内容	選別	使用開始時期	平成8年

36	吉備路クリーンセンター	市町村・事務組合	倉敷市
住所	倉敷市真備町箭田481	電話番号	086-698-3774
処理能力(t/日)	10	資源回収量(t/年)	2,216
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 布類 その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成9年

37	津山市資源化センター	市町村・事務組合	津山市
住所	津山市横山648-1	電話番号	0868-22-1439
処理能力(t/日)	30	資源回収量(t/年)	2,638
処理対象物	紙類 金属類 ガラス類 プラスティック 不燃ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	昭和62年

38	岡山県西部衛生施設組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	岡山県西部衛生施設組合
住所	笠岡市平成町105	電話番号	0865-69-6111
処理能力(t/日)	27	資源回収量(t/年)	3,860
処理対象物	ガラス類 プラスティック 布類		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成12年

39	高梁地域事務組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	高梁地域事務組合
住所	高梁市落合町阿部2527-1	電話番号	0866-21-0530
処理能力(t/日)	14.6	資源回収量(t/年)	13,756
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 ペットボトル プラスティック		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成12年

(岡山県のつづき)

40	津山圏域東部衛生施設組合	市町村・事務組合	勝田郡
住所	勝田郡奈義町上町川186	電話番号	0868-36-2215
処理能力(t/日)	20	資源回収量(t/年)	759
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 ペットボトル プラスティック その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	圧縮梱包、その他	使用開始時期	平成9年

(4) 広島県

41	広島市西部リサイクルプラザ	市町村・事務組合	広島市
住所	広島市西区商工センター7-7-2	電話番号	082-501-2600
処理能力(t/日)	90	資源回収量(t/年)	15,278
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 布類		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成9年

42	広島市北部資源選別センター	市町村・事務組合	広島市
住所	広島市安佐北区安佐町大字筒瀬1022	電話番号	082-838-2667
処理能力(t/日)	50	資源回収量(t/年)	8,207
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 布類		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成2年

43	広島市植木せん定枝リサイクルセンター	市町村・事務組合	広島市
住所	広島市安佐北区安佐町大字筒瀬2030	電話番号	082-838-2346
処理能力(t/日)	25	資源回収量(t/年)	1,201
処理対象物	その他		
処理内容	ごみ堆肥化、ごみチップ化	使用開始時期	平成11年

44	再資源選別処理場	市町村・事務組合	三原広域市町村圏事務組合
住所	三原市久井町坂井原1358-82	電話番号	0847-32-7262
処理能力(t/日)	30	資源回収量(t/年)	3,144
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別	使用開始時期	平成5年

45	福山クリーンセンターリサイクル工場	市町村・事務組合	福山市
住所	福山市箕沖町107-2	電話番号	084-954-4170
処理能力(t/日)	170	資源回収量(t/年)	5,480
処理対象物	プラスチックごみ 不燃ごみ 可燃性粗大ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成12年

46	庄原市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	庄原市
住所	庄原市是松町20-25	電話番号	0824-72-1398
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	1,986
処理対象物	容器包装プラスチック その他プラスチック びん 缶 ペットボトル 不燃ごみ 有害ごみ 紙類 粗大ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包、その他	使用開始時期	平成17年

(広島県のつづき)

47	大竹市不燃物処理資源化施設	市町村・事務組合	大竹市
住所	大竹市東栄3-4	電話番号	0827-52-5101
処理能力(t/日)	11	資源回収量(t/年)	1,778
処理対象物	ペットボトル その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成元年

48	賀茂環境センター	市町村・事務組合	広島中央環境衛生組合
住所	東広島市黒瀬町国近427-24	電話番号	0823-82-6499
処理能力(t/日)	62	資源回収量(t/年)	3,687
処理対象物	不燃性粗大ごみ ガラス類 金属類 ペットボトル プラスティック		
処理内容	破碎、選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成2年

49	はつかいちリサイクルプラザ	市町村・事務組合	廿日市市
住所	廿日市市宮内西鎗出3860	電話番号	0829-39-0266
処理能力(t/日)	24	資源回収量(t/年)	2,780
処理対象物	その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成13年

50	江田島市リレーセンター 中継施設	市町村・事務組合	江田島市
住所	江田島市江田島町鷺部4-1-13	電話番号	0823-42-2113
処理能力(t/日)	45	資源回収量(t/年)	953
処理対象物	その他資源ごみ 可燃ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	圧縮梱包	使用開始時期	平成14年

51	府中町環境センター	市町村・事務組合	府中町
住所	安芸郡府中町八幡4-1-1	電話番号	082-286-3266
処理能力(t/日)	平成19年度から選別委託	資源回収量(t/年)	587
処理対象物	金属類 ガラス類 その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	-

(5) 山口県

52	下関市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	下関市
住所	下関市古屋町1-18-1	電話番号	083-252-1943
処理能力(t/日)	113	資源回収量(t/年)	5,285
処理対象物	不燃ごみ 粗大ごみ 有害ごみ(蛍光灯、乾電池) びん 缶 ペットボトル プラスチック製容器包装		
処理内容	選別、圧縮梱包、その他(古紙はストック)	使用開始時期	平成15年

53	宇部市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	宇部市
住所	宇部市大字沖宇部字沖の山5272-5	電話番号	0836-31-5584
処理能力(t/日)	39	資源回収量(t/年)	5,752
処理対象物	金属類 ガラス類 直接搬入ごみ 紙類 プラスチック ペットボトル		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成7年

54	山口市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	山口市
住所	山口市大内御堀489-8	電話番号	083-927-7122
処理能力(t/日)	19.6	資源回収量(t/年)	3,509
処理対象物	紙類 ガラス類 ペットボトル プラスチック		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成8年

55	岩国市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	岩国市
住所	岩国市平田2-12-30	電話番号	0827-32-5303
処理能力(t/日)	59	資源回収量(t/年)	5,030
処理対象物	金属類(缶類) ガラス類(ビン類) ペットボトル プラスチック 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成11年

56	周南東部環境施設組合 リサイクルセンター	市町村・事務組合	周南東部環境施設組合
住所	光市大字岩田1204-3	電話番号	0820-48-2442
処理能力(t/日)	33	資源回収量(t/年)	3,576
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスチック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成20年

57	周南市徳山リサイクルセンター	市町村・事務組合	周南市
住所	周南市大字戸田1800	電話番号	0834-83-2749
処理能力(t/日)	20	資源回収量(t/年)	1,027
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル		
処理内容	選別、圧縮梱包	使用開始時期	平成5年

4-1-3. エコタウン中核施設

(1) 岡山県

58	(株)日本リサイクルマネジメント	事業概要	木質系廃棄物の炭化リサイクル施設
住所	倉敷市水島川崎通1-14-1	電話番号	086-447-4892
対象物	建設系廃木材、パレット、剪定枝等	処理能力	65t/日
再生品	リバーエコ炭(木質)	事業開始時期	平成17年
事業内容	<p>○岡山県内を中心としての建設系廃木や樹木の剪定枝、使用済みパレット等の木質系廃棄物から、炭化炉の乾留ガスの熱エネルギーを活用して多様な用途に利用できる高品位炭を製造し、炭化二次製品向けに販売する事業。さらに排熱ボイラーで製造した蒸気は、JFEスチール(株)に販売。木質系炭化事業は、「岡山エコタウンプラン」の重点ハード事業である「木質系廃棄物の炭化技術によるリサイクル事業」</p> <p>として経済産業省のエコタウン事業の補助金をよび岡山県、倉敷市の地域ミニエコタウン事業の補助金を</p>		

59	三菱化学(株) 水島事業所	事業概要	塩素廃液のリサイクル施設
住所	倉敷市潮通3-10	電話番号	086-457-2101
対象物	廃油(塩化タール)	処理能力	再生品生産量:20,000t/年
再生品	35%塩酸	事業開始時期	平成16年
事業内容	<p>○塩化ビニル等の製造工程等で発生する有機性塩素化合物や塩素系化合物を含む。廃油を高温焼却炉に吹き込み、塩酸を回収する。塩酸は、工業原料の製品塩酸として化学メーカー等に販売する。</p>		

60	水島エコワークス(株)	事業概要	倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設
住所	倉敷市水島川崎通1-14-5	電話番号	086-447-3255
対象物	倉敷市の一般廃棄物、産業廃棄物	処理能力	555t/日
再生品	精製合成ガス、スラグ、メタル、硫黄 金属水酸化物、混合塩	事業開始時期	平成17年
事業内容	<p>○倉敷市においてPFI方式で整備運営するごみ処理施設であり、倉敷市の一般廃棄物、焼却灰、及び下水汚泥、ならびに水島コンビナートなどから発生する産業廃棄物を同時に処理する。導入する施設は「ガス改質型ガス化熔融炉」であり、廃棄物から金属水酸化物、混合塩等の再資源化が可能な副産物を回収するとともに、ガスを改質し、コンビナートで利用するため、廃棄物の最終処分を不要とする完全リサイクルを目指した再資源化技術である。</p>		

61	三乗工業(株)	事業概要	化学繊維スクラップの 再資源化技術によるリサイクル施設
住所	総社市井尻野100	電話番号	0866-93-2301
対象物	自動車用フロアカーペット屑 不織布屑、シート屑等	処理能力	処理計画量:1,800t/年
再生品	自動車内装内、建設資材、梱包材	事業開始時期	平成15年
事業内容	<p>○化学繊維(自動車用カーペット、不織布、シート)スクラップに相溶化剤(熱可塑性エラストマー)を投入し、加熱混練・圧延しシート状に加工する。材料の混合比の調整により、弾性率、衝撃率、耐寒熱温度を上げ、また、不織布や再生オレフィン系フィルムを張り合わせるにより高付加価値化し、梱包資材から自動車部品、建設資材を製造する。</p>		

(2) 広島県

62	メキシケムジャパン(株) 三原製造所	事業概要	フロン破壊・代替フロン再生施設
住所	三原市円一町1-1-1	電話番号	0848-67-5230
対象物	フロン類(CFC、HCFCなど) 代替フロン類(HFC)、ハロン類	処理能力	分解処理能力:2,600t/年 (分解効率99.999%以上) 代替フロン(HFC-134a) 再生能力:50t/年
再生品	HFC-134a、塩化カルシウム フッ化カルシウム	事業開始時期	平成8年 代替フロン再生施設:平成11年
事業内容	○回収されたフロン類(CFC、HCFC、HFCなど)を分解するとともに、副産物は有効活用している。また、代替フロン(HFC134a)は分解のほか、依頼者の指示により、蒸留・精製した上で高純度再生を実施。		

63	(有)すずか	事業概要	ペットボトルリサイクル施設
住所	三原市西野5-22-3	電話番号	0848-64-8002
対象物	廃プラスチック類 (主にペットボトル)	処理能力	4.88t/日
再生品	PETフレーク	事業開始時期	平成10年
事業内容	○回収したペットボトルを破砕処理し、PETフレークを製造する。これらPETフレークは、繊維及びシート等の原料となる再生樹脂へリサイクルする。		

64	(有)すずか	事業概要	ガラスびん含むガラスくず・陶磁器くず・リサイクル施設
住所	三原市西野5-22-3	電話番号	0848-64-8002
対象物	ガラスくず及び陶磁器くず (ガラスびん等の混合物)	処理能力	76t/日
再生品	ガラスカレット	事業開始時期	平成8年
事業内容	○ガラスびん等を細かく砕いて砂と混合し、土木資材へリサイクルする事業を実施。ガラスびんを破砕し、粒度の調整を行った上で、下水道工事等で使用される埋め戻し砂の代替品として再生する。リサイクル率が低い有色ガラスびんをリサイクルする有効手段として期待される。		

65	福山リサイクル発電(株)	事業概要	RDF発電・灰溶融施設
住所	福山市箕沖町107-8	電話番号	084-920-2480
対象物	可燃性一般廃棄物	処理能力	RDF処理能力:314t/日 発電量:約20,000kW
再生品	電気	事業開始時期	平成16年
事業内容	○RDFを燃料として発電するとともに、灰を溶融スラグ化し、路盤材等へ有効利用する施設。可燃性の一般廃棄物のうち、リサイクル可能なものを除去したごみを、市町村でRDF(ごみ固形燃料)化し、これを発電に利用。発電の過程で発生するRDFの焼却灰は、高温により溶融(溶かすこと)し、冷却したガラス質の固化物(いわゆる溶融スラグ)にした上で、土木資材等への活用を図る。		

66	(株)エコログ・リサイクリング・ジャパン	事業概要	ポリエステル含有混紡衣料品リサイクル施設
住所	福山市草戸町3-12-5	電話番号	084-924-8509
対象物	使用済み混紡繊維製品	処理能力	600t/年
再生品	ポリエステル再生ペレット	事業開始時期	平成15年
事業内容	○天然繊維と化学繊維からなる混紡繊維を酵素により分解し、各々繊維関連製品等へリサイクルする施設。これまで、分離技術がないためリサイクルが困難とされていた天然繊維とポリエステルの混紡繊維製品について、酵素反応を利用して、天然繊維部分を分解・分離し、分離されたポリエステルの再生原料化を行う。		

(広島県のつづき)

67	JFEスチール(株) 福山原料化工場	事業概要	使用済みプラスチック高炉原料化施設
住所	福山市箕沖町113	電話番号	084-981-3160
対象物	使用済みプラスチック	処理能力	70,000t/年
再生品	高炉原料(還元剤)	事業開始時期	平成12年
事業内容	○容器包装プラスチックを中心とした使用済みプラスチックを破碎・造粒して、製鉄所の高炉で使用する還元剤(コークス代替)を製造する施設。大量で安定したリサイクルが可能であり、資源・エネルギー利用効率が高く、省エネルギー・省資源化が図れる、二酸化炭素の排出が軽減でき、地球温暖化対策になる、再商品化と製品利用を一貫して行うことができるなどの特徴がある。		

68	(株)エフビコ 福山リサイクル工場	事業概要	食品トレーリサイクル施設
住所	福山市箕沖町127-2	電話番号	084-953-0001(本社秘書室)
対象物	発泡スチロール製食品トレー	処理能力	360t/月
再生品	発泡スチロール製食品トレー(エコトレー) 教材用エコグッズ	事業開始時期	平成5年
事業内容	○使用済み発泡スチロール製食品トレーを、再び発泡スチロール製食品トレーにリサイクル。スーパーマーケットの店頭回収ボックスを設置し、消費者との接点を初めて設けるなど、生産者・包材問屋・販売者、消費者が四者一体で展開する独自の方式で、全国に普及しているリサイクルシステムの1つ。食品トレーを配送した帰り便で使用済み発泡スチロール製食品トレーを回収する。また、平成19年11月より透明容器のリサイクルにも本格的に取り組む。		

69	日本合繊(株) 御領工場	事業概要	ペットボトルリサイクル施設
住所	福山市神辺町下御領1360-1	電話番号	084-925-5522(総務部)
対象物	使用済みペットボトル	処理能力	6,000t/年 (16時間/日稼働時)
再生品	フレーク	事業開始時期	平成12年
事業内容	○ペットボトルを繊維等となる再生原料にリサイクル。容器包装リサイクル法に基づいて、指定法人である(財)日本容器包装リサイクル協会の委託を受け、再商品化事業を行っており、市町村から、使用済みペットボトルを引取り、再生(フレーク)加工し、資源の有効利用に取り組むとともに、効率のよいリサイクルシステムを進めている。		

70	(株)オガワエコノス 鶴飼工場	事業概要	廃棄物固形燃料化(RPF)施設
住所	府中市鶴飼町800-113	電話番号	0847-47-6110
対象物	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず	処理能力	12,000t/年
再生品	石炭代替燃料(RPF)	事業開始時期	平成15年
事業内容	○家庭や事業所等から排出されるリサイクルが困難な紙くず、木くず、繊維くず、混合系廃プラスチック類を破碎・成型し、RPF(固形燃料)に再生している。比較的水分の少ない系廃プラスチック類、古紙、木くずを対象とすることで、カロリーの高い固形燃料を製造することができる。このRPFは石炭代替燃料として大手製紙会社のボイラー燃料として活用されている。破碎機と押出成形機からなるシンプルな構造であり、乾燥工程が無いのでRPF製造に必要なエネルギー量が少ないほか、排水処理の問題も発生しないなど、環境面においても優しい施設である。		

71	(株)オガワエコノス 本山工場	事業概要	食品残渣堆肥化施設
住所	府中市本山町530-85	電話番号	0847-41-5804
対象物	食品残さ(生ごみ)	処理能力	堆肥製造量:300t/年
再生品	食の環エコ堆肥	事業開始時期	平成15年
事業内容	○地元の事業所から出る国内産木材のカンナくず、農家のもみ殻、スーパーや飲食店、給食センターから出る調理くず等の生ゴミを利用し、堆肥を製造している。堆肥の特徴は、使い続けると土にいい微生物、好気性バチルス菌等を増殖させて、使用者よりミズが増えたとの評価を頂いている。結果土が団粒構造になり、保肥力、保水力を向上させ、土壌改良に効果があるとの地元で好評を得ており、完売している。		

(3) 山口県

72	宇部興産(株)エネルギー・環境部門EUP宇部工場	事業概要	廃プラスチックのガス化による化学工業原料化施設
住所	宇部市大字藤曲字昭和開作2575-6	電話番号	0836-36-0620
対象物	廃プラスチック類	処理能力	処理能力:31,000t/年
再生品	アンモニア等	事業開始時期	平成13年
事業内容	○低温ガス化炉と高温ガス化炉から構成される二段ガス化プロセスにより、廃プラスチックは熱分解・部分酸化されて、再商品化製品である水素・一酸化炭素ガス(アンモニア等の化学製品の基礎原料)を生成する。また、廃プラスチックは種類を問わず、塩ビも分別することなく処理可能である。		

73	山口エコテック(株)	事業概要	ごみ焼却灰のセメント原料化施設
住所	周南市晴海町7-46	電話番号	0834-34-2935
対象物	ごみ焼却灰	処理能力	処理能力:50,000t/年
再生品	セメント原料	事業開始時期	平成14年
事業内容	○山口県内のごみ焼却施設から排出される焼却灰をセメント工場の受入基準に適合するよう前処理して再資源化する施設。ここで処理された焼却灰は、(株)トクヤマ南陽工場及び宇部興産(株)宇部工場の両工場において、ポルトランドセメントの原料としてリサイクルされる。		

74	帝人ファイバー(株)徳山事業所	事業概要	ペットボトルからペットボトルへの原料化施設
住所	周南市由加町1-1	電話番号	0834-25-4555
対象物	廃ペットボトル	処理能力	処理能力:30,000t/年
再生品	高純度ポリエステル原料	事業開始時期	平成14年
事業内容	○通常石油から作られるPET樹脂原料のジメチルテレフタレートを使用済みPETボトルなどのポリエステル製品からケミカルリサイクル技術で回収している。また、PETボトルから回収したジメチルテレフタレートをさらに化学反応させることによってPETボトル用樹脂にリサイクルする「ボトルtoボトル」の技術を世界で初めて開発。(休止中)		

4-1-4. 自動車・家電リサイクル関連施設・リサイクルポート

(1) 自動車リサイクル関連施設

平成22年3月現在

記号	県	施設名	所在地	電話番号
75	岡山県	水島エコワークス(株)	倉敷市水島川崎通1-14-5	086-447-3255
76	岡山県	エコシステム岡山(株)	岡山市海岸通1-3-1	086-262-9020
77	岡山県	エコシステム山陽(株)	久米郡美咲町吉ヶ原1125	0868-62-1346
78	広島県	(株)カムテックス 福山工場	福山市箕沖町107-5	084-954-6700
79	広島県	広島ガステクノ(株)	安芸郡海田町明神町2-118	082-822-0180
80	山口県	共英製鋼(株) 山口事業所	山陽小野田市大字小野田6289-18	0836-83-6171

(2) 家電リサイクル関連施設

記号	分類コード	県	施設名	所在地	電話番号
81	—	岡山市	平林金属(株) リサイクルファーム御津(再商品化施設)、岡山工場(指定引取場所)	リサイクルファーム御津 岡山市北区御津高津120-13 岡山工場 岡山市北区下中野406-1	リサイクルファーム御津 0867-24-0505 岡山工場 086-241-6943

(3) リサイクルポート

記号	名称・指定日	概要
82	徳山下松港 (平成15年4月)	○徳山下松港は、山口県の瀬戸内海沿岸のほぼ中央に位置する特定重要港湾で、背後には石油・化学等の基礎素材型企業群がコンビナートを形成しており、リサイクル事業や技術開発を積極的に行っている。 ○同港では、主に「高炉スラグ、石炭灰等のセメント原料化リサイクル」などの事業が行われており、さらに「ごみ焼却灰のセメント原料化リサイクル」「廃プラスチックのセメント原燃料化リサイクル」「ペットボトルを主とするポリエステル製品の原料化リサイクル」などの事業が進展中である。また、新たに循環型社会形成に向けて資源循環の拠点づくりや廃棄物最終処分場を整備する「T-10埋立」や「N-7埋立」事業が計画されている。
83	宇部港 (平成15年4月)	○宇部港は、山口県の西南部に位置する重要港湾で、徳山下松港と同様に背後に立地する石油・化学等の基礎素材型企業群が積極的なリサイクル事業を実施している。 ○同港では、主に「高炉スラグ、石炭灰等のセメント原料化リサイクル」や「鉄屑のリサイクル」、「廃プラスチックのガス化リサイクル」などの事業が行われており、さらに「建設木くずのエネルギーリサイクル」などの事業が計画されている。また、資源循環の拠点づくりや廃棄物最終処分場を整備する「東見初埋立」事業を実施している。

4-2. インフラ

(再資源化関連施設：新エネルギー製造・利用施設)

4-2. インフラ(再資源化施設:新エネルギー製造・利用施設)

4-2-1. RDF製造施設

(1) 島根県

1	雲南エネルギーセンター	市町村・事務組合	雲南市・飯南町事務組合
所在地	雲南市加茂町三代1331-1	電話番号	0854-49-6332
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	30
処理量(t/年)	6,456	燃料製造量(t/年)	3,678
使用開始年度	平成11年	供給先の利用状況	燃料用
事業内容	○家庭や事業所から発生し分別収集された可燃ごみを受入れ、破碎、乾燥、選別、成形工程を経て、クレヨン状の固形燃料(RDF)を製造。町の施設の冷暖房の燃料として使用。		

(2) 広島県

2	福山市ごみ固形燃料工場	市町村・事務組合	福山市
所在地	福山市箕沖町107-7	電話番号	084-957-4866
処理対象物	可燃ごみ、可燃破碎ごみ、ごみ処理残渣	処理能力(t/日)	300
処理量(t/年)	90,640	燃料製造量(t/年)	50,999
使用開始年度	平成16年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○福山市内の家庭や事業所等から排出される燃やせるごみを、乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

3	府中市クリーンセンター	市町村・事務組合	府中市
所在地	府中市鶴飼町74-2	電話番号	0847-43-7144
処理対象物	可燃ごみ、粗大ごみ	処理能力(t/日)	60
処理量(t/年)	7,946	燃料製造量(t/年)	3,387
使用開始年度	平成14年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○府中市内の家庭や事業所等から排出される可燃性の一般廃棄物を、乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

4	庄原市東城ごみ固形燃料化施設	市町村・事務組合	庄原市
所在地	庄原市東城町久代6671	電話番号	08477-2-0214
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ、粗大ごみ	処理能力(t/日)	19
処理量(t/年)	2,120	燃料製造量(t/年)	870
使用開始年度	平成14年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○福山リサイクル発電株式会社の燃料として利用。		

(4-2-1. RDF製造施設/広島県のつづき)

5	大竹市ごみ固形燃料化施設 夢エネルギーセンター	市町村・事務組合	大竹市
所在地	大竹市東栄3-3	電話番号	0827-52-5101
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	42
処理量(t/年)	7,473	燃料製造量(t/年)	4,034
使用開始年度	平成15年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○従来、燃やしていたごみを適当な大きさに砕いたあと乾燥させ、消石灰を混ぜ合わせて製造。製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

6	RDF(ごみ固形燃料)製造施設 エコセンターはつかいち	市町村・事務組合	廿日市市
所在地	廿日市市宮内3860	電話番号	0829-39-0266
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ、ごみ処理残渣	処理能力(t/日)	102
処理量(t/年)	21,815	燃料製造量(t/年)	12,940
使用開始年度	平成16年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○日本初となるRDF(ごみ固形燃料)製造施設とコージェネシステム(499kW×2台)を併設した施設として、2004年3月に竣工。製造したRDFは福山リサイクル発電所へ発電用燃料として供給。天然ガスコージェネで発電した電力は施設内に供給され、排熱は冷暖房や給湯、施設内の熱風炉・脱臭炉の各燃焼空気として利用。		

7	甲世衛生組合ごみ固形燃料化施設 エコワイズセンター	市町村・事務組合	甲世衛生組合
所在地	世羅郡世羅町大字川尻字権現山784-32	電話番号	0847-23-0691
処理対象物	可燃ごみ	処理能力(t/日)	16
処理量(t/年)	3,572	燃料製造量(t/年)	1,872
使用開始年度	平成10年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○尾道市(御調町)、三原市(久井町)、世羅町内の家庭や事業所等から排出される可燃性の一般廃棄物を、選別・乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

8	クリーンセンターじんせき	市町村・事務組合	神石高原町
所在地	神石郡神石高原町階見1254-1	電話番号	0847-89-3121
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	11
処理量(t/年)	1,058	燃料製造量(t/年)	467
使用開始年度	平成14年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	○神石高原町内の家庭や事業所等から排出される可燃性の一般廃棄物を、選別・乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

(3) 山口県

9	クリーンセンター響	市町村・事務組合	下関市
所在地	下関市豊浦町大字宇賀3528-12	電話番号	083-776-0321
処理対象物	-	処理能力(t/日)	-
処理量(t/年)	-	燃料製造量(t/年)	-
使用開始年度	平成21年	供給先の利用状況	-
事業内容	○平成21年4月1日よりごみ運搬中継施設(奥山工場にて焼却)		

10	カルストクリーンセンター	市町村・事務組合	美祢市
所在地	美祢市秋芳町岩永下郷浴の谷315-2	電話番号	0837-62-1306
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	28
処理量(t/年)	6,908	燃料製造量(t/年)	4,751
使用開始年度	平成11年	供給先の利用状況	発電用及びセメントの原料(焼却残渣)
事業内容	○宇部興産(株)伊佐セメント工場で利用。		

11	周南市ごみ燃料化施設 フェニックス	市町村・事務組合	周南市
所在地	周南市臨海町1	電話番号	0834-61-0333
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ、粗大ごみ	処理能力(t/日)	48
処理量(t/年)	8,660	燃料製造量(t/年)	4,258
使用開始年度	平成11年	供給先の利用状況	燃料用
事業内容	○旧新南陽市、鹿野町の可燃ゴミを原料として固形燃料(RDF)を製造。東ソー(株)セメント工場で燃料として利用。		

4-2-2. RPF製造施設

(1) 鳥取県

12	鳥取県リサイクル協同組合 (施設場所: (有) 山陰クリエート)	所在地	米子市大篠津町3013-1 (山陰クリエート: 米子市和田町2162-1)
電話番号	0859-25-1117 (山陰クリエート: 0859-25-1121)	対象物	廃プラスチック、木くず、 紙くず、繊維くず等
URL	http://www.sanin-create.jp/		
製造能力(t/h)	2.9	使用開始年度	平成17年
事業内容	○鳥取県内の産業廃棄物処理業者6社((有)山陰クリエート、(株)クラエー、(有)環建、(株)渡辺商 会、(株)フジクリーン、(有)井上商店)により鳥取県リサイクル協同組合を設立。同組合では、今まで 処分場等で埋立や焼却していたリサイクルが困難な古紙や廃プラスチックを混ぜて固形燃料(RPF) を製造、王子製紙米子工場に供給している。(混合比プラスチック類50%、木・紙等50%)		

(2) 島根県

13	アースサポート(株)	所在地	松江市八幡町882-2
電話番号	0852-37-2890	対象物	古紙、木くず、廃プラスチック
URL	http://www.earth-support.jp/		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成17年
事業内容	○廃プラスチックや古紙、木くずを細かく破碎、加熱・圧縮し、固形燃料にする。熱量は石炭やA重 油 と同程度の6,000カロリーある。RPFは王子製紙(株)米子工場で発電用ボイラー施設の燃料として全 量販売している。		

(3) 岡山県

14	(株)内海清掃 南倉敷リサイクルセンター	所在地	倉敷市児島稗田町2667-5
電話番号	086-474-8855	対象物	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず
URL	http://www.kct.ne.jp/~naikai/		
製造能力(t/h)	-	使用開始年度	-
事業内容	○廃プラスチック類を主とした高カロリー廃棄物は、圧縮固化処理されてRPF(固形燃料)として製紙 会社、セメント会社などで燃料として利用。再生原料に適した廃プラスチック・木くず等は、さらに破 砕を加えペレット化し、それぞれの原料として再利用。(休止中)		

15	(株)西日本アチューマツクリーン RPF赤磐工場	所在地	(本社)岡山市中区藤原50-1 (工場)赤磐市山口213-4
電話番号	086-272-8042(本社) 086-957-4919(工場)	対象物	紙、木、繊維くず、廃プラスチック
URL	http://www.e-nac.co.jp/		
製造能力(t/h)	2.0	使用開始年度	平成17年
事業内容	○紙や木、繊維くずと廃プラスチックを原料に、これを混ぜ合わせ加圧、加熱後、成形。RPFは、王 子 製紙米子工場や、神戸製鋼所加古川製鉄所など3工場に供給する。		

16	(株)オガワエコノス 岡山工場	所在地	勝田郡勝央町太平台89-8
電話番号	0868-38-0530	対象物	廃プラスチック類、木くず、 紙くず、繊維くず
URL	http://www.o-econos.com		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成17年
事業内容	○廃プラスチックや木くず、紙くずなどをブレンドして固形燃料(RPF)化。岡山県内を中心に企業か ら収集した廃プラスチックや木くず、紙くずなどから金属などの異物を取り除いた後、破碎、練り合わ せを行い棒状のRPF(直径35mm、長さ5~10cm)に加工する。1,000t/月程度の製造を行い、製品 のRPFは主に王子製紙米子工場にボイラー燃料として出荷している。		

(4) 広島県

17	(有)金本商会 広島事業所	所在地	広島市安佐北区大林町字台 443
電話番号	082-818-4385	対象物	廃プラスチック、木材、古紙
URL	http://www.kanemoto-shokai.com/		
製造能力(t/h)	36t/日	使用開始年度	平成18年
事業内容	○紙・プラスチックの廃棄物を破碎し、「木くず、紙くず、繊維くず」30～40 %と「廃プラスチック」60～70% に混合、金属類を選別し、成型の段階を経てRPFを製造。山口事業所よりRPF原材料の破碎処理まで行なわれたものが、送られてきている。RPFは製紙工場のボイラー燃料として納入している。		

18	(株)オガワエコノス 鶴飼工場	所在地	府中市鶴飼町800-113
電話番号	0847-45-2998	対象物	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず
URL	http://www.o-econos.com		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成15年
事業内容	○広島県が進める「びんごエコタウン構想」の一つで、RPFの事業化は当時県内初。原料は、同社が広島県東部の企業を中心に集めた産業廃棄物。破碎したプラスチックと、木くず、古紙を重量比6対4で混ぜ合わせ、圧縮・成形し、RPFを製造。1000t/月程度の製造を行い、製品のRPFは主に日本製紙岩国工場と王子製紙米子工場にボイラー燃料として出荷している。		

4-2-3. バイオマス発電施設

(1) 鳥取県

19	王子製紙(株) 米子工場	所在地	米子市吉岡373
電話番号	0859-27-3112	出力(kw)	119,000
URL	http://www.ojipaper.co.jp/	燃料	黒液、RPF
事業内容	○RPFなど廃棄物を燃料とする発電施設を建設。新エネボイラー導入で化石燃料からの燃料転換を図る。古紙や廃プラスチックを固めたRPFを主に、廃タイヤを細かくしたタイヤチップ、建築廃材などの木質燃料を使い、出た灰は路盤材などに再利用される。		

20	(有)山水園	所在地	西伯郡大山町加茂2946
電話番号	0859-54-2195	出力(kw)	2,100
URL	http://www.hansinchikusan.co.jp/	燃料	家畜ふん尿
事業内容	○メタンガスを精製し、ガス発電により電気と蒸気エネルギーに変換。変換したエネルギーを農場内利用することにより電力費の軽減を図る。(農場利用電力料の約30%)豚舎から出る糞尿を埋設型汚水導入管を通し、直接密閉式の処理施設に移動させメタン発酵させることで悪臭や水質汚濁を防ぎ環境に配慮。分離脱水した固形物は堆肥にし、ホームセンターで委託販売、または直接農家へ販売。		

(2) 島根県

21	ライト工業(株) 島根営業所 出雲バイオマスエネルギープラント	所在地	出雲市小境1700-8
電話番号	0853-67-9381(島根営業所)	出力(kw)	47
URL	http://www.raito.co.jp/	燃料	木質バイオマス(木くず、剪定枝等)
事業内容	○2006年8月より稼動の本プラントは木くずや剪定枝などの木質バイオマス資源を高温・高圧でガス化し、水素を50%近く含んだガスを精製。熱・電気エネルギーに変換させ、水素エネルギーや電気を回収する。		

(3) 岡山県

22	(株)クラレ倉敷事業所	所在地	倉敷市酒津1621
電話番号	086-422-0580	出力(kw)	13,000(昼間)、9,000(夜間)
URL	http://www.kuraray.co.jp/	燃料	木質バイオマス(建設廃材等)
事業内容	○建設廃材などの木くずを発電プラントの燃料として利用するバイオマス発電を2004年に稼動。発電プラントには、木くずを搬送するコンベヤーや金属類を取り除く磁選機、貯蔵するサイロ(300立方メートル)などを設置。木くずは建築系の解体くずで、NPO法人・中四国木材資源リサイクル協会会員で、破砕量も多く品質管理にも理解のある近隣の工場から供給を受ける。		

23	銘建工業(株) 本社工場	所在地	真庭市勝山1209
電話番号	0867-44-2693	出力(kw)	1,950
URL	http://www.meikenkogyo.com/	燃料	木質バイオマス (自社で発生する製材工場残材・林地残材)
事業内容	○原材料の加工工程で発生するプレーナーチップ(1日110トン)を20トン木屑焚きボイラーで燃焼し、木質バイオマス発電1,950kw/hにて本社工場電力全てを賄い、更に蒸気は工場機械や木材乾燥そして工場内暖房に利用している。また、平成15年4月にRPS法が施行され夜間電力1,200kw/hをエコ電力として売電している。		

(岡山県のつづき)

24	岡山県総合畜産センター	所在地	久米郡美咲町北2272
電話番号	0867-27-3321	出力(kw)	9.8
URL	http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=204	燃料	家畜ふん尿、生ゴミ
事業内容	○家畜排泄物と家庭など生ごみの一部を湿式メタン発酵方式によりバイオガスを製造し、コージェネ装置により発電および熱利用の実証試験を実施。メタン発酵後の残渣は固形物を圃場に還元しているが、消化液については施設内の水処理施設で河川放流できるレベルまで浄化。		

(4) 広島県

25	パーキテック(株)	所在地	広島市東区戸坂千足2-10-17
電話番号	082-567-2211	出力(kw)	28
URL	http://www.parchitec.co.jp/whats.htm	燃料	鶏糞
事業内容	○鶏糞を燃やして得られる排熱や蒸気を利用し糞の乾燥や洗卵、自家発電、鶏舎の床暖房などに利用。ボイラーには小型貫流ボイラーの採用により、980kPa、伝熱面積10m ² 以下。排熱ボイラーを設けて蒸気の倍増を図る。また、食品残さを高温空気で乾燥させて飼料に変換する「飼料化プラント」を開発。リゾートホテルや学校給食、大規模スーパーなど、食品残さを排出する現地にプラントを据えて、食品残さ由来の飼料「エコフィールド」を生産し、主として養豚業に供給している。		

26	中国木材(株)	所在地	呉市広多賀谷3-1-1
電話番号	0823-71-7142	出力(kw)	5,300
URL	http://www.chugokumokuzai.co.jp/	燃料	木質バイオマス
事業内容	○2005年3月より本社工場にて樹皮や木くずを燃料にするバイオマス発電施設を稼働。海外から樹皮付の丸太を輸入し、樹皮と工場から出た木くずとを合せて燃料として使用。発電能力は5,300キロワットであり、本社工場で昼間使う電力の6割を賄える。蒸気は乾燥材を製造するために必要な熱源としても有効活用できる。又、CO ₂ 削減の為、国産材を有効利用した、集成材の開発、生産を行う。		

27	帝人テクノプロダクツ(株)三原製造所	所在地	三原市円一町1-1-1
電話番号	0848-63-3115	出力(kw)	4,800
URL	http://www.teijin-technoproducts.co.jp/top/top.html	燃料	木質バイオマス、廃タイヤ、RPF
事業内容	○バイオマス、リサイクル燃料(木質バイオマス、廃タイヤ、RPF等)を利用する循環流動層ボイラーを新たに設置、新設ボイラーから発生させる蒸気は既設のタービン発電機を利用して発電に利用する。木質バイオマスを年間5万t、廃タイヤ・RPF等を年間1.2万tを利用。バイオマス、リサイクル燃料の比率は従来の石炭消費量の36%。		

28	大洋興産(株)	所在地	三原市大和町大草1934
電話番号	0848-48-5356	出力(kw)	約30
URL	-	燃料	豚ふん尿
事業内容	○メタンガスを中温発酵方式で利用するため、ふん尿混合汚水(処理能力は1日当たり30立方メートル)をタンクに入れて発酵させ、その過程で発生したメタンガスを発電機や発酵タンクを加熱するボイラー燃料として利用。		

(広島県のつづき)

29	(株)カムテックス	所在地	福山市箕沖町107-5
電話番号	084-954-6700	出力(kw)	5,000
URL	http://www.kamtecs.co.jp/	燃料	固形廃棄物 (汚泥、廃プラスチック類等)
事業内容	○大型焼却施設(固形物焼却炉)では、焼却熱を高効率で回収してサーマルリサイクル(発電:5,000KW)を行い、更に焼却後の燃えがらは、熔融によるマテリアルリサイクル(道路舗装ブロック原料、セメント原料、埋戻し材等の土木資材等に利用できる熔融スラグの生産)を行っている。		

30	(株)ウッドワン 本社工場	所在地	廿日市市木材港南1-1
電話番号	0829-32-3333	出力(kw)	4,600
URL	http://www.woodone.co.jp/	燃料	木質バイオマス
事業内容	○自社で発生する月間約3,000トンの木くずをバイオマスエネルギーとして発電の燃料に利用、全使用電力の約50%を賄っている。ウッドワンでは、経済産業省よりバイオマス発電所の認可を受け、特定規電気事業者への売電を実施している。		

(5) 山口県

31	日本製紙(株) 岩国工場	所在地	岩国市飯田町2-8-1
電話番号	0827-24-6222	出力(kw)	35,000
URL	http://www.np-g.com/	燃料	木質バイオマス、RPF等
事業内容	○木くず廃材を主な燃料とするバイオマス発電設備を08年2月に導入。工場内で発生する木くずや木質の建築廃材(85千t/年)、紙と廃プラスチックを混ぜたRPF(43千t/年)などを燃やし、発生させた蒸気で発電。電気は工場内で使い、工場の消費電力の4分の1を賅う。		

32	(株)岩国ウッドパワー 岩国発電所	所在地	岩国市大字長野1805-7
電話番号	0827-39-0567	出力(kw)	10,000
URL	http://www.fesco.co.jp/iwp/index.htm	燃料	木質バイオマス
事業内容	○木質バイオマスを活用し新エネルギー電気を供給。設備の中心となる循環流動層ボイラーは木質チップの持つエネルギーをより高い燃焼効率で引き出し、貴重な資源である木質チップを無駄なく活用している。起動・停止時の起動用燃料以外は、発電所内の照明・熱源など、所内のエネルギーにも化石燃料を使用せず、バイオマス由来の電気を利用。		

33	宇部興産(株) 伊佐セメント工場	所在地	美祢市伊佐町大字伊佐4768
電話番号	0837-52-1212	出力(kw)	57,150
URL	http://www.ube-ind.co.jp/japanese/index.htm	燃料	木質バイオマス
事業内容	○県内及び近隣県の間伐材や建設廃木材をチップ化し、自家発電用燃料の一部として石炭に代替して利用する「廃木材チップ燃料化設備」を、宇部工場(破碎施設)と伊佐工場(自家発電ボイラー投入施設)に整備、平成16年4月から本格的に稼働。		

34	(有)鹿野ファーム	所在地	周南市大字巢山清涼寺1950
電話番号	0834-68-3617	出力(kw)	30
URL	http://www.kanofarm.com/	燃料	豚のふん尿
事業内容	○豚のふん尿から発生させたメタンガスを燃料にする畜産バイオマス発電設備を本社近くの農場に06年3月より稼働。家畜の糞尿、食品廃棄物が分解される過程で発生するバイオガス(メタンガス)を用いて、発電機及び給湯ボイラーを運転し、得られた電気及び熱を牧場内で利用する(発酵槽や豚舎の加温等)。発酵後の残りかすは堆肥に利用する。		

35	(株)トクヤマ	所在地	周南市御影町1-1
電話番号	0834-34-2505	出力(kw)	145,000
URL	http://www.tokuyama.co.jp/	燃料	木質バイオマス(建設廃材等)
事業内容	○2007年より木質バイオマスを自家発電に導入。出力14万5000kwの東2号発電所の近くに、チップ約600tを保管できる施設や供給する設備を建設し、燃料の石炭に重量比で3%のチップを混ぜる混焼発電に取り組む。建設廃材などをチップ化したものを、石炭とあわせてミル(粉碎機)で微粉化し、ボイラーで燃やして蒸気をつくり、タービンを回して発電する。		

4-2-4. 廃棄物発電施設

(1) 鳥取県

36	米子市クリーンセンター	所在地	米子市河崎3280-1
電話番号	0859-30-0270	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ		
処理能力(t/日)	270	処理量(t/年)	47,773
発電能力(kw)	4,000	発電効率(%)	13.3
総発電量(MWh)	17,015	使用開始年度	平成14年

(2) 島根県

37	出雲エネルギーセンター	所在地	出雲市芦渡町廻田2383-1
電話番号	0853-23-9225	処理方式	回転式
対象廃棄物	可燃性一般廃棄物		
処理能力(t/日)	218	処理量(t/年)	52,646
発電能力(kw)	3,690	発電効率(%)	16.0
総発電量(MWh)	17,328	使用開始年度	平成15年

(3) 岡山県

38	岡山市東部クリーンセンター ごみ焼却施設	所在地	岡山市東区西大寺新地453-5
電話番号	086-944-7071	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	450	処理量(t/年)	111,093
発電能力(kw)	12,100	発電効率(%)	12.8
総発電量(MWh)	36,948	使用開始年度	平成13年

39	岡山市岡南環境センター	所在地	岡山市南区豊成1-4-1
電話番号	086-233-7490	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	220	処理量(t/年)	57,511
発電能力(kw)	1,700	発電効率(%)	8.0
総発電量(MWh)	8,418	使用開始年度	昭和54年

40	岡山市当新田環境センター	所在地	岡山市南区当新田486-1
電話番号	086-246-5145	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	300	処理量(t/年)	66,449
発電能力(kw)	1,960	発電効率(%)	8.0
総発電量(MWh)	11,953	使用開始年度	平成6年

41	総社広域環境施設組合 吉備路クリーンセンター	所在地	倉敷市真備町箭田481
電話番号	086-698-3774	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ、粗大ごみ		
処理能力(t/日)	180	処理量(t/年)	28,674
発電能力(kw)	198	発電効率(%)	4.0
総発電量(MWh)	473	使用開始年度	平成9年

(岡山県のつづき)

42	倉敷市水島清掃工場	所在地	倉敷市水島川崎通1-1-4
電話番号	086-448-1311	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	直接搬入ごみ、可燃性粗大ごみ、し尿処理残渣		
処理能力(t/日)	300	処理量(t/年)	87,813
発電能力(kw)	1,900	発電効率(%)	3.2
総発電量(MWh)	15,294	使用開始年度	平成6年

(4) 広島県

43	広島市中工場	所在地	広島市中区南吉島1-5-1
電話番号	082-249-8517	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ、家庭系その他プラ		
処理能力(t/日)	600	処理量(t/年)	158,529
発電能力(kw)	15,200	発電効率(%)	14.0
総発電量(MWh)	61,418	使用開始年度	平成15年

44	広島市環境局南工場	所在地	広島市南区東雲3-17-1
電話番号	082-285-6690	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	一般廃棄物の可燃ごみ(厨芥ごみ、紙くず、木くず)		
処理能力(t/日)	300	処理量(t/年)	62,644
発電能力(kw)	1,400	発電効率(%)	4.4
総発電量(MWh)	10,948	使用開始年度	昭和63年

45	広島市安佐南工場	所在地	広島市安佐南区沼田町大字伴 字赤迫3990
電話番号	082-848-1114	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ、ごみ処理残渣		
処理能力(t/日)	200	処理量(t/年)	39,957
発電能力(kw)	500	発電効率(%)	5.0
総発電量(MWh)	2,908	使用開始年度	昭和57年

46	広島市安佐北工場	所在地	広島市安佐北区可部町中島1460-1
電話番号	082-815-1881	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ、ごみ処理残渣		
処理能力(t/日)	200	処理量(t/年)	50,574
発電能力(kw)	1,100	発電効率(%)	5.0
総発電量(MWh)	5,952	使用開始年度	平成2年

47	クリーンセンターくれ	所在地	呉市広多賀谷3-9-3
電話番号	0823-74-9106	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ		
処理能力(t/日)	380	処理量(t/年)	82,252
発電能力(kw)	7,000	発電効率(%)	16.1
総発電量(MWh)	32,869	使用開始年度	平成14年

(広島県のつづき)

48	福山リサイクル発電	所在地	福山市箕沖町107-8
電話番号	084-920-2480	処理方式	シャフト炉式ガス化溶融炉
対象廃棄物	RDF		
処理能力(t/日)	314	処理量(t/年)	-
発電能力(kw)	約20,000	発電効率(%)	28.1
総発電量(MWh)	-	使用開始年度	平成16年

49	安芸クリーンセンター	所在地	安芸郡坂町1322-8
電話番号	082-885-2538	処理方式	流動床式 ガス化溶融炉
対象廃棄物	可燃ごみ、可燃性粗大ごみ		
処理能力(t/日)	130	処理量(t/年)	32,248
発電能力(kw)	1,300	発電効率(%)	11.0
総発電量(MWh)	7,693	使用開始年度	平成14年

(5) 山口県

50	下関市環境部奥山工場	所在地	下関市大字井田字桑木378
電話番号	0832-56-5389	処理方式	ストーカ式焼却炉 プラズマ式灰溶融炉
対象廃棄物	一般廃棄物、可燃ごみ		
処理能力(t/日)	400	処理量(t/年)	94,378
発電能力(kw)	4,980	発電効率(%)	11.0
総発電量(MWh)	24,276	使用開始年度	昭和55年

51	宇部市環境保全センター	所在地	宇部市大字沖宇部字沖ノ山5272-5
電話番号	0836-31-3664	処理方式	流動床式 ガス化溶融方式
対象廃棄物	一般廃棄物(可燃ごみ)		
処理能力(t/日)	198	処理量(t/年)	54,565
発電能力(kw)	4,000	発電効率(%)	15.6
総発電量(MWh)	19,096	使用開始年度	平成14年

52	山口市環境施設課清掃工場	所在地	山口市大内御堀496
電話番号	083-927-0020	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ、し尿処理残渣		
処理能力(t/日)	220	処理量(t/年)	61,107
発電能力(kw)	1,900	発電効率(%)	8.5
総発電量(MWh)	11,750	使用開始年度	平成10年

53	恋路クリーンセンター	所在地	下松市大字河内340
電話番号	0833-43-2636	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ、直搬搬入ごみ、粗大ごみ		
処理能力(t/日)	330	処理量(t/年)	58,927
発電能力(kw)	1,900	発電効率(%)	6.0
総発電量(MWh)	6,815	使用開始年度	平成7年

4－3．インフラ（教育・研究機関）

4-3. インフラ(教育・研究機関)

4-3-1. 教育・研究機関の概要

●大学等教育機関

(1)鳥取県

	所属団体	所在地	電話番号	URL
1	鳥取大学	鳥取市湖山町南4-101	0857-31-5007	http://www.tottori-u.ac.jp
	鳥取大学 地域共同研究センター	鳥取市湖山町南4-101	0857-31-6707	http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp
2	鳥取環境大学	鳥取市若葉台北1-1-1	0857-38-6700	http://www.kankyo-u.ac.jp

(2)島根県

3	島根大学	島根県松江市西川津町1060	0852-32-6100	http://www.shimane-u.ac.jp/
	島根大学 産学連携センター	島根県松江市北陵町2	0852-60-2290	http://www.crc.shimane-u.ac.jp/
4	松江工業高等専門学校	島根県松江市西生馬町14-4	0852-36-5111	http://www.matsue-ct.ac.jp/

(3)岡山県

5	岡山大学	岡山市北区津島中1-1-1	086-252-1111	http://www.okayama-u.ac.jp/
	岡山大学 研究推進産学官連携機構	岡山県岡山市北区津島中1-1-1	086-251-7112	http://www.okayama-u.net/renkei/
6	岡山理科大学	岡山市北区理大町1-1	086-252-3161	http://www.ous.ac.jp/

(4)広島県

7	広島工業大学	広島市佐伯区三宅2-1-1	082-921-3121	http://www.it-hiroshima.ac.jp/
8	広島国際学院大学	広島市安芸区中野6-20-1	082-820-2345	http://www.hkg.ac.jp/html/
9	広島市立大学	広島市安佐南区大塚東3-4-1	082-830-1500	http://www.hiroshima-cu.ac.jp/
10	広島経済大学	広島市安佐南区祇園5-37-1	082-871-1000	http://www.hue.ac.jp/
11	広島修道大学	広島市安佐南区大塚東1-1-1	082-848-2121	http://www.shudo-u.ac.jp/
12	福山大学	広島県福山市東村町985-1	084-936-2111	http://www.fukuyama-u.ac.jp/
13	県立広島大学	庄原市七塚町562	0824-74-1000	http://www.hiroshima-pu.ac.jp/
14	広島大学	東広島市鏡山1-3-2	082-422-7111	http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html
	広島大学 産学連携センター	東広島市鏡山3-10-31	082-421-3631	http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/
15	近畿大学	東広島市高屋うめの辺1	082-434-7000	http://www.hiro.kindai.ac.jp/
16	呉工業高等専門学校	呉市阿賀南2-2-11	0823-73-8400	http://www.kure-nct.ac.jp/

(5)山口県

17	山口大学	山口市吉田1677-1	083-933-5000	http://www.yamaguchi-u.ac.jp/index.html
	山口大学 地域共同研究開発センター	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9951	http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/
18	山口県立大学	山口市桜島3-2-1	083-928-0211	http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/
19	宇部工業高等専門学校	宇部市常盤台2-14-1	0836-31-6111	http://www.ube-k.ac.jp/
20	徳山工業高等専門学校	周南市大字久米3538	0834-29-6200	http://www.tokuyama.ac.jp/

●研究機関

(1)鳥取県

	所属団体	所在地	電話番号	URL
1	鳥取県産業技術センター	鳥取市若葉台南7-1-1	0857-38-6200	http://www.tiit.or.jp/
2	鳥取県中小家畜試験場	西伯郡南部町北方633	0859-66-4121	http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=43013

(2)島根県

3	島根県産業技術センター	松江市北陵町1	0852-60-5140	http://www.shimane-iit.jp/
---	-------------	---------	--------------	---

(3)岡山県

4	岡山県工業技術センター	岡山市北区芳賀5301	086-286-9600	http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kougi/index.html
5	岡山県環境保健センター	岡山市南区内尾739-1	086-298-2681	http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec_1=185
6	岡山県総合畜産センター	久米郡美咲町北2272	0867-27-3321	http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=204

(4)広島県

8	広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター	広島市南区比治山本町12-70	082-251-7431	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1227837467405/index.html
7	広島県立総合技術研究所 食品西部工業技術センター	呉市阿賀南2-10-1	0823-74-0050	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1190946228795/index.html
9	広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター	福山市東深津町3-2-39	084-931-2402	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1206934430088/
10	産業技術総合研究所 中国センター	東広島市鏡山三丁目11番32	082-420-8230	http://unit.aist.go.jp/chugoku/
11	産業技術総合研究所 バイオマス研究センター	東広島市鏡山三丁目11番32	082-420-8250	http://unit.aist.go.jp/btrc/ci/introduction/team.html

(5)山口県

12	山口県産業技術センター	宇部市あすとびあ4-1-1	0836-53-5050	http://www.iti-yamaguchi.or.jp/
----	-------------	---------------	--------------	---

4-3-2. 大学等における研究者一覧

(1) 鳥取県

1 鳥取大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
赤尾 聡史	工学部 社会開発システム工学科 環境計画	助教	環境技術・環境材料 土木環境システム	○有機性廃棄物からのL-乳酸生成
原 豊	工学部 応用数理工学科 予測工学	准教授	風車工学・流体工学 自然エネルギー 光計測	○住環境に適合する風力発電機の開発 ○住環境を配慮した小型風車に関する研究 ○自然エネルギーを利用した製水装置の研究開発
細井 由彦	工学部 社会開発システム工学科 環境計画	教授	土木環境システム	○上下水道システムの安定性向上、事業評価 ○非点源からの汚染物質の流出
築瀬 英司	工学部 生物応用工学科 生物反応工学	教授	生物機能 バイオプロセス 応用生物化学	○環境汚染物質をターゲットにする生体触媒デザイン
西守 克巳	工学部 電気電子工学科 電気電子機器工学	教授	電気電子機器 システム工学 計測・制御工学	○太陽光発電エネルギー技術の開発 ○電力エネルギー機器システムの開発
福間 三喜	工学部 生物応用工学科	助教	生物反応工学	○水質浄化のための技術開発 ○環境修復技術に関する研究
増田 貴則	工学部 社会開発 システム工学科	准教授	環境計画評価	○GISを活用した流域環境管理に関する研究 ○水・廃棄物循環(再利用)と処理システムの最適化
矢島 啓	工学部 土木工学科 河川・海岸	准教授	気象・海洋物理 陸水学 水工水理学	○湖沼・ダム貯水池における水環境問題 ○河川における水環境問題
近藤 康雄	工学部 機械工学科 生産環境システム	准教授	原子力学 環境影響評価 環境政策	○循環型生産システムに適合した製品設計支援システム ○循環利用対応型技術開発
長澤 良太	農学部 生物資源環境学科 環境共生科学	教授	地理学・図書館情報学 人文社会情報学 環境動態解析	○リモートセンシングによる地域環境の解析
山本 定博	農学部 生物資源環境学科 国際乾燥地科学	教授	土壌圏の保全 乾燥地農業	○火山灰土壌(黒ボク土)の生成と分類 ○堆肥化・炭化による未利用有機性廃棄物の有効利用
本名 俊正	農学部 生物資源環境学科 国際環境科学	教授	土壌圏の科学 乾燥地農業 土壌化学	○黒ボク土(Andosol・火山灰土壌)及び乾燥地土壌の生成・分類と農業生産性の向上 ○未利用有機物の堆肥化・炭化による資源化と地域循環型農業の形成 ○土壌生態系をめぐる酸性雨と地下水汚染の影響および環境評価の研究
田川 公太郎	地域学部 地域環境学科 循環型環境学	准教授	熱工学 化工物性・単位操作 エネルギー学	○地域住環境に適応した垂直軸風車に関する研究

2 鳥取環境大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
岡崎 誠	環境政策経営学科	教授	環境政策 大気・水質保全	○運輸部門の地球温暖化対策について ○文理融合型の環境政策学のあり方について
鷺見 育亮		教授	デジタル回路 アナログ回路 マイコン制御技術	○小型風力発電システムに関連する研究開発
衣川 益弘	環境政策経営学科	教授	ISO14001 環境監査 安全衛生	○ISO14001の効果的運用の研究 ○水の性質と浄化に関する研究 ○はんだの再生に関する研究
石川 真澄		准教授	環境経済学	○経済的手法による環境政策手段の研究 ○鳥取地域における循環型産業連携の可能性に関する研究 ○持続可能な観光活動に関する研究

(2) 島根県

3 島根大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
関 耕平	法文学部 法経学科	准教授	財政学 地域財政論 廃棄物政策論	○【出講】「田舎からみるごみ問題～棄てられるごみと地域：廃棄物政策における公共部門の役割・不法投棄による地方財政負担」
				○その他、次のようなテーマでも講義が可能です。 「足尾鉍毒事件と渡良瀬川流域の人々の生活変化」 「公害の教訓を考える：公害は過去のことか？」
田坂 郁夫	法文学部 社会文化学科	教授	自然地理学(気候学)	○【出講】「短時間強雨の発生に関する研究」
上園 昌武	法文学部 法経学科	准教授	科学技術史 経済政策	○「地球温暖化防止政策に関する国内制度」
加川 充浩	法文学部 社会文化学科	准教授	地域福祉論 (コミュニティワーク論)	○「尼崎大気汚染公害事件に関わる歴史学研究」
秋重 幸邦	教育学部 自然環境教育講座	教授	エネルギー環境論	○「鉛フリーの圧電物質の開発」
野村 律夫		教授	地球環境進化論 沿岸環境長期観測	○【出講】「湖の底をカメラでのぞいてみよう 巧妙な自然の営み とは：宍道湖・中海の底質環境の研究」
松本 一郎	教育学部 初等教育講座	准教授	岩石鉍物鉍床学 土壌および地下水の環境学	○【出講】「土壌の汚染はどのように起こるか？ ：土壌汚染の汚染メカニズムの研究」
舟木 賢治	教育学部 学校教育課程 人間生活環境教育講座	教授	細胞生物学 発生生物学 遺伝学	○「タニシを用いた新しい環境評価システムの開発」
大谷 修司	教育学部 学校教育課程 自然環境教育講座	教授	宍道湖・中海及び南極の 微細藻類の分類と生態 地域の自然を生かした 生物教育	○「シャジクモ藻類の種組成と分布に関する研究」
秦 明德		教授	理科教育学 環境教育学 地学教育学	○「花崗岩地帯における風化作用の研究(風化環境)」
藤田 委由	医学部 医学科 環境保健医学講座	教授	公衆衛生学 (疫学研究および生活 習慣病の予防対策)	○「教育研究機関における労働安全衛生の管理に関する研究」
塩飽 邦憲		教授	環境予防医学 (寄生虫学、コミュニティヘル ス、産業保健、環境保健)	○「中小企業における労働環境マネジメントに関する研究」
紫藤 治	医学部 医学科 生理学講座	教授	環境生理学	○「病室の内装改善による居住者の様々な生理機能の変化 —寒冷地での短期滞在における検討— (医療・福祉施設の居住性向上に関する試験研究プロジェクト)」
森田 栄伸	医学部 医学科 皮膚科学講座	教授	皮膚科学	
小林 裕太	医学部 看護学科 基礎看護学講座	教授	生体情報学 感染看護学 障害福祉論	○「環境蓄積物質ペルフルオロオクタンスルホン酸の生体への作用とその機構」
竹下 治男	医学部 医学科 法医学講座	教授	法医学 (法医中毒学, 神経毒性学)	○「絶滅危惧種アホウドリのヒ素高濃度蓄積に関する研究— ヒ素投与によるアポトーシス誘導における核酸分解酵素 (DNase)の関与・役割の解明」
藤原 純子		講師		

(島根大学のつづき)

塩飽 邦憲	医学部 医学科 環境保健医学講座	教授	環境予防医学 (寄生虫学、コミュニティヘルス、産業保健、環境保健)	○「医療・介護職場における感染リスクマネジメントの実践的研究」
山崎 雅之		助教		
岩本(渡部) 麻実子		助教		
嘉数 直樹		准教授		
塩飽 邦憲	医学部 医学科 環境保健医学講座	教授	環境予防医学 (寄生虫学、コミュニティヘルス、産業保健、環境保健)	○「エビデンスとアカウンタビリティを重視した栄養支援活動評価システム構築に関する研究」
杉本 利嗣	医学部 医学科 内科学講座	教授	内分泌・代謝学 糖尿病学 骨代謝学 腎臓病学 血液学	
中谷 久恵	医学部 看護学科 地域看護学講座	教授	地域看護学	
佐藤 和子	医学部 看護学科 臨床看護学講座	准教授	成人看護学	
塩飽 邦憲	医学部 医学科 環境保健医学講座	教授	環境予防医学 (寄生虫学、コミュニティヘルス、産業保健、環境保健)	
西村 信弘	医学部附属病院 薬剤部	准教授	生物系薬学 医療系薬学	○「抗菌薬の適正使用・使用量抑制推進研究-指定抗菌薬の届出・モニタリングシステムの開発-」
山口 清次	医学部 医学科 小児科学講座	教授	小児科学 (先天代謝異常症の臨床、生化学、分子生物学的研究)	
磯部 威	医学部 医学科 内科学講座	教授	がん化学療法教育学	
熊倉 俊一	医学部 医学科 地域医療教育学講座	教授	地域医療教育学	
花田 英輔	医学部 情報ネットワークセンター	副センター長(兼) 准教授	医用生体工学・生体材料学 通信・ネットワーク工学 等	
長谷崎 和洋	総合理工学部 物質科学科 物理分野	准教授	材料工学, エネルギー変換材料学	
石賀 裕明	総合理工学部 地球資源環境学科	教授	古生物学	○「汽水湖底質の非在来型炭化水素資源化」(特許申請中)
三瓶 良和	総合理工学部 地球資源環境学科	教授	有機地球化学	
石賀 裕明		教授	古生物学	○【出講】「ヒ素環境問題とリスクマネジメント」

(島根大学のつづき②)

廣光 一郎	総合理工学部 物質科学科 物理分野	教授	有機半導体	○【出講】「有機物でつくる新しい太陽電池:酸化亜鉛を用いた有機太陽電池の開発」
藤田 恭久	総合理工学部 電子制御システム工学科 電子デバイス工学講座	教授	酸化亜鉛を用いた 応用技術等	
田中 仙君	総合理工学部 物質科学科 物理分野	助教	半導体界面物性	
古津 年章	総合理工学部 電子制御システム工学科 計測システム工学講座	教授	遠隔計測	○【出講】「水と環境を考えよう:降雨や水の計測手法の研究」
下舞 豊志		助教	遠隔計測	
藤田 恭久	電子制御システム工学科 電子デバイス工学講座	教授	酸化亜鉛を用いた 応用技術等	○【出講】「ベビーパウダーで発光ダイオード :低消費電力で水銀フリーな一般照明装置の開発」
三瓶 良和	総合理工学部 地球資源環境学科	教授	有機地球化学	○【出講】「中海・宍道湖の環境変化と”ヘッドロ”」
岡本 康昭	総合理工学部 物質科学科 化学分野	教授	環境触媒を中心とした 触媒作用機構の解明 高機能触媒の設計、開発	○【出講】「サルファーフリー燃料油製造触媒の開発」
久保田 岳志		准教授	分光法による反応条件下での 触媒活性点の キャラクタリゼーション	
清家 泰		准教授	汽水域環境の陸水化学的・ 地球化学的研究及び 分析法の開発研究	
入月 俊明	総合理工学部 地球資源環境学科	准教授	古生物学	○「小型底生動物を用いた最近の内湾環境の変化と環境モニタリングに関する研究」
小葉田 亨	生物資源科学部 農業生産学科 食糧生産学	教授	作物の生理・生態	○「高温下でのイネ子実生産と玄米品質に関する研究」
喜多 威知郎	生物資源科学部 地域開発科学科 生物環境情報工学	教授	数理計画法による 水利システムの解析 雨水の水資源としての 有効利用	○【出講】「リサイクル資材と雨水を利用した屋上緑化 :資源の有効利用に資する雨水利用および屋上緑化 の機能融合型システムの開発」
松本 真悟	生物資源科学部 附属生物資源 教育研究センター 農業生産科学部門 (本庄総合農場)	准教授	土壌の肥沃度に応じた作物 の養分吸収機構の解明	○【出講】「高温好気発酵法による生ごみの減溶化と残渣 の農業利用」
佐藤 利夫	生物資源科学部 生態環境科学科 生態環境工学	教授	上水・排水の高度処理、 環境水の浄化・保全 のための新技術 及び機能性材料の開発	○「産業廃棄物利用藻礁コンクリートによる藻場形成に関する研究」
谷野 章	生物資源科学部 地域開発科学科 生物環境情報工学	准教授	農業における電気工学技術 の適用に関する研究	○「太陽電池を利用した園芸施設環境制御システムの開発」
井藤 和人	生物資源科学部 生態環境科学科 環境生物学	教授	農薬分解微生物 の遺伝生態学的研究	○【出講】「農薬分解菌の多様性と分解酵素・遺伝子に関する研究」

(島根大学のつづき③)

野中 資博	生物資源科学部 地域開発科学科 地域環境工学	教授	水環境修復を包括した 水利施設の性能設計	○【出講】産業副産物の特性を活かした循環利用の必要性 :資源循環型社会に適した水循環修復資材の 開発
森 也寸志		准教授	多機能センサによる土壌 の水・物質・熱移動特性 の解析	○「土地管理のあり方・人間活動が水環境に与える影響に ついて」
國井 秀伸	汽水域研究センター	副セン ター長 教授	汽水域保全再生研究	○「湖沼生態系における環境監視システムと高度データベー スの構築」
瀬戸 浩二		准教授	汽水域環境 変動解析	○【出講】「中海本庄水域のいまとこれから :中海本庄水域における人為的環境変化に対する 底質・水質モニタリング」
堀之内 正博		准教授	汽水域生態系研究	○「宍道湖・中海における植生群落と魚類」
國井 秀伸	汽水域研究センター	副セン ター長 教授	汽水域保全再生研究	○「ラムサール条約登録後の中海における汽水域生態系の 再生と長期生態学研究」
瀬戸 浩二		准教授	汽水域環境変動解析	
野中 資博	生物資源科学部 地域開発科学科 地域環境工学	教授	水環境修復を包括した 水利施設の性能設計	
森 也寸志		准教授	多機能センサによる土壌 の水・物質・熱移動特性 の解析	
石賀 裕明	総合理工学部 地球資源環境学科	教授	古生物学	

4 松江工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
門脇 健	機械工学科	教授	内燃機関 熱工学	○曲がり管内における流動特性に関する研究 ○エタノール機関の動力性能に関する研究
宇野 和男	環境・建設工学科	教授	土木環境システム 土木計画学	○土木計画のための地域分析 ○水環境の多変量解析 ○産業廃棄物を活用した植生実験
高田 龍一		教授	コンクリート工学	○コンクリートの凍結融解劣化診断手法に関する研究 ○廃ガラスに起因するアルカリ骨材反応の抑制方法に関する 研究 ○未利用資源のコンクリートへの有効利用に関する研究

(3) 岡山県

5 岡山大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
赤江 剛夫	大学院環境学研究科 環境管理工学科	教授	生産基盤管理学	○寒冷乾燥地灌漑農地の持続的・効率的灌漑管理
阿部 宏史	大学院環境学研究科 環境デザイン工	教授	地域環境計画学	○持続可能な都市・地域の計画研究
綾野 克紀	大学院環境学研究科 資源循環学専攻	教授	廃棄物マネジメント学	○環境負荷低減を目指した建設材料の開発
石岡 文生	法務研究科	助教	-	○各種の空間データに対してホットスポットを研究する手法の研究
石黒 宗秀	環境管理センター 環境管理工学科	教授	自然環境管理学講座	○土壌中の溶質移動に関する研究
市南 文一	大学院環境学研究科 環境理工学部 環境管理工学科	教授	環境経営学	○農村漁村の持続可能性に関する研究
伊藤 武彦	教育学研究科 発達支援学	教授	養護教育講座	○環境測定に関する研究
岩田 徹	大学院環境学研究科 資源循環学専攻	准教授	-	○大気、海洋間の二酸化炭素交換に関する研究
内田 和子	社会文化科学研究科 (文学系)	教授	政策科学講座	○水資源管理
江崎 文一	資源植物科学研究所	准教授	生命環境適応グループ	○環境ストレス耐性に注目した地球環境の改善
加藤内蔵進	大学院教育学研究科 (自然教育学系)	准教授	理科教育講座	○東アジアのマルチスケール気象・気候システムと水循環
小松 満	大学院環境学研究科 (環境理工学系)	准教授	資源循環学	○地盤内水分量の計測手法に関する研究
嶋 一徹	大学院環境学研究科 (農学系)	准教授	環境生態学講座	○人工林の間伐と混交林へ誘導育成に関する研究
杉尾 剛	大学院自然科学研究科 (農学系) バイオサイエンス専攻	教授	植物微生物機能開発学講座	○硫黄酸化酵素系の解明
高橋正徳	大学院社会文化科学研究科 (法学系) 公共政策科学専攻	准教授	公共法政講座	○「協働的手法」の法的統制・環境法
瀧川智子	大学院医歯薬学総合研究科 (医学系)	助教	公衆衛生学分野	○シックハウス症候群に関する疫学研究
竹内文章	環境管理センター大学院 環境学研究科 生命環境学専攻	准教授	-	○鉄酸化細菌の生化学的諸性質と環境修復、資源回収技術に関する基礎研究
竹下祐二	大学院環境学研究科 (環境理工学系) 環境デザイン工学科	教授	環境設計学	○地盤・地下水環境特性の計測手法の開発
近森秀高	環境学研究科 社会基盤環境学専攻	准教授	農村環境創成学講座	○気候変動に伴う降雨パターンの変動に関する研究
千葉 仁	大学院自然科学研究科 (理学系) 地球科学科	教授	地球物質循環学	○海底熱水系を通しての地球内部からの物質フラックスに関する研究
塚本 修	自然科学研究科 (理学系) 先端基礎科学専攻	教授	地球科学科	○大気海洋相互作用の研究

(岡山大学のつづき)

津田敏秀	環境学研究科 人間生態学専攻	教授	環境疫学	○物理的・化学的・生物学的環境汚染物質による人体への影響 調査に関する研究
永井明博	大学院環境学研究科	教授	農村環境創成学講座	○流域水循環モデルの構築
中嶋佳貴	大学院環境学研究科 (環境理工学系) 環境管理工学科	助教	自然環境管理学	○ヘドロを植生護岸の基盤資材として活用する基礎研究
仲辻忠夫	大学院環境学研究科	教授	資源循環学講座	○NOx及び有害成分の同時浄化触媒及びその触媒の利用に関する基礎的
西本俊介	大学院環境学研究科 資源循環学専攻	助教	物質エネルギー学	○環境浄化材料の開発研究
橋本成仁	大学院環境学研究科 社会基盤環境学専攻	准教授	都市環境創成学講座	○交通まちづくりに関する研究
藤井隆史	大学院環境学研究科 資源循環学専攻1	助教	-	○産業副産物の建設材料への有効利用の検討および資源の保護、環境負荷の低減に関する研究
藤原健史	廃棄物マネジメント 研究センター(環境学研究 科)資源循環学専攻	教授	廃棄物マネジメント学講座	○社会・経済モデルを用いた廃棄物発生量の将来推計と処理・ 処分システムの計画と評価
紅野安彦	大学院環境学研究科 (環境理工学系) 環境物質工学科	准教授	物質エネルギー学講座	○ガラスおよび結晶化ガラス材料の構造解析と形態制御を利用 した機能発現
前田守弘	大学院環境学研究科 (環境理工学系) 社会基盤環境学専攻	准教授	農村環境創成学講座	○農業系バイオマスの農耕地での利活用と環境負荷・農耕地に おける窒素、リンの流出
松浦健二	大学院環境学研究科 (農学系)	准教授	環境生態学	○シロアリの繁殖システムと社会構造の解明
三宅通博	大学院環境学研究科 資源循環学専攻	教授	物質エネルギー学	○環境浄化材料の開発研究
村山八洲雄	大学院環境学研究科 社会基盤環境学専攻	教授	農村創成学講座	○コンクリート構造物の劣化診断技術に関する研究
毛利紫乃	廃棄物マネジメント 研究センター 生命環境学専攻	准教授	-	○廃棄物・処分場評価における機器分析ならびに生物影響 評価
山下 純	資源生物科学研究所 附属大麦・野生植物資源 研究センター	助教	野生植物グループ	○野生植物遺伝資源の収集事業および形態学的研究
山本 晋	環境管理センター 環境学研究科 資源循環学専攻	教授	廃棄物マネジメント学講座	○大気/陸域生態系間の熱、水、CO2交換過程の解明
難波 徳郎	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座	教授	無機工業化学 環境無機材料化学	○低負荷型セラミクス材料の開発
アズハ・ ウッディン		准教授	環境反応工学	○エネルギー資源の循環のための触媒の開発
比江島慎二	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	准教授	環境技術・環境材料 構造工学・地震工学 維持管理工学	○風力エネルギーとその周辺技術に関する研究
松井 康弘		准教授	環境システム工学 廃棄物工学	○廃棄物のライフサイクルアセスメント ○環境行動に関する社会心理学的アプローチ

(岡山大学のつづき②)

横溝 功	大学院環境学研究科 生命環境学専攻 環境生態学講座	教授	農業経済学・農業経営学	○稲発酵粗飼料生産による水田の有効利用と環境保全に関する研究
駄田井 久		准教授	-	○地域資源の効率的利用システムの開発に関する研究
沖 陽子	大学院環境学研究科 社会基盤環境学専攻 農村環境創成学講座	教授	作物学・雑草学	○富栄養化の進んだ閉鎖軽水系における浚渫ヘドロ及び水生雑草を活用した干潟造成の研究・バイオマス資源の再生化に関する研究

6 岡山理科大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
金枝 敏明	大学院 工学研究科	教授	加工学・精密加工学 ヴィークルエンジニアリング	○地域社会とのコラボレーションによるQOL向上の一体的アプローチ
井上 堅太郎	総合情報学部 社会情報学科	教授	環境学 環境政策 環境情報 国際環境協力	○日本の環境政策とその形成過程に関する研究
猶原 順	工学部 生体医工学科	教授	環境影響評価 環境分析化学	○促進酸化処理法による環境汚染物質の分解・無害化に関する研究
若村 国夫	理学部 基礎理学科	教授	エネルギー環境科学 光自然科学	○風水車試作による研究
愛甲 博美	理学部 動物学科	教授	動物生物化学	○蛍光灯などから水銀の回収システムの研究 ○体内に蓄積する水銀など金属の体外除去に関する研究
西岡 利晃	総合情報学部 建築学科	教授	建築環境工学 空気環境、空気清浄	○空気環境・温熱環境の改善の研究 ○地球環境保全を目指した省エネルギー空調システムの研究
大橋 唯太	総合情報学部 生物地球システム学科	准教授	気象学・大気環境学	○都市の大気環と環境影響評価に関する研究
岸本 民也	理学部 臨床生命科学科	准教授	環境微生物学	○微生物学的排水廃棄物処理に関する研究
福原 実	工学部 バイオ・応用化学科	教授	無機材料化学	○製鋼スラグの炭酸化反応を利用した大型スラグ固体化に関する研究

(4) 広島県

7 広島工業大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
宋 相載	工学部 知能機械学科	教授	生産システム工学 生産管理工学・工学教育	○省資源・循環型生産システムの設計・開発・運用法 ○生産・物流システムの最適化・知能化・統合化に関する研究
石井 義裕	工学部 都市建設工学科	准教授	水工学・流体力学	○地下水・土壌汚染の浄化対策
今岡 務	環境学部 地球環境学科	教授	環境衛生工学	○水環境の保全技術および廃棄物の適正処理・資源化技術

8 広島国際学院大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
黄 樹偉	工学部 総合工学科	教授	熱工学	○水素添加による希薄炭化水素混合気燃焼特性の向上及びそのメカニズム ○予混合乱流燃焼の炎炎構造に及ぼす乱れと混合気性質の影響 ○高速回転軸受けの発生および伝達に関する研究
佐々木 健		教授	生物工学 環境化学	○名水の水質調査とその応用 ○光合成細菌による環境浄化、水質浄化、廃油、ヘドロの浄化 ○光合成細菌の農業、農薬、バイオ肥料への利用
中川 紀壽		教授	振動工学 環境音響工学 機械力学	○自動車における振動・音響関連低減技術の開発 ○音響解析プログラムの開発と遮音最適設計 ○小試料面積化を考慮した斜め入射音特性測定 ○等反発ばね特性を有する低振動小型装置の開発
山崎 勝弘		准教授	表面技術 リサイクル技術	○リサイクル性に富んだガラス瓶着色技術 ○バイオマスを活用した木質防水トレー
渡辺 昌規		准教授	生物化学工学	○穀物系非可食性バイオマスの濃縮・回収技術の開発 ○非可食部バイオマスからのバイオエタノール生産および機能性物質回収に関する研究

9 広島市立大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
中島 正博	国際学部国際学科	教授	環境影響評価 環境政策	○発展途上国における水資源の利用管理の制度改革に関する評価
矢野 卓雄	情報科学科	教授	バイオシステム工学	○再生可能なバイオエネルギーの生産

10 広島経済大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
川村 健一	ビジネス情報学科	教授	国際技術マネジメント サステナビリティ評価 サステナブル	○持続可能な地域づくりの評価指標の研究 ○社会循環論の計画 ○サステナブルコミュニティの計画と実施 ○欧米の都市政策の研究 ○エコービレッジの計画と研究

11 広島修道大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
時政 昴	人間環境学部 人間環境学科	教授	環境経済学 資源経済学	○環境保全の経済的手法と再生不能 ○再生可能資源の利用可能性問題
長谷川 弘		教授	環境影響評価 環境政策	○環境資源・機能の経済的価値の評価手法と応用
佐々木 緑		准教授	環境地理学	○農業・農村地域における持続的可能性 (リサイクル・循環型システムについて)

12 福山大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
大川 秀郎	生命工学部 生物工学科	教授	環境遺伝子工学	○環境モニタリング及び浄化に関する植物遺伝子工学
倉掛 昌裕	生命工学部 生命栄養科学科	教授	応用酵素科学	○酵素法による農産・都市廃棄物の有用物質への変換
溝上 恭平	生命工学部 海洋生物科学科	特任 准教授	酵素工学	○バイオマス資源のエネルギー変換
富田 武満	工学部 建築・建設学科	教授	環境地盤工学	○産業廃棄物の安定化と有効利用に関する研究 ○地盤汚染の浄化・修復に関する研究
尾島 勝		教授	環境水理学	○河川水質の浄化
田辺 和康		教授	環境材料学	○産業廃棄物の有効利用
宮地 功		准教授	建築設計学	○地球環境建築について
満谷 淳	生命工学部 海洋生物科学科	教授	海洋環境学	○微生物を用いた赤潮防御技術に関する基礎研究 ○アオコの異常増殖メカニズムに関する研究
北口 博隆		准教授	海洋微生物学	○赤潮原因藻の殺滅に関わる微生物の生態と利用 ○微生物による赤潮原因藻の殺滅機構の解析

13 県立広島大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
四方 康行	生命環境学部 環境科学科	教授	地域環境マネジメント	○地域環境マネジメントの研究
中村 健一		教授	環境生化学 環境適応生化学 微生物運動論	○干潟河口及び河川環境の生化学的解析と環境保持に関する研究
西村 和之		教授	環境衛生工学	○有機性廃棄物や生活排水の処理・資源回収技術の開発とその安全性の評価に関する研究
三好 康彦		教授	排水処理技術 廃棄物処理技術 大気汚染防止技術 悪臭防止技術	○中山間知域における環境の現状と環境改善技術に関する研究
阪口 利文		准教授	生物工学・応用微生物学 バイオセンサー 環境計測	○環境バイオテクノロジー
増田 泰三		准教授	植物栄養環境学 土壌肥料学	○植物栄養成分の機能解明と有効利用および養分循環に基づく栄養環境保全
三苫 好治		准教授	有機化学・環境保全化学 環境分析化学	○環境制御システムの構築に関する研究
崎田 省吾		准教授	土木環境システム	○埋立処分量削減を目的とした焼却残渣の環境安全な有効利用に関する研究

14 広島大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
河野 憲治	大学院 生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	教授	土壌肥科学 植物環境分析学 土壌微生物学 草地学	○土壌微生物バイオマスの動態と添加有機物との関連 ○土壌微生物バイオマスの環境浄化能に関する研究 ○添加有機物の無機化と植物への養分供給との関連
柿菌 俊英	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	教授	応用微生物学 微生物育種	○微生物燃料電池を用いたバイオマスからの直接発電システムの開発 ○持続可能型代替エネルギー生産法としてのバイオソーラーセルの開発
松村 幸彦	大学院工学研究科 機械システム工学専攻	教授	超臨界流体技術 伝熱工学	○超臨界流体を用いたバイオマスおよび有機廃棄物の有効利用
西尾 尚道	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	特任教授	生物化学工学 応用微生物 環境生物工学	○嫌氣的廃水処理及びエネルギー生産 ○特殊環境微生物による有用物質生産 ○余剰汚泥の乾式メタン発酵プロセスの開発 ○水素・メタン二段発酵プロセスの開発 ○微細藻類の培養と有用物質生産に関する研究
黒田 章夫		教授	生物・生体工学 応用微生物学	○活性汚泥からのリンのリサイクル
福井 国博	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	化学工学一般 複合材料・物性 反応・分離工学	○各種焼却灰を原料とするフィリップサイトの選択合成 ○マイクロ波加熱を利用した廃棄物の再資源化
石塚 悟	大学院工学研究科 機械システム工学専攻	教授	熱工学 化工物性・移動操作 社会システム工学	○環状火炎によってバイオマスから発生した低発熱量のガスを安定して効率よく燃焼する研究
中井 智司	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	環境保全 土木環境システム 環境動態解析	○CCA処理木材の再利用
加藤 純一	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	教授	応用微生物学 環境バイオテクノロジー 生体触媒	○微生物の環境浄化機能の解明
正岡 淑邦	大学院 生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	教授	植物栄養学 土壌学	○バイオマスに関する農学的アプローチ(バイオマスプロジェクト研究活動)
荒木 秀夫		准教授	構造工学・地震工学 建築構造・材料	○産業廃棄物を利用した用いた鉄筋コンクリート部材の開発研究
日比野 忠史	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	海岸工学	○北～西太平洋での水位振動と日本沿岸域での水環境 ○瀬戸内海における物質循環に関する研究 ○河岸に堆積した有機泥の処理
河合 研至		准教授	土木材料 力学一般	○コンクリートの環境負荷評価
白浜 博幸	産学連携センター	准教授	高分子合成 高分子構造 機能・物性・材料	○エコおよびバイオマテリアルとしての生分解性高分子
西田 恵哉	大学院工学研究科 機械システム工学専攻	准教授	熱工学	○バイオディーゼル関連技術(バイオマスプロジェクト研究活動)
山本 民次	大学院 生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	教授	水圏環境学 環境動態解析	○閉鎖性海域の水質・底質環境改善に関する研究 ○浅海域環境改善のための鉄鋼スラグの利用 ○海洋生態系における物質循環に関する研究 ○海洋生態系の利用による地球温暖化対策 ○鉄鋼スラグを栄養源とした海産藻類の光合成利用による大気中二酸化炭素の削減技術の開発

(広島大学のつづき)

長岡 俊徳	大学院 物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	准教授	生物生産化学 植物栄養学・土壌学 生物有機化学	○土壌微生物群集構造による土壌環境影響評価
中根 周歩	大学院 生物圏科学研究科	教授	生態学・環境科学 環境動態解析 広領域	○森林生態系をめぐる炭素循環・収支の解析 ○大気汚染(酸性雨・霧を含む)と森林衰退 ○森林土壌・森林及び農地土壌の改良材開発
谷田 創	大学院 生物圏科学研究科 附属瀬戸内圏フィールド科 学教育研究センター	教授	畜産学・草地学 応用動物科学	○バイオマスに関する農学的アプローチ(バイオマスプロジェクト研究活動)
岡田 光正	大学院工学研究科 物質化学システム専攻	教授	環境保全 環境動態解析	○有害化学物質の起源とその挙動に関する研究 ○土壌・地下水汚染対策技術・生物活性炭・オゾン ○膜分離による水処理に関する研究 ○土壌・地下水汚染対策技術
河合 幸一郎	大学院 生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻	准教授	水産学一般 環境動態解析 生態	○生物指標を用いた環境評価
早瀬 光司	総合科学研究科 環境科学部門 社会文明研究	教授	環境パフォーマンス評価 有機地球化学 社会地球化学	○環境監査と環境パフォーマンス評価の確立に関する研究 ○海洋フミン物質の蛍光特性と動態 ○循環型低エントロピー社会の構築
藤井 博信	先進機能 物質研究センター	客員教授	-	○水素エネルギー社会の実現を目指した水素貯蔵機能の開発

15 近畿大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
芦田 利文	工学部 生物化学工学科	教授	無機材料工学	○水熱反応を利用した廃棄物の再利用の研究
杉山 一男		教授	高分子合成化学 高分子機能化学	○廃プラスチック類のリサイクルに関する研究
野村 正人		教授	応用化学・合成化学 天然物有機化学	○有機性廃棄物の発酵分解消滅システムの開発
伊藤 一明		教授	環境工学	○水環境中の微量化学物質の計測と動態について ○自然水中での無機イオンの計測と動態について ○嫌気性消化プロセス中での有機酸の計測と動態について
田端 道彦	工学部 機械工学科	教授	熱工学	○高効率エンジン燃焼に関する研究 ○燃料噴霧の微粒化に関する基礎研究 ○水素燃料利用技術に関する研究
玉木 伸茂		准教授	機械工学・熱工学 噴霧工学・燃焼工学	○高効率・内燃機関用噴射ノズルの実用開発に関する研究 ○光触媒による燃焼効率の改善に関する研究
樹野 淳也		准教授	システム制御工学 ロボット工学	○独立型太陽電池システムのアプリケーション ○太陽電池駆動型農作業ロボットの開発

16 呉工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
森脇 武夫	環境都市工学分野	教授	地学工学	○廃棄物処理場跡地の有効利用に関する研究

(5) 山口県

17 山口大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
上村 明男	大学院医学系研究科 応用分子生命科学系学域	教授	有機化学合成・複素環化学 天然物化学・有機反応化学 環境化学	○プラスチックリサイクル技術の開発
合田 公一		教授	複合材料工学 信頼性工学	○環境にやさしい生分解性複合材料(グリーンコンポジット)の創製
関根 雅彦		教授	環境衛生工学・水質汚濁 水域生態系モデル 多自然川づくり	○多自然河川改修が生態系に与える影響の解析 ○水域生態系に与える微量有害物質の挙動解析
羽田野 袈裟義		教授	環境水理学・河川水理学 水工水理学	○波力エネルギーおよび水流エネルギー変換
喜多 英敏	大学院理工学研究科 環境共生系学域	教授	膜分離工学・高分子化学 化学工学	○分子ふるい膜(ゼオライト膜、炭素膜など) ○メンブレンリアクター ○ゼオライト膜、炭素膜などのナノ細孔を利用した地球温暖化ガスの分離濃縮
新苗 正和		教授	分離工学・環境修復工学 資源循環工学	○土壌・地下水汚染の浄化修復 ○レアメタルの分離回収
佐伯 隆		准教授	化学工学 レオロジー工学	○界面活性剤水溶液による乱流抗力減少効果のメカニズム ○複雑流体の流れと安定性 ○流体輸送時の抵抗低減による省エネルギー
三浦 房紀		教授	地震工学・防災工学 防災情報システム	○自然災害が環境に及ぼす影響 ○リアルタイム防災情報システム
藤島 政博		教授	進化生物学	○細胞内共生により、新たな機能を獲得した原生物を用いた環境修復や有用物質生産などへの応用
山本 晴彦	農学部 生物資源環境科学科	教授	環境気象学・生物環境学 環境計測学・自然災害科学	○光学的計測法による植物の生育診断と制御技術 ○ヒートアイランド緩和評価 ○バイオエタノール原料作物の供給能力評価
藤井 克彦	農学部 生物機能科学科	准教授	環境微生物学 応用微生物学・環境保全	○微生物を活用した物質生産及び環境浄化 ○微生物を用いた産業排水の処理
今井 剛	大学院理工学研究科 環境共生系学域	教授	衛生工学 環境工学	○有機性汚泥、生ごみなどの有機性廃棄物からの資源回収 ○省資源、創資源型廃水処理プロセスの開発 ○閉鎖性水域の水質改善
山崎 鈴子		教授	光工学	○光触媒上での反応機構の解明 ○光触媒を用いた環境汚染物質の分解、無害化

18 山口県立大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
井生 文隆	国際文化学部 プロダクトデザイン 研究室	教授	プロダクトデザイン	○環境のための素材活用・生活用品のプロダクトデザイン・フィ ンランドのデザイン

19 宇部工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
西野 順也	物質工学科	教授	環境工学 無機材料化学 化学工学	○温暖化効果ガス分解触媒の研究 ○エタノールの炭化水素転換触媒の研究 ○プラスチックの石油化学原料化の研究
中野 陽一		准教授	化学工学 生物反応工学 環境科学・教養化学	○人工干潟・藻場造成技術に関する研究 ○マイクロバブルを用いた水処理技術に関する研究 ○閉鎖性水域の水質浄化に関する研究
山崎 博人		教授	高分子化学 有機化学 材料有機化学	○微生物固定化担体法による新規環境浄化技術に関する研究 ○シクロデキストリンをもちいた環境共生型高分子材料の開発と応用 ○フェニルグリシン誘導体による高性能キラル固定相の開発

20 徳山工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
大成 博文	土木建築工学科	教授	水理学 流体力学	○閉鎖水域における水質浄化
伊藤 尚	機械電気工学科	教授	材料工学	○セラミックス材の急速凝固処理による材質改善 ○自然エネルギーを利用したものづくり教育

4-3-3. 研究機関における研究内容一覧

(1) 鳥取県

1 鳥取県産業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
セミドライによる環境低負荷型冷却加工技術に関する研究	機械素材研究所	-	○微細加工に特化した環境低負荷な切削加工技術の開発を行う。	H21～22
多層化によるPVD皮膜の耐久性向上に関する研究		-	○密着性の優れたPVD多層膜のコーティング技術を獲得する。	H21～22
サワラ(サゴシ)の新規加工製品の開発	食品開発研究所	-	○すり身や煮干しといった加工品を新たに開発する。	H21～22
機能性油脂成分を利用した食品開発に関する研究		-	○水産、農産物などに含まれる油脂類の食品への応用を図る。	H21～22
地域特産スイカを活用した機能性発酵食品「スイカ酢」の開発		-	○未利用スイカの有効利用と新たな産業の創出を支援する。	H21～22

2 鳥取県中小家畜試験場

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
高濃度臭気に対応した新微生物脱臭装置の検討	環境養鶏研究室	庄野 俊一	○高濃度臭気が発生する堆肥化施設等に対応した安価な微生物保持担体の検索と脱臭装置の開発を試みる。	H21

(2) 島根県

3 島根県産業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
地域素材を活用した吸放湿建材の開発	材料技術グループ	-	○県内に多くある有機素材(木材等)及び無機素材(粘土、鉱物等)を主体として吸放湿性能に優れた建築材料を開発する。	H21～23
天然由来資源を用いた活性炭の製造およびEDLCへの応用	環境技術グループ	-	○石見銀山遺跡の周辺に限らず、放置竹林が問題となっている。この天然資源である竹は、CO2を発生しない環境に優しい工業原料となる。本研究では、この竹を原料として、今後の大きな需要が見込まれる、電気二重層キャパシタ(EDLC)の材料となる高性能活性炭の開発を目指す。	H21～23
可視光応答型光触媒の実用化研究		-	○光触媒は、光を利用して悪臭除去や、外壁の防汚などに利用されているが、紫外線しか利用できないという問題点があった。産業技術センターでは、新たに「可視光応答型光触媒」を開発した。この光触媒は、蛍光灯に含まれる青色を利用することができるため、屋内でも光触媒効果を発揮できる。新規開発した「可視光応答型光触媒」の実用化に向けた研究を行い、この材料を用いた新商品を開発する。	H19～22
食品製造で発生する廃棄物の有効利用	生物応用グループ	-	○食品業界で発生する廃棄物から有用物質を分離抽出を行い、糖はバイオエタノールとしてエネルギー資源等へ利用し、他の成分(アミノ酸、機能性成分等)を回収し有効利用を図る。	H20～22

(3) 岡山県

4 岡山県工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
バイオマス製品の有効利用に関する技術開発	化学・新素材	-	○室内空気環境を向上させる性能を有する炭製品を開発するために、吸放湿性、VOC・臭気吸着性の測定法を開発し、炭製品の性能を評価する。	H20
マイクロ・ナノ粒子を利用した高機能製品の実用化開発	高分子	-	○マイクロ・ナノ微粒子の高機能化において、超臨界流体の特性を活用した高性能微粒子の開発を行う。また、ナノ粒子連続調整技術を応用し、高性能エレクトロニクス素材および医療用素材の開発を行う。	H20
低環境負荷で高効率な洗浄殺菌技術の確立	化学・新素材	-	○洗浄度の簡易評価のための拭き取り操作法の標準化に取り組むとともに、弱酸性次亜塩素酸水溶液による空間噴霧の殺菌効果と金属腐食を防止するための有効な防錆配合剤の探索を行う。	H21

5 岡山県環境保健センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
有害化学物質の環境汚染実態の解明と分析技術の開発に関する研究	水質科	-	○高分解能GC/MSやLC/MS/MS等を用いて、微量有害化学物質の分析法開発を行い、環境中の実態把握を実施している。	-

6 岡山県総合畜産センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
バイオマスを活用した効率的エネルギーの回収	環境衛生科	-	○家畜ふん尿に未利用有機質資源を組み合わせ、効率的にメタンガスを発生させ、エネルギーとして回収する。	-
簡易・低コストな環境負荷ガス低減技術と脱臭技術の実証試験		-	○メタン・亜鉛化窒素・二酸化炭素などの温室効果ガスの発生量測定と発生要因の分析を行い、削減対策を検討する。	-

(4) 広島県

7 広島県立総合技術研究所食品工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
食品製造に係る環境関連技術に関する技術支援	生物利用研究部	—	○食品製造に係る有機性廃棄物のリサイクル技術。	—

8 広島県立総合技術研究所西部工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
食品廃棄物のバイオ水素化バイオガス化に関する技術開発	材料技術部	宗網 洋人 樋口 浩一 小村 直樹 玉井 正弘	○食品廃棄物からエネルギー回収率60%以上で高効率エネルギー回収を行うカスケードプロセス「水素・メタン発酵生産、残渣の超臨界水バイオガス化」のシステムを確立し、食品廃棄物のエネルギー利用促進を図る。	H19～21
広島県独自の有機性資源循環システムの開発	資源環境技術部	樋口 浩一 倉本 恵治	○有機性廃棄物の種類、量、性状等に応じた広島県独自の低コストで持続的なカスケードリサイクルを実現するため、産科研西尾プロジェクトの乾式メタン発酵技術を活用し、低コストで効率的なアンモニア除去方法を開発する。	H18～20
廃石膏の資源化促進技術の開発	材料技術研究部	倉本 恵治 冠地 敏栄	○建築物解体で発生する大量の廃石膏ボードの再資源化を促進し、併せて枯渇が危惧されるリン資源確保に向け、資源化時の安全性確認に必要な「石膏中アスベストの簡易検査法」と新たな資源化技術として「廃石膏による排水中のリン資源回収技術」を開発する。	H21～23

9 広島県立総合技術研究所東部工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
未利用国産材を活用した新たな府中家具の開発	材料技術研究部	-	○寸法安定性等の問題からこれまで家具材料として使われていなかった広葉樹(コナラ等)を原材料として使用する技術を開発し、安全性に配慮した有害物質の発生が少ない接着剤・塗料を用いて、今後も高い需要が期待されるAV機器用家具等を開発する。	H19～20
廃プラスチックをゴミ袋にリサイクルするための実証研究		-	○これまでの研究により、容器包装プラスチック廃棄物を80%以上配合したゴミ袋を製造する技術を開発。この技術の実用化のために、引裂き強度の向上を図り、また、製造メーカーにおける児童製造工程を確立する。	H21
自動車の軽量化を実現するために必要な親接合プロセスの開発	加工技術研究部	-	○摩擦攪拌点接合によるアルミと鋼板、レーザ溶接によるめっき高張力鋼板同士の接合技術を開発し、安全性を確保した自動車部品の軽量化技術の向上を図る。	H21～23

10 産業技術総合研究所中国センター

海洋性生物に由来するバイオガラスの人工的製造方法の検討	-	村上 克治	○海洋に生息する動物の一種である海綿に由来するガラス物質を新規な金属吸着剤等として利用するために、人工的に当該ガラス物質を製造する方法について研究した。このガラス物質は、吸着剤1g当たり20mg以上の有害金属を吸着することができ、90%以上の回収率で吸着金属を回収することが可能である。	-
有機スズ化合物分解剤、その製造方法、及びそれを用いた有機スズ化合物の分解方法		井上 宏之	○従来船底や漁網の防汚塗料として用いられている有機スズ化合物は、海洋生物に対して強い毒性を持つ上に、難分解性であるため、大きな社会問題となっていることから、シュードモナス等の細菌が生産するシデロフォアに見つけられた新規な触媒機能を用いた有機スズ化合物分解剤の製造技術を開発。当該方法は、中性・低温で分解できるため、従来方法に対して環境に優しいという長所がある。	-
微生物固定化担体を用いた生態毒性物質の分解・除去技術		滝村 修	○海洋微生物のうち、カドミウム・ヒ素などの重金属を高濃度に蓄積する微細藻類ドナリエラ、トリフェニルスズなどの有機スズ化合物の分解物質を分泌するグラム陰性細菌シュードモナスを、高い濃度で固定化することにより処理効率を高めた環境汚染物質分解・除去技術である。このような、微生物を用いた汚染物質の分解・除去は、吸着剤を用いた従来の化学的方法などに比較して、生態系に対して負荷が低く、高度処理が可能である。	-
重金属イオン捕捉剤の製造方法		滝村 修	○水中環境を改善するためには水中の重金属イオン量を減らす必要があり、当該重金属イオン捕捉剤は単細胞緑藻ドナリエラから抽出したリン酸縮合体を用いて水中の重金属イオンを高効率に捕捉するものである。この方法ではスラッジが発生することなく、捕捉した重金属は薬品を使うことなく容易に回収できる。	-
カキ殻付着生物を利用した、水質浄化技術および生物生産力向上技術の開発に関する研究		三島 康史	○カキ殻表面は生物の宝庫とも言え、一種の浅場(藻場や干潟)と同じ機能を有している可能性がある。このため、カキ殻付着物に着目し、水質浄化と生物生産力の向上を目指した研究を行っている。更に、カキ殻付着物を海洋未利用バイオマスと捉え、その有効利用についても検討している。	-
沿岸海洋環境技術に関する研究		地質情報研究部門	谷本 照己	○沿岸生態系の研究、およびアマモ場移植・造成、流況制御等による環境修復技術の開発研究(フィールドを主体とした現地検証実験による実用化)を実施。

11 産業技術総合研究所バイオマス研究センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
エタノール・ETBE製造の研究	-	澤山 茂樹	○低環境負荷を特徴とする水熱処理、あるいはメカノケミカル処理によって、バイオマスの構成成分であるセルロース、ヘミセルロース及びリグニンを活性化、低分子化、さらには成分分離することによって容易にエタノール等液体燃料に変換できる環境調和型の前処理技術について研究開発を行っている。	-
バイオマスシステムの研究		美濃輪 智朗	○バイオマスシステムのプロセスシミュレーター技術の確立、基盤となるデータベースを構築し、バイオマスシステムシミュレーターの開発を行う。	-
木質系バイオマスの熱化学的なエネルギー変換技術の開発		花岡 寿明	○物質エネルギーに変換可能な唯一の再生可能資源である木質系バイオマスから、軽油代替燃料であるジメチルエーテル(DME)へのトータルプロセス(バイオマスガス化→ガス精製→DME製造)の開発・効率化を行う。その結果、木質系バイオマスからCO ₂ を排出せず水素やメタンといったクリーンガスのみを製造するプロセスについて、理論収率の90%が得られる反応条件を突き止めた。	-

(5) 山口県

12 山口県産業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
複合プラスチック材料の化学分離によるリサイクル技術の開発	材料技術グループ	友永文昭	○自動車内装材等に使用される、PPにPET繊維を融着させた複合材料はそのまま混練したのでは性能が低下し、物理的な分離は困難であるため、リサイクルが難しい。そこでPETのみを化学的に分別分解し主成分のPPを元の用途に戻し、PETもモノマー原料としてリサイクルする方法を開発する。	H21
超臨界流体を用いたセルロース解重合技術の開発	環境技術グループ 材料技術グループ	山田和男 友永文昭	○超臨界アルコールと触媒を併用したセルロースの解重合反応について検討を行い、その手法を確立する。反応の最適化等を経て、最終的には木質系セルロースを出発とした原料化(糖化など)技術の開発を目指す。	H21～22
加圧ガス化・乾式ガス精製によるバイオマスからの液体燃料製造の開発	環境技術グループ	小川友樹	○間伐材、竹など県内の木質系バイオマスを熱分解及びガス化剤を投入することによりガス化し、得られたガスからメタノール、ジメチルエーテル、FT-軽油等の液体燃料を製造するエネルギー自立型の可搬型液体燃料製造装置の研究開発を行う。	H20～21
廃棄物を利用した水質浄化材の開発		有村一雄	○水質浄化能力を有すると言われている天然鉱物(麦飯石、トルマリン)と類似の組成を有する廃棄物の焼却灰を利用して水質浄化材の製造を試みると共にその性能について評価検討する。	H20～21
水素エネルギー社会に適合した水素貯蔵材料及び水素センサの研究	材料技術グループ 技術相談室	前 英雄 藤本正克	○環境にとってクリーンな水素エネルギーを安全に利用するため、効率よく水素を貯蔵し、水素の漏洩を確実に検出することが必要である。そこで、水素化合物として水素を貯蔵するための水素貯蔵材料及び酸化タンゲステン薄膜を用いた光学的水素漏洩センサの開発を行う。	H21～22
やまぐち県産マイクロ風車の開発	設計制御グループ	山田誠治 田村智弘	○垂直軸型マイクロ風車用の翼型を適正化し、その翼型を用いたブレードを有する風車を試作してフィールド実験を行うことにより製品化に向けた課題抽出を行う。	H20～21
めっき技術を用いた色素増感太陽電池の実用化研究	材料技術グループ	村中武彦	○色素増感太陽電池はフレキシブルやシースルー等の意匠性や真空技術を用いず低コストであることなどから次世代太陽電池と期待されている。その構成材料である金属酸化物半導体の成膜法等の技術開発を行う。	H18～21
洞内環境に優しい通路用LED照明の開発	電子応用グループ	川村宗弘 吉村和正 阿野裕司	○秋芳洞などの国内観光洞において、照明による洞内環境の悪化を防止するため、発熱量が少なく省エネルギー効果の高いLEDを使用して、照明周辺に植物が生育しにくい照明装置を開発する。	H20～21
高効率・高輝度LEDを用いた植物栽培および貯蔵への応用			○発光波長が異なるLEDを用いた光源を作製し、照射条件を変化させながら植物の栽培を行い、植物生育に関する効果を調査する。その結果を基に、低コストで栽培が可能なシステムや貯蔵システムの検討を行う。	H21～22
スポーツ施設用LED照明器具の開発	デザイングループ	藤井謙治 松田晋幸	○新しい光源として利用分野が拡大している白色LEDの用途開発と県内企業での製品化を目的とし、LEDの特徴を活かしたスポーツ施設用照明器具の開発を行う。	H20～21

5. 環境関連企業

5－1．環境関連企業（廃棄物リサイクル分野）

5-1.環境関連企業(廃棄物リサイクル分野)

(1)鳥取県

1	(株)エコマ	分野	リサイクル原料製造
住所	米子市和田町2166	電話番号	0859-25-1220
URL	http://www.ecomawood.jp	資本金(万円)	5,000
業種	プラスチック製品開発	従業員数	7
項目	○廃プラスチックを利用した新素材「エコマウッド」を用いた屋上緑化資材、公園資材、ウッドデッキの開発		
実施内容	<p>○廃棄されたプラスチックの内、ポリプロピレン(PP)を主成分として利用し、新工法で再生された素材は「エコマウッド」である。</p> <p>○特長は木材同様にノコギリで切れ、ドリルで穴が開けられ、カンナで削れ、釘打ちが可能で、また耐久性にも非常に優れている。</p> <p>○主な用途は屋上緑化での植栽の枠材・見切り材、公園のベンチ・テーブルや柵・土留め材ウッドデッキなどの景観資材の他にパレット材などの梱包資材がある。</p>		

2	フジ化成工業(株)米子工場	分野	リサイクル製品製造
住所	米子市和田町2112	電話番号	0859-28-7151
URL	http://www.fujikasei-kk.com	資本金(万円)	7,900
業種	プラスチック発泡製品製造、ゴム工業	従業員数	42
項目	○廃磁気テープを原料とした加圧加熱成型したパネル(EMパネル)・自動車のゴム部品等を原料にしリサイクル防音ゴムマット(おとなしくん)		
実施内容	<p>○廃磁気テープを有効利用できる建材ボードであり、また、断熱性能、寸法安定性などの付加価値を持つリサイクル商品。用途においてもその寸法安定性を活かしたバリアフリー畳用芯材(床暖房用薄畳用芯材など)や耐震スリットなど1用途に限らないバリエーションに富んだリサイクル商品である。</p> <p>○自動車用ゴム部品や各種ゴム製品の製造工程中に排出される廃ゴムを用いた防音用ゴムマットである。このマットには、防振効果が付与されており、防音効果のある優れたリサイクルゴムマットである。この防音特性が木造住宅の二階の音を大幅にカットし、一階を快適な環境に改善する。</p>		

3	(株)クラエー	分野	リサイクル原料製造・適正処理
住所	倉吉市鴨川町32-1	電話番号	0858-28-0608
URL	-	資本金(万円)	4,300
業種	廃棄物処理業・建設業・下水道施設管理業	従業員数	96
項目	<p>○発砲スチロールのプラスチック製品の原料化</p> <p>○有機性汚泥・無機性汚泥のリサイクル</p> <p>○廃石膏ボードを紙と石膏粉に選別破砕</p>		
実施内容	<p>○廃発砲スチロールを高熱で溶融し、減容ブロック化したものをプラスチック製品の原料として再利用。</p> <p>○下水汚泥等の有機汚泥を脱水処理・堆肥化し、有機肥料として再利用する事業も実施している。</p> <p>○無機性汚泥をリサイクルして盛土・埋戻土・路床土などに使用する改良土を製造。</p> <p>○廃石膏ボードを紙と石膏粉に選別破砕し、それぞれリサイクル原料として使用。</p>		

4	三光(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	境港市昭和町5-17	電話番号	0859-44-5367
URL	http://www.sankokk-net.co.jp	資本金(万円)	4,800
業種	産業廃棄物処理業	従業員数	200
項目	○RPF・バイオマスチップ(木チップ)・タイヤチップ製造、ヒラメ・エビの養殖、焼却廃熱を利用した発電、ヒラメ・エビの養殖、堆肥化		
実施内容	<p>○「ECOで未来を創造する」をキャッチフレーズとして、様々な「リサイクル」に取り組んでいます。「廃プラ、木くず、紙類、繊維くずからRPFを製造」、「動植物性残さ、有機汚泥の堆肥化」、「焼却時の廃熱を利用した発電、ヒラメ・エビの養殖」等を行っています。廃熱利用による発電は「CO2削減国内クレジット認証」を受けました。廃棄物を幅広く受け入れる事ができ、お客様のあらゆるニーズにお応え致します。</p>		

(2) 島根県

5	アースサポート(株)	分野	リサイクル原料製造・適正処理
住所	松江市八幡町882-2	電話番号	0852-37-2890
URL	http://www.earth-support.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	一般廃棄物・産業廃棄物処理	従業員数	105
項目	○機密文書・記録媒体処理システムの導入・食品廃棄物の液肥化・廃食油からのBDF製造		
実施内容	○機密書類や機密メディアを安全に集荷運搬し、100%リサイクルシステム「SSセキュリティーBOX」を導入。書類の入った箱をバーコードで一箱ずつ管理し、回収車両が処理場に到着するまでGPSで追跡する。回収された機密書類は開封せず溶解されトイレットペーパーへのリサイクルを行う。 ○生ゴミなどの食品残渣を微生物で分解し、液体肥料を製造。農業生産法人アースファームや近隣農家に販売し、無農薬・無化学肥料の農業を行っている。液体肥料は島根県のグリーン製品に認定されている。		

6	たてぬい建設事業協同組合	分野	適正処理・リサイクル
住所	出雲市平田町7668	電話番号	0853-63-5005
URL	http://www2.crosstalk.or.jp/tatenui/	資本金(万円)	310
業種	事業協同組合	加入企業数	14
項目	○鋳物系副産物(廃砂・スラグ)を循環資源として再利用する、リサイクル土木資材の調査研究開発		
実施内容	○島根県内及び近隣の鋳物工場より排出される、鋳物廃砂・スラグを循環資源として再利用する、リサイクル土木資材の調査研究開発。 ○再生購入土「エコマサ」の開発(鋳物廃砂を再利用するリサイクル土木資材) ～従来の真砂土・砂の同等品として道路、造成工事の盛土材、上下水道工事の埋戻し材として使用～ ○再生砂「スラグサンド」の開発(鋳物スラグを再利用するリサイクル土木資材) ～従来の道路砂、川砂の同等品として上下水道工事の管路基礎砂、浄化槽工事の埋戻し材として使用～ ○全天候型再生常温合材「スーパーエコパッチ」の開発(鋳物廃砂を再利用するリサイクル舗装陥没補修材) ～道路欠損部の穴埋め補修材。水溜り部でもそのまま施工でき、タイヤにも付着しない。長期的な耐久性がある～		

7	(株) Re-FLEX	分野	適正処理・リサイクル
住所	島根県出雲市平田町1101	電話番号	0853-63-4551
URL	http://www.hit-5.net/~re-flex	資本金(万円)	3,500
業種	産業廃棄物処理業、リサイクル土木資材製造販売	従業員数	4
項目	○鋳物系副産物(廃砂・スラグ)を循環資源として再利用する、リサイクル土木資材の製造販売		
実施内容	○島根県内及び近隣の鋳物工場より排出される、鋳物廃砂・スラグを循環資源として再利用する、リサイクル土木資材の製造販売及びリサイクルプラントシステムの全国展開。 ○再生購入土「エコマサ」の開発(鋳物廃砂を再利用するリサイクル土木資材) ～従来の真砂土・砂の同等品として道路、造成工事の盛土材、上下水道工事の埋戻し材として使用～ ○再生砂「スラグサンド」の開発(鋳物スラグを再利用するリサイクル土木資材) ～従来の道路砂、川砂の同等品として上下水道工事の管路基礎砂、浄化槽工事の埋戻し材として使用～ ○全天候型再生常温合材「スーパーエコパッチ」の開発(鋳物廃砂を再利用するリサイクル舗装陥没補修材) ～道路欠損部の穴埋め補修材。水溜り部でもそのまま施工でき、タイヤにも付着しない。長期的な耐久性がある～ ○鋳物系副産物のリサイクルプラントシステム「Re-FLEXシステム」の全国展開。		

8	山建プラント(株)	分野	適正処理・リサイクル
住所	島根県出雲市多伎町久村213-8	電話番号	0853-86-3861
URL	sankenp@sanin-kk.co.jp	資本金(万円)	1,500
業種	産業廃棄物処理業 リサイクル製品開発製造	従業員数	20
項目	○廃プラスチックをアスファルト混合物の改質材として再生利用、建設廃材のリサイクル		
実施内容	○農業用シート、梱包用フィルムなどの廃プラスチックをアスファルト混合物のは改質添加材として再生利用する技術を開発し、商品名「エコアス」で製造販売することにより、廃プラスチックのリサイクルを推進するとともに、CO2削減による環境負荷の低減が可能であり、又アスファルト混合物の耐流動性を高めることで、舗装材の耐久性の向上が可能となる。		

(島根県のつづき)

9	山陰興業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	出雲市神西沖町2487-5	電話番号	0853-43-0159
URL	http://www.e-skk.co.jp/index.html	資本金(万円)	1,100
業種	産業廃棄物処理業	従業員数	33
項目	○ガソリンスタンドや工場等から排出される廃油から低コストの再生燃料油を製造		
実施内容	○山陰両県で年間15,000キロリットル排出される自動車用廃潤滑油をはじめ、ガソリンスタンドや工場等から排出される廃油を回収し、ダイオキシン発生の原因となる水分固定物を除去し、重油・灯油と同等の性質をもつ低コストの再生燃料油を製造。 ○大手製紙会社や旅館などのボイラー等の熱源として供給している。平成16年度のしまねグリーン製品「再生燃料油(B重油相当)」に認定。		

10	極東興和(株)江津PC工場	分野	リサイクル製品製造
住所	江津市都野津町2276-2	電話番号	0855-53-0931
URL	http://www.kkn.co.jp	資本金(万円)	-
業種	土木建築工事	従業員数	-
項目	○廃瓦をリサイクルした、プレストレストコンクリート(PC)の実用化		
実施内容	○石州瓦の製造過程で生まれる規格外品を用いて、同社の主力製品で橋げた等に使われるプレストレストコンクリートや、盛土を保持する擁壁などの鉄筋コンクリートを試作、実用化。		

(3)岡山県

11	明和製紙原料(株)リバースプラザ	分野	適正処理・リサイクル
住所	岡山市南区青江6-2-11	電話番号	086-225-3947
URL	http://www.rebirthplaza.com	資本金(万円)	5,000(全社)
業種	古紙リサイクル業	従業員数	58(全社)
項目	○機密書類を保管状態のまま粉砕することによる安心・安全リサイクル処理		
実施内容	○機密書類の安全処理に関するお客様のニーズの高まりに対応し、新たに大型機密書類粉砕機を導入。 ○これによりセキュリティールーム内での保存帳票類のファイルごとの粉砕、段ボール箱ごとの粉砕が1時間あたり約3トンの処理が可能である。 ○また機密書類回収専用車両を2トン～7トン車まで幅広く揃え、多くの企業・官公庁様のニーズに対応できる。		

12	(株)リプロ	分野	リサイクル製品製造
住所	岡山市南区中畦1186	電話番号	086-298-2281
URL	http://www.ripro.co.jp/	資本金(万円)	1,500
業種	プラスチック製品製造、中間処理	従業員数	40
項目	○廃プラスチックリサイクル加工・販売(土木資材)		
実施内容	○合繊メーカーなど全国の企業から廃プラスチックを購入し、自社開発した破砕から溶融、加工まで一貫して行う設備を活用し、土木工事に使う副資材などを製造・販売している。		

(岡山県のつづき)

13	東快産業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	岡山市南区小串694	電話番号	086-269-2218
URL	-	資本金(万円)	2,000
業種	土木建築材・プラスチック製品製造、販売	従業員数	22
項目	○再生プラスチックを原料とした、天然感覚の木目調で、軽く腐らないプランター開発		
実施内容	<p>○町の景観と家の調和を大切に考え、外観は天然感覚の木目調に仕上げたプランター。主要素材はポリオレフィン系のプラスチックであるので、栽培中の土や肥料、水の共存下でも腐らず長持ちする。</p> <p>○屋外での長期の使用による退色を少なくするため耐候性の良い顔料を添加しており、耐用性に優れている。</p> <p>○また、環境保全の点で問題のある、鉛、カドミウム等の貴金属や難燃剤、抗菌剤を一切含んでおらず、フタル酸エステル系可塑剤、トリブチルスズ化合物など水質保全点で問題のある添加物も含んでいない。</p>		

14	平林金属(株)	分野	適正処理・リサイクル
住所	岡山市北区下中野347-104	電話番号	086-246-0011
URL	http://www.hirakin.co.jp	資本金(万円)	9,980
業種	鉄スクラップ加工処理業	従業員数	257
項目	○鉄・非鉄金属及び家電、自動車リサイクル事業		
実施内容	<p>○鉄、非鉄金属の加工・選別を主たる業務とし、自動車リサイクル、産業廃棄物処理など幅広いリサイクルを手掛ける。</p> <p>○家電リサイクル法施行に伴い、岡山市御津にて家電の再商品化施設を建設し、人の手による徹底したリサイクルを行い、金属だけではなく、プラスチックやガラスのリサイクルも積極的に行っている。</p> <p>○また、岡山市西大寺にも非鉄金属選別工場を建設し、各種選別装置を組み合わせ、ミックスメタルからアルミや銅を主とした非鉄金属の回収を行っている。</p>		

15	水島エコワークス(株)	分野	適正処理・リサイクル
住所	倉敷市水島川崎通1-14-5	電話番号	086-447-3255
URL	http://www.eco-works.co.jp/	資本金(万円)	230,000
業種	廃棄物処理・リサイクル	従業員数	4
項目	○ガス化熔融設備により、一般・産業廃棄物からスラグ・メタル等を回収しリサイクル、可燃性ガスの取り出し		
実施内容	<p>○水島エコワークス(株)を事業主体とする全国初のPFI方式により、倉敷市の一般廃棄物(可燃ごみ、焼却灰)、下水汚泥および水島コンビナートなどから発生する産業廃棄物を同時に処理するサーモセレクト方式のガス化熔融設備をJFEスチール(株)西日本製鉄所倉敷地区で稼働。</p> <p>○この設備は、廃棄物を無公害で処理し、スラグ・メタル・可燃性ガスを回収するなど、廃棄物を全て再資源化できる次世代型の画期的なもので、ごみのエネルギーから生まれた可燃性ガスを発電に利用することでCO2削減を図る。</p>		

16	明石被服興業(株)	分野	適正処理・リサイクル
住所	倉敷市児島田の口1-3-44	電話番号	086-477-7701
URL	http://www.akashi-hifuku.jp/	資本金(万円)	4,100
業種	縫製加工業、衣料製造・卸	従業員数	765
項目	<p>○再生PET樹脂から得られる繊維を用いたユニフォーム製造</p> <p>○広域認定制度による使用後に回収できるユニフォーム製造</p>		
実施内容	<p>○男女通学服や企業ユニフォーム分野で、国内で生産された再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維を原料とする国内生地を素材として使用した製品を提案している。(製品全体重量比で10%以上の再生PETポリエステルを使用)</p> <p>○広域認定制度の認定を受けた「アーシク・リサイクル・ネットワーク」に参画し、「MOTTAINAI SCHOOL」を始めとする使用後に回収できるユニフォームを提案。</p>		

(岡山県のつづき②)

17	(株)カンガイ	分野	適正処理・リサイクル、リサイクル原料製造
住所	倉敷市玉島柏島769-1	電話番号	086-526-1717
URL	http://www.kangai.co.jp/	資本金(万円)	4,500
業種	再生資源回収・卸	従業員数	75
項目	○金属屑を中心とした廃棄物リサイクル、廃棄自動車・廃棄船舶のリサイクル・鉄スクラップの回収・原料化処理		
実施内容	○金属屑を中心とした素材リサイクル事業を実施。 ○4箇所の工場を拠点として月間15000トンの金属屑を再資源化。 ○自動車・廃棄船舶・自動販売機等の鉄・廃プラ系の混合系廃棄物のリサイクルを得意としている。		

18	三乗工業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	総社市井尻野100	電話番号	0866-93-2301
URL	http://www.minori-kogyo.co.jp	資本金(万円)	6,100
業種	自動車部品製造	従業員数	141
項目	○異種高分子材料の廃材を多種同時にリサイクルする技術を開発		
実施内容	○自動車フロアマット製造工程で発生する端切れをリサイクル原料として利用する技術を開発。 ○本技術の特徴としては、異種高分子材料の分離が不要、異種高分子材料を多種同時に材料として受入が可能となる。		

19	エコシステム山陽(株)	分野	適正処理・リサイクル
住所	久米郡美咲町吉ヶ原1125	電話番号	0868-62-1346
URL	http://www.dowa-eco.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数	81
項目	○フッ素化合物、水銀含有廃棄物、ダイオキシン含有焼却灰など処理困難な廃棄物の適正処理		
実施内容	○フッ素化合物、水銀含有廃棄物、ダイオキシン含有焼却灰など処理困難な産業廃棄物を安全、確実に処理。溶融型ロータリーキルンを用いて、廃棄物を高温で焼却しスラグ化することで、重金属を完全に封じ込める。 ○燃え殻中の鉄くずは磁石により回収・製鉄原料として出荷。排ガスの熱はボイラーで回収、自家発電を実施している。		

(4) 広島県

20	河崎運輸機工(株)	分野	リサイクル原料製造・適正処理
住所	広島市南区出島2-12-13	電話番号	082-256-3210
URL	http://kawasaki-group.com/un.html	資本金(万円)	5,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数	8
項目	○出島・八木両工場でのコンクリート廃材の中間処理		
実施内容	○広島市安佐南区の八木工場で廃石膏ボードの中間処理許可を取得。		

(広島県のつづき)

21	極東興和(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	広島市東区光町2-6-31	電話番号	082-261-1207
URL	http://www.kkn.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	建設業、コンクリート製品製造	従業員数	305
項目	○産業廃棄物をコンクリート製品への適用とその実用化		
実施内容	○強度、品質において高い性能が要求されるプレストレスコンクリート製品に石炭火力発電所から発生するPFPC灰をコンクリート混和材またはセメント置換剤としてコンクリートに活用し、応用展開をしている。		

22	(株) エネルギア・エコ・マテリア	分野	リサイクル原料製造
住所	広島市中区国泰寺1-3-32	電話番号	082-523-3510
URL	http://www.energia-eco-materia.co.jp	資本金(万円)	30,000
業種	電力業	従業員数	20
項目	○中国電力の石炭火力発電所から発生する石炭灰を活用した製品(Hiビーズ、NAクリート)の製造及び再資源化(ライトサンド、エコパウダー)		
実施内容	○「Hiビーズ」は、石炭灰・水・セメント等を混合し地盤改良に使用する海砂の代替材として開発。高いせん断強度と排水機能を有していることから、SCPやSD工事に適用可能な材料であり、富栄養化物質・硫化水素の吸着効果を持っているため水質・底質改善材としても活用可能である。 ○「NAクリート」は石炭灰に少量のセメントと塩水を混ぜて締め固めることでコンクリートと同等の強度を持つ固化体。これに比重の高い金属スラグを混入することで比重を自在に変えられる技術を開発。重量が必要となる消波ブロックなどを低コストで製作できる。 ○「ライトサンド」は石炭灰の一種であるクリンカッシュの商品名で、安価な軽量盛土材、排水材として活用可能。 ○「エコパウダー」は石炭灰の一種であるフライアッシュの商品名で、コンクリート混和材等に活用すると品質の良いコンクリートとなる。		

23	(株) 砂原組	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	広島市中区平野町1-16	電話番号	082-243-7421
URL	http://www.sunahara.co.jp	資本金(万円)	9,600
業種	建設業	従業員数	93
項目	○高含水汚泥を緑化基盤材や耐震盛土材に再生する高含水比汚泥リサイクルシステムを西日本で初めて導入		
実施内容	○高含水比汚泥リサイクルシステム「ボンテラン工法」を西日本で初めて導入。 ○下水道シールド工事や浚渫など土木工事で発注する高含水汚泥(含水比～500%)を解砕した古紙、水溶性ポリマー・助剤を添加・混合し処理することにより高性能な土壌材を生成する。 ○同工法は、国土交通省所管の建設技術審査証明協議会が汚泥処理で唯一「建設業最先端技術」の認証を受けた物であり、国土技術開発賞産学官連携功労者表彰「国土交通大臣賞」を受賞している。 ○リサイクル土壌材の用途は、従来から改良土として使われている盛土、埋め戻し材のほか、緑化基盤材、屋上緑化用軽量土壌にも最適である。		

24	富士企業(株)	分野	適正処理・リサイクル
住所	広島市佐伯区楽々園4丁目6-19	電話番号	082-923-0188
URL	http://www.fuji-nt.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	廃棄物収集運搬・環境計量証明	従業員数	200
項目	○特別管理破棄物PCB、アスベスト、医療系廃棄物等特殊な廃棄物の収集運搬、その他廃棄物の適正処理		
実施内容	○中四国各事業所に保管されている高濃度PCBを処理機関であるJESCO北九州事業所まで運搬する。低濃度については自社分析にて測定し、処理の必要性等の判断を行う。環境計量証明事業所として培ってきた分析技術を利用し、廃棄物について最適処理、再利用を排出者と共同研究を行う。		

(広島県のつづき②)

25	(株)エコノインダストリー	分野	リサイクル原料製造
住所	呉市安浦町安登3350-1	電話番号	0823-85-0056
URL	-	資本金(万円)	1,000
業種	廃棄物再利用製品製造	従業員数	10
項目	○エネルギーの枯渇問題、廃棄物の再利用に対応する研究開発		
実施内容	○プロトタイプの水素発生装置。廃棄プラスチックを特殊セラミックを使用する事により、通常分解不能とされていた低温域で分解し、コークスとオイルの生成を可能とさせた廃棄プラスチック資源化装置を完成させ、販売を行っている。		

26	三井金属鉱業(株)竹原製煉所	分野	適正処理・リサイクル
住所	竹原市塩町1-5-1	電話番号	0846-22-5026
URL	http://www.mitsui-kinzoku.co.jp	資本金(万円)	4,212,900(全社)
業種	非鉄金属製錬	従業員数	2,749(全社)
項目	○鉛含有廃棄物・金銀含有有価物からの鉛・金・銀等の回収技術の開発		
実施内容	○既存の鉛溶鉱炉を用い、鉛含有廃棄物・金銀含有有価物を炉に供用して処理することで、効率良く鉛・金・銀等を処理し製品化する。 ○鉛含有廃棄物の処理:鉛滓類や鉛含有ガラス屑などの他に、従来処理が嫌われていた鉛と錫の合金も、鉛・錫にそれぞれ分離して効率良く回収が可能。 ○金銀含有有価物の処理:大型の粉砕機を導入して各種電子機器類のIC基板を粉砕、アルミ・鉄・銅および基板にそれぞれ分離することが可能であり、アルミ・銅は有価物として回収。		

27	メキシケムジャパン(株)三原製造所	分野	適正処理・リサイクル
住所	三原市円一町1-1-1	電話番号	0848-67-5230
URL	http://www.ineosfluor.com/	資本金(万円)	150,000
業種	化学工業	従業員数	45(全社)
項目	○全国一のフロン破壊施設によるフロン類の回収、リサイクル		
実施内容	○全国一のフロン破壊施設と世界初の代替フロンの再生施設により、フロン類(CFC、HCFCなど)を回収・分解するとともに、副産物は有効活用している。 ○代替フロン(HFC)の分類のほか、蒸留・精製した上でリサイクルも実施している。		

28	(株)広島リサイクルセンター	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	三原市久井町下津1126-9(久井第一工場)	電話番号	0847-32-5225
URL	http://www.h-recyclecenter.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	廃プラスチック再生処理	従業員数	160
項目	○廃プラスチックからペレットの製造		
実施内容	○広島県三原市久井町下津の工場敷地内に廃プラスチックのリサイクルプラントを建設。 ○樹脂原料として再利用できるようにする廃プラスチック処理施設としては西日本最大級である。 ○日本容器包装リサイクル協会を通じ都道府県で分別収集される容器包装に使われたプラスチックから金属など異物を取り除き、破碎・洗浄・造粒過程を経て、プラスチック樹脂原料としてメーカーに納入する。		

(広島県のつづき③)

29	(株)ガルバ興業 三原工場	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	三原市沼田西町小原73-46	電話番号	0848-86-6411
URL	http://www.galva.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	メッキ加工	従業員数	58(全社)
項目	○溶融亜鉛メッキ再処理技術の開発		
実施内容	○劣化した亜鉛メッキ製品(ガードレール等)をスクラップ処理することなく再処理し、リニューアルする技術を開発。 ○プラント稼働時に発生する従来であれば、産業廃棄物となる亜鉛を含む処理液を電気分解することにより、亜鉛を回収し、ピュアな状態に戻した処理液を再利用する。これにより約3割のコストダウンができる。		

30	柿原工業(株)	分野	リサイクル原料製造・適正処理
住所	福山市箕沖町99-13	電話番号	084-953-8100
URL	http://www.kakihara.co.jp	資本金(万円)	9,000
業種	プラスチック加工・製品製造	従業員数	195
項目	○自動車の内・外装などに使われる「樹脂メッキ部品」のリサイクルシステム開発		
実施内容	○自動車の内・外装などに使われる「樹脂メッキ部品」のリサイクルシステムを開発。 ○粉砕して微粉末にした後、磁石で金属と樹脂に分離する独自方式のため、品質劣化が少なく再利用がしやすい。 ○樹脂メッキ部品は、金属部品に比べ軽く低コストで導入できるため自動車や情報機器などに利用が拡大している。		

31	(株)カムテックス	分野	リサイクル原料製造
住所	福山市箕沖町107-5(福山工場)	電話番号	084-954-6700
URL	http://www.kamtecs.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	産業廃棄物の中間処理事業	従業員数	80
項目	○総合廃棄物の処理及びリサイクル		
実施内容	○30年にわたる産業廃棄物処理の実績を基に、ダイオキシン規制の強化に対応した大型焼却施設を完成。さらに、引火性のある小缶類・ドラム缶、スプレー缶及び悪臭物を窒素封入された装置内に完全に粉砕処理できる国内初のドラム粉砕施設も併せて導入し、環境保全に配慮し、より安全で且つ適正な廃棄物処理を行っている。 ○大型焼却施設では、焼却熱を高効率で回収してサーマルリサイクルを実施。さらに焼却後の燃え殻は、溶融によるマテリアルリサイクルを行う。		

32	福德産業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市千田町2-44-14	電話番号	084-955-0806
URL	http://www.fukutoku.com	資本金(万円)	7,000
業種	手袋製造	従業員数	70
項目	○PET再生軍手、衣料再生軍手の製造		
実施内容	○PETボトルから再生された繊維を使用した軍手の製造、及び回収された衣料(主にユニフォーム)を反毛し、再生PET60%と混合して紡績した衣料再生軍手を製造。 ○PET再生軍手、衣料再生軍手ともにエコマークを取得している。		

(広島県のつづき④)

33	(株)エコログ・リサイクリング・ジャパン	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市草戸町3-12-5	電話番号	084-924-8509
URL	http://www.ecolog.co.jp	資本金(万円)	24,000
業種	再生資源リサイクル	従業員数	4
項目	○ポリエステルと天然繊維との混合繊維製品のリサイクル技術の開発		
実施内容	<p>○バイオテクノロジーと新技術を用いた繊維製品リサイクル技術。</p> <p>○繊維製品の生産過程で生じる余剰資材や着用、使用后不要となった繊維製品を回収し、独自のノウハウを用いてエコバック、ハンガー、ボタン、詰め綿、芯地等に製造する回収・循環型リサイクルシステム。</p> <p>○また、リサイクルがより容易に行えるリサイクル対応の繊維製品「エコログ衣料品」等の開発を行っている。</p>		

34	(株)エフピコ	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市曙町1-12-15	電話番号	084-953-1145
URL	http://www.fpc.co.jp	資本金(万円)	1,315,000
業種	プラスチック発泡製品製造	従業員数	636
項目	○使用済みトレイからリサイクルされるエコトレイの開発		
実施内容	<p>○1990年から開始した消費者・スーパーマーケット・問屋・エフピコの四者一体となった使用済み発泡スチロール製トレイのリサイクルシステム。</p> <p>○回収した使用済み発泡スチロール製トレイは、全国6カ所に展開するリサイクル工場で選別・洗浄・粉碎・乾燥・熔融押出の各工程を経てペレット化され、リサイクルペレットとトレイ生産時に発生するロス原料からなるペレットをブレンドして再びエコトレイに成形する。</p>		

35	(株)明和 workshop	分野	適正処理・リサイクル
住所	福山市千田町4-14-12	電話番号	084-955-2122
URL	http://www.kk-miw.com	資本金(万円)	9,500
業種	製造業	従業員数	35
項目	①PPバンド細断機 ②PEフィルム減容機		
実施内容	<p>①PP(ポリプロピレン)バンドを細断して、運搬コストを激減し、リサイクルバンドに再生する最初の工程の機械。</p> <p>②一般的なビニール袋が多量に出て、運搬時にかさばる時に、手で減容(1/4以下)して、運搬コストを激減し、リサイクルにまわす。</p>		

36	東広商事(株)	分野	リサイクル原料製造
住所	東広島市西条町御園字718-21	電話番号	082-422-3901
URL	http://www.tokosyoji.com/	資本金(万円)	1,500
業種	産業廃棄物処理・リサイクル	従業員数	42
項目	○燃え殻、汚泥、鉍さい、ばいじん等6品目の再資源化システムの構築		
実施内容	<p>○燃え殻、汚泥、鉍さい、ばいじん等を成分分析後、混合(ブレンド)することにより性状及び成分調整し受入基準に適合させセメント原料・製鉄原料として再資源化している。</p>		

(広島県のつづき⑤)

37	キョクトウ高宮(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	安芸高田市高宮町原田500-10(工場)	電話番号	0826-59-0022
URL	http://www.kkn.co.jp/link/takamiya/index.html	資本金(万円)	10,000
業種	コンクリート製品製造	従業員数	20
項目	○石炭灰を混入したコンクリート二次製品の開発		
実施内容	○石炭火力発電所から発生する石炭灰に着目し、この灰を混入したコンクリート製品の実用化に向けて、多方面の協力を仰ぎその製造技術を確立。 ○この技術により、通常のコンクリートと同等の強度・良好なワーカビリティを確保し、良質な製品供給が可能となる。		

38	(有)ヒノカワ自動車	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	安芸高田市八千代町上根903	電話番号	0826-52-3271
URL	http://www.j-hjb.com	資本金(万円)	600
業種	自動車整備業	従業員数	12
項目	○中古車両等の再生販売及び自動車部品リサイクル事業の展開		
実施内容	○中古車両等の再生販売及び自動車部品リサイクル事業を手がける。 ○事業基盤の強化を図るため、自動車部品等のリサイクルについて試験的に取り組み、自動車リサイクルビジネスへの展開を模索。		

39	(株)熊野技建	分野	リサイクル原料製造・適正処理
住所	安芸郡熊野町9344-1	電話番号	082-854-4344
URL	-	資本金(万円)	3,000
業種	土木建設業・産廃中間処理業	従業員数	55
項目	○球状骨材を素材としたマルチング施工の実施と普及		
実施内容	○中央分離帯を含む緑地帯や庭園、墓地などに自生する雑草の育成防止を図ることを目的として、建設副産物を原料とする球状骨材を素材としたマルチング施工の実施・普及を図っている。面倒な除草作業に要する経費削減に貢献。 ○無機系汚泥、コンクリート廃材、石灰灰などを独自の技術により、混合し再生粒度調整碎石を製造。 ○その他、建設副産物を原料とした再生骨材EBを使用し、インターロッキングブロックを製造。		

(5) 山口県

40	(株)デコス	分野	リサイクル製品製造
住所	下関市熊野西町6-13	電話番号	083-255-2020
URL	http://www.decos.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	断熱材製造販売業	従業員数	25
項目	○新聞紙を綿状に加工しリサイクルした、木質繊維断熱材「デコスドライ工法」の製造販売		
実施内容	○新聞紙を加工してパラフィンとホウ酸・ホウシャを混ぜたセルロースファイバーを溶解させて防燃・撥水性加工したものを、専用の機械でブローイングし、壁内に隙間無く断熱する「デコスドライ工法」を開発。 ○セルロースファイバーは、「天然素材で撥水性に富み、火事に強く、なおかつ新聞紙のリサイクルで環境にやさしい」という、まさに時代に適合した理想の断熱材である。		

41	宇部興産(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	宇部市大字小串1978-2	電話番号	0836-35-2813
URL	http://www.ube.co.jp	資本金(万円)	5,843,400
業種	化学工業	従業員数	3,612
項目	○セメント製造キルンを利用した各種廃棄物をセメント原燃料に代替する廃棄物のセメント再資源化		
実施内容	○セメント製造キルンを利用した、各種廃棄物をセメント原燃料に代替する廃棄物のセメント再資源化事業を実施。 ○1,450℃の高温で廃棄物を焼却するため、通常の焼却炉で対応できない物質を焼成・焼却し、灰はそのままセメントにする。		

42	宇部興産(株) エネルギー・環境部門 EUP宇部工場	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	宇部市大字藤曲字昭和開作2575-6	電話番号	0836-36-0620
URL	http://www.ube.co.jp	資本金(万円)	5,840,000
業種	化学工業	従業員数	3,672
項目	○加圧二段ガス化システム「EUP」による、多種多様な廃プラスチックを工業用原料ガスとして再商品化		
実施内容	○廃プラのケミカルリサイクルとして国内初の本格的な技術を持つ。 ○塩ビを事前分離することなく破碎・成形のみの簡易な前処理を施した後、二段ガス化プロセスにより熱分解・部分酸化を行い、水素や一酸化炭素ガスを主体とする工業用原料ガスを製造する。 ○製品ガスは、隣接する(有)宇部アンモニア工業にてアンモニアの原料等として利用され、将来的には、DME、燃料電池、複合発電用燃料としても利用が考えられる。		

43	日立建設(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	宇部市大字妻崎開作720	電話番号	0836-41-5111
URL	http://www.hitachi-kensetsu.co.jp	資本金(万円)	3,600
業種	建設業	従業員数	125
項目	○一般家庭等から排出される廃ビンから樹脂舗装・コンクリート二次製品等の細骨材を製造		
実施内容	○一般家庭等から排出される廃ビンを「乾式ガラスリサイクル破碎装置」により、ビーズ製品に製造し、樹脂舗装(クリスタルストーン舗装)、アスファルト合材及びコンクリート二次製品の細骨材として自社使用にすると共に、販売を実施。 ○ビーズ製品の品質向上を図る為、色選別装置及び焼成装置を開発・導入し、付加価値の高い製品を製造している。他にも「山口県認定リサイクル製品」として10商品が認定を受けている。		

(山口県のつづき)

44	(株)宇部スチール	分野	適正処理・リサイクル
住所	宇部市大字小串字沖の山1778-19	電話番号	0836-35-1300
URL	http://www.ube-ind.co.jp/ubs	資本金(万円)	100,000
業種	鉄鋼業	従業員数	230
項目	○電気炉プラント設備を利用した産業廃棄物の溶融処理		
実施内容	○電気炉プラント設備で1,600℃以上の超高温で産業廃棄物を完全に溶融処分することにより、燃え殻などの残渣が生じること無く最終処分が実現可能。溶融処理の特徴として、金属くず、廃プラスチック等の複合体の解体や選別せずに処理が可能であり、病院などから排出される感染性廃棄物の完全無害化の処理に適する。		

45	(株)サンポリ	分野	リサイクル製品製造
住所	防府市新築地町6-1	電話番号	0835-23-6020
URL	http://www.eco-sunpoly.co.jp/html/	資本金(万円)	3,000
業種	プラスチック製品製造	従業員数	65
項目	○廃プラスチックを用いたプラスチック製標識杭の製造		
実施内容	○廃プラスチックを利用し、地籍調査用杭や測量用・境界用杭など、幅広い用途に用いられているプラスチック製標識杭を製造。 ○特長としては、軽量で耐食性があり、曲がりにくい、折れにくい、抜けにくいといった耐久性もある。		

46	村上商事(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	岩国市飯田町1-3095-3	電話番号	0827-22-5221
URL	http://www.murakamishoji.co.jp/seihin.html	資本金(万円)	1,000
業種	化成品製造販売・家庭紙製造販売・運送事業等	従業員数	120
項目	○古紙を原料とする油回収マット製造		
実施内容	○油吸着材 油吸着マット(経済産業省認定異分野連携新事業)の「油吸太郎」・国土交通省 型式承認・グリーンマーク認定商品 及び家庭用「油ふきとり〜な」の製造。		

47	日本ハウス(株) ジーシールド事業部	分野	リサイクル製品製造
住所	周南市相生町2-12	電話番号	0834-32-4608
URL	http://www.nchouse.co.jp	資本金(万円)	5,700
業種	GRC製品製造販売	従業員数	5(事業部)
項目	○省エネルギーパネルの開発、パネル廃材を再利用した商品の開発、販売		
実施内容	○GRC外断熱パネルの開発・製造(デザイン性のあるフェンス、景観商品:Gステップ(敷石)、リサイクル遮音パネル(GSエコパネル)、屋上外断熱パネル)。		

(山口県のつづき②)

48	出光興産(株) 徳山工場	分野	リサイクル原料製造
住所	周南市宮前町1-1	電話番号	0834-21-1100
URL	http://www.idemitsu.co.jp	資本金(万円)	10,860,000
業種	化学工業	従業員数	279
項目	○ガソリンなどの製造過程で発生する副生成物の「C4留分」を原料にガソリン基材や溶剤などを精製		
実施内容	<p>○国内では初めて、ガソリンなどの製造過程で発生する副生成物の「C4留分」を原料に、ガソリン基材や溶剤などを精製する実証試験を実施。</p> <p>○新システム「C4留分原料マルチ生産システム研究用装置」ではこれまで困難とされていたC4からブテンを選択的に反応させ、イオウ分の少ないガソリン基材や灯油、発ガン性が指摘される芳香族を軽減した溶剤など、環境負荷の少ない製品に生まれ変わらせ、ブタンその他の成分も有効活用する。</p>		

49	(株) 帝人 徳山事業所	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	周南市由加町1-1	電話番号	0834-25-4555
URL	http://www.teijinfiber.com	資本金(万円)	1,200,000(全社)
業種	化学繊維製造	従業員数	895(全社)
項目	○使用済みPETボトル用樹脂として再生(ボトルtoボトル)		
実施内容	<p>【ボトルtoボトル】 -休止中-</p> <p>○使用済みPETボトルからポリエステル原料(DMT:テレフタル酸デメチルおよびEG(エチレングリコール))を回収し、PETボトル用樹脂の原料として最適なTPA(高純度テレフタル)に変換。その後EG(エチレングリコール)と反応させてPETボトル用樹脂を生産する。</p>		

50	中国特殊(株)	分野	リサイクル原料製造・適正処理・リサイクル
住所	周南市大字久米3078-1	電話番号	0834-26-0500
URL	http://www.chutoku-g.co.jp	資本金(万円)	2,000
業種	産業廃棄物処理業、下水同維持管理業	従業員数	50
項目	○汚泥のセメント原料化(主に建設汚泥)		
実施内容	○建設工事や工場などから排出される汚泥を受入れ、再資源化処理を経て、セメント原料へとリサイクルする。		

51	(株) 吉本興業	分野	適正処理・リサイクル
住所	周南市大字久米3044-2	電話番号	0834-25-0423
URL	http://www.chutoku-g.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	産業廃棄物処理、リサイクル	従業員数	25
項目	○廃プラスチック、PVC、金属くず、木くず、紙くず、繊維くず、がれき類、ガラス・陶磁器くず、コンクリートくず、アスファルトくずの再資源化・リサイクルの処理		
実施内容	○あらゆる廃棄物を選別ラインにより分類していきます。種類別に別れた廃棄物を、再資源化、リサイクル化する事業所へ搬入し、さまざまなリサイクル化を実現する。		

(山口県のつづき③)

52	(株)リライフ	分野	リサイクル原料製造、適正処理・リサイクル
住所	下松市東海岸通り18-1	電話番号	0833-44-0007
URL	http://www.chutoku-g.co.jp	資本金(万円)	4,000
業種	産業廃棄物処理業	従業員数r	10
項目	○燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・ガラスくず・陶磁器くず・鋳さい・がれき類・ばいじん・コンクリートくずをリサイクル処理		
実施内容	○製造工場や建設業から排出される、あらゆる産業廃棄物を形状、性状等に合わせた再資源化リサイクル処理を行う。 →リサイクル用途(セメント原料・土壌改良材・再生路盤材・有機肥料)		

53	ジェムカ(株)	分野	適正処理、リサイクル分野
住所	萩市大字福井井上2773-1	電話	0838-52-0170
URL		資本金(万円)	10,000
業種	廃棄物処理業	従業員数	24
項目	○破棄物お熱利用焼却、有機性汚泥の堆肥化		
実施内容	○産業廃棄物及び一般廃棄物の可燃性廃棄物を焼却し、その焼却熱を利用して廃熱ボイラーにより上記回収し、上記タービン駆動を行うことで電動駆動の電力を削減している。 ○産業廃棄物及び一般廃棄物の有機性汚泥を特殊微生物により発酵堆肥化のリサイクルを行っている。		

54	共英製鋼(株) 山口事業所	分野	リサイクル原料製造・適正処理、リサイクル製品製造
住所	山陽小野田市大字小野田6289-18	電話番号	0836-83-6171
URL	http://www.kyoeisteel.co.jp/	資本金(万円)	1,851,600(全社)
業種	金属製錬業	従業員数	675
項目	○産業廃棄物、特別廃棄物の焼却・溶融他の中間・再生処理		
実施内容	○PCB以外の処分業の許可を持ち、電気炉及びガス化炉で中間処理し、同時に再生処理できる効率的な処理システム。		

55	小田建設(株)(ODK技術研究センター)	分野	リサイクル製品製造
住所	阿武郡阿武町大字奈古2856-5	電話番号	08388-2-2520
URL	http://www.odk-center.com	資本金(万円)	2,535
業種	土木建設業	従業員数	30
項目	○石炭灰を利用した吸音セラミック板及び屋上緑化用セラミック基盤材の製造		
実施内容	○火力発電所で排出される石炭灰(フライアッシュ)を主原料とした、吸音材料、屋上緑化用苔基盤材の製造販売及び研究開発。 ○吸音板は特殊な連続気泡配列により低音域から高音域までの調音性能に優れ、ノイズをカットする。 ○不燃建材で耐火性に優れ、断熱性にも優れている。 ○超湿性のありカビの発生を抑え、結露防止にもなる。 ○屋上緑化用苔基盤材として、透水性・保水性に優れており、「環境」「都市景観」「ヒートアイランド現象」の改善に役立つ。 ○屋内外で多機能性を持つエコロジカルな高機能建材として利用できる製品。		

5－2．環境関連企業（バイオマスリサイクル分野）

5-2.環境関連企業(バイオマスリサイクル分野)

(1)鳥取県

1	王子製紙(株) 米子工場	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	米子市吉岡373	電話番号	0859-27-3112
URL	http://www.ojipaper.co.jp/	資本金(万円)	10,388,000(全体)
業種	製紙業	従業員数	390
項目	○割り箸を回収し製紙原料として利用		
実施内容	<p>○これまでゴミ(廃棄物)として扱われていた使用済みの割り箸を紙(資源)に生まれ変わらせ、ゴミの減量化を図る。</p> <p>○集めた割り箸の半分が紙に、紙にならない残りの木質は発電用ボイラの燃料(エネルギー)になる。</p> <p>○割り箸10kg(2,500人分・5,000本)でティッシュペーパー15箱分に相当する再生紙が製造できる。</p>		

2	(有)山陰エコシステム	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	境港市中海干拓地456	電話番号	0859-47-5700
URL	-	資本金(万円)	3,000
業種	再生資源リサイクル	従業員数	-
項目	○食品関連業者等から排出される食品加工くず(生ゴミ)等を肥料化		
実施内容	<p>○スーパー・小売店の売れ残り商品や食堂・レストラン等の調理くず、食べ残しなどを原料とする「食品循環資源堆肥化施設」を設置し普通肥料を製造している。リサイクル業者として「登録再生利用事業者」に登録認証されている。</p> <p>○この施設で製造した肥料は、鳥取県西部地区を中心に山陰地方の農家に対し販売している。</p>		

3	(有)赤碕清掃	分野	木質バイオマス(サーマル利用)
住所	東伯郡琴浦町大字赤碕1986-2	電話番号	0858-49-2033
URL	http://www.justmystage.com/home/akasei/	資本金(万円)	1,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数	51
項目	○木質系の副産物等を原料とした固形燃料		
実施内容	<p>○鳥取県の木材を使用した環境にやさしい木質ペレットを生産し、ペレットストーブ・ボイラーの燃料として利用している。科学物質をいっさい使用せず、灯油と比較しても大差が無い、再生可能なエネルギーである。</p>		

(2)島根県

4	宍道湖東部浄化センター	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	松江市竹矢町1444	電話番号	0852-37-0216
URL	http://www.pref.shimane.jp/section/ryuiki_gesuidou/tobu_j/	資本金(万円)	-
業種	浄化センター	従業員数	-
項目	○下水汚泥のメタン発酵による燃料利用		
実施内容	<p>○脱水汚泥のセメント原料利用のほか、湿式メタン発酵により消化ガスに生成し、浄化センター内施設の燃料として利用されている。</p> <p>○凝縮された汚泥を密閉された消化タンクに投入し、ボイラーで約37度の温度に保ち、タンク内の嫌気微生物の働きによって汚泥の有機物がメタンガス、二酸化炭素、水に分解し、消化ガスが発生させる。消化タンクで発生した消化ガスを脱硫して貯留し、メタンが主成分の消化ガスはボイラーの燃料や、消化タンクの加温に使用している。</p>		

(島根県のつづき)

5	浜田共同水産加工業協同組合	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	浜田市原井町3050-1	電話番号	0855-23-5322
URL	-	資本金(万円)	1,569
業種	水産加工業	従業員数	5
項目	○魚のアラを収集して、肥料、飼料を製造		
実施内容	○魚のあら(骨、頭、内臓など)を収集し、ミール(飼料、肥料原料など)、及び魚油を生産。 ○生産物は飼料、肥料業者、マーガリン製造業者等へ提供している。		

6	出雲土建(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	出雲市知井宮町138-3	電話番号	0853-22-4118
URL	http://www.i-doken.co.jp	資本金(万円)	8,450
業種	建設業	従業員数	76
項目	○バイオマスリサイクル		
実施内容	○建築解体材や木質パレットを買い取り、木炭用のチップを製造している。		

7	出雲カーボン(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	出雲市下古志町1819-121	電話番号	0853-24-8808
URL	http://www.sumi8.jp	資本金(万円)	9,800
業種	製造業	従業員数	7
項目	○廃木再生の天井裏除湿炭、床下調湿「炭八」の開発		
実施内容	○建築系解体材を主とする原料を炭化し、木造住宅等の床下調湿木炭「炭八」を製造。 ○床下調湿木炭「炭八」を敷設することにより床下の湿度を下げ、木材の含水率を約5%低下させるので、カビ・ダニ・シロアリ・ゴキブリ等の住みにくい環境を提供する。これで木造住宅の延命化が図れる為、循環型社会の構築にも貢献できる。 ○この木炭の品質内容は島根大学、森林総合研究所等との共同研究により開発されており、一定の品質・大量生産で従来品よりも低価格を実現している。		

8	(有)寺本建設	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	邑智郡邑南町原村561-1	電話番号	0855-83-2300
URL	-	資本金(万円)	2,000
業種	産業廃棄物処理、土木工事	従業員数	26
項目	○廃食用油からバイオディーゼル燃料製造		
実施内容	○メチルエステル精製機により廃食用油からメチルエステル燃料を製造し、同社の工事車両に使用。 ○廃食用油から軽油代替燃料を精製利用することで再生可能エネルギーによる環境への負荷の軽減を図る。		

(3)岡山県

9	三井造船(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	岡山市幸町8-29(岡山支店)	電話番号	086-233-4131
URL	http://www.mes.co.jp/	資本金(万円)	4,438,495(全社)
業種	造船業	従業員数	4,508(全社)
項目	○木くずなどを発酵、蒸留してエタノールを製造する実証プラント		
実施内容	○製材業者から出る木くずなどを2~3cmに砕きプラントに投入。発酵、蒸留させて99.5%以上の純度エタノールを製造する木質系バイオエタノールの実証プラントを設置。 ○実証実験では2t/日の原料から250kgの無水エタノールを生産し、実用化に向け製造コストの引き下げ方法を探る。生産したエタノールは、岡山県が公用車の燃料に混ぜて使用、品質を確認する。		

10	岡山大建工業(株)	分野	木質バイオマス (マテリアル・サーマル利用)
住所	岡山市南区海岸通り2-5-8	電話番号	086-262-1137
URL	http://www.daiken.jp	資本金(万円)	6,000
業種	土木建設材料製造、販売	従業員数	500
項目	○火山灰、スラグを利用したパネル「ダイライト」の開発、廃木材を有効利用した木質ファイバーボードの開発		
実施内容	○ダイライトは世界で初めて開発に成功した画期的な新素材であり、火山灰やスラグ(製鉄の廃材)など未利用資源と高度なエンジニアリング技術が融合した地球環境に優しい無機質エンジニアリングパネルである。 ○木質ファイバーボードは、廃木材(家屋解体材、製剤屑、間伐材など)を有効利用した木質ファイバーボードであり、軽量、廃棄処理が容易で環境にやさしいなどのメリットがある。		

11	海洋建設(株)	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	倉敷市児島駅前1-75	電話番号	086-473-5508
URL	http://www.kaiyoh.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	海事工事	従業員数	20
項目	○貝類養殖で発生する貝殻を有効利用した技術「JFシェルナース」の開発		
実施内容	○カキやホタテ、真珠等の貝類養殖で発生する貝殻を有効利用した技術「JFシェルナース」を開発。 ○バイオマスである貝殻を有効利用しており、循環型社会の形成に貢献するとともに、生態系の活性化や生物多様性の維持・修復に対し高い効果を示し、豊かな海づくりに貢献している。		

12	(株)日本リサイクルマネジメント 倉敷事業所	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	倉敷市水島川崎通1-14-1	電話番号	086-447-4892
URL	-	資本金(万円)	10,000(全社)
業種	一般機械器具製造業	従業員数	60(全社)
項目	○内燃式高温連続炭化炉を用いた高品位炭製造技術		
実施内容	○開発した「内燃式高温連続炭化炉」は4ゾーンに分かれ、各反応段階ごとに送風ファンを設けているため、最適炭化条件確保のための空気量の調節や温度管理ができ、自動燃焼制御による炭化温度管理も可能となる。 ○さらに、高温炭化を可能とする内燃式と炉体の耐熱・耐火構造の採用も同時にでき、これにより800℃以上の高温により高品位で均質な炭化物を連続して製造することができる。		

(岡山県のつづき)

13	(株)総社技術コンサルタント	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	総社市中央4-22-109	電話番号	0866-93-0493
URL	http://www.s-t-c.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	地質調査、測量、環境調査、バイオ燃料製造	従業員数	9
項目	○家庭・事務所から有償で回収し、バイオディーゼル燃料を精製		
実施内容	<p>○廃食油を家庭・飲食店など事業所から有償で回収し、1日800リットル程度のバイオディーゼル燃料(BDF)を精製。</p> <p>○廃食油100リットルから約90リットルの燃料が精製でき、1リットル90円で販売。また総社市の公用車又運送業会社などに、燃料として供給している。</p> <p>○陸運局で車検証の記載変更をすれば一般のディーゼル車に利用できる。</p>		

14	(有)藤野テクノロジー	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	新見市足見1444	電話番号	0867-74-2657
URL	http://www.fujinotechnology.co.jp/	資本金(万円)	500
業種	飲料・タバコ・飼料製造業	従業員数	8
項目	○雑草抑制効果がある土壌改良有機肥料(マルチング材)の製造		
実施内容	<p>○本製品を1cm以上の厚みでマルチング(覆土)する事により雑草を防ぎ、使用後は敷込みと堆肥として土作りになる。</p> <p>○収穫後はそのまま土に混ぜ込むだけで土作りができる。</p> <p>○材料は有害な農薬などは使っていないため、人畜に害が無く、自然環境にやさしい。</p> <p>○雑草が生えても覆土していないところより簡単に草を抜くことができる。</p>		

15	銘建工業(株)	分野	木質バイオマス(サーマル利用)
住所	真庭市勝山1209	電話番号	0867-44-2695
URL	http://www.meikenkogyo.com/	資本金(万円)	3,780
業種	製材業、木材商、木工業	従業員数	220
項目	○自社で発生する副産物(製材廃材)から木質ペレット燃料の生産		
実施内容	<p>○集成材工場の製造工程で大量に発生する副産物(かんな屑)を粉砕・圧縮し、成型した木質ペレットを製造。</p> <p>○木材に含まれるリグニンなどの成分が高温になると固着剤(バインダー)として機能するため、固着剤の添加は一切必要ない。</p> <p>○地域内外へ木質ペレット燃料を安定供給する体制とし、木質ペレット燃料認知普及活動を展開中である。</p>		

16	ランデス(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	真庭市開田630-1	電話番号	0867-52-1141
URL	http://www.landes.co.jp/	資本金(万円)	9,000
業種	コンクリート材製品製造	従業員数	311
項目	○リサイクル材(木片等)を原料にしたエココンクリート製品の開発・製造・販売		
実施内容	<p>○コンクリートと木材の組み合わせで新たな「木片コンクリート」製品の開発を行うなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>○コンクリートの原料である骨材に製鉄所から排出される「高炉スラグ」、ゴミ処理施設から排出される「一般廃棄物熔融スラグ」等を原料にした製品の普及にも積極的に取り組んでいる。</p>		

(岡山県のつづき②)

17	(有)西日本テクノ	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	和気郡和気町大中山1325-11	電話番号	0869-93-1414
URL	http://www.wj-techno.co.jp/	資本金(万円)	300
業種	機械製造業	従業員数	6
項目	○食用油に水を混ぜてディーゼル燃料を精製するシステムの開発		
実施内容	<p>○特殊な改質装置で天ぷら油の分子を細分化し、これに水を混ぜディーゼルエンジンのシリンダー内に送り、高温で水が瞬間的に蒸発すると同時に粒子状の油を放出、燃焼させるシステム。</p> <p>○精製時にアルコールの使用が不要なため、既存のバイオディーゼル燃料に比べ精製コストを従来手法の4分の1程度に抑制することができる。また、硫酸酸化物が発生しないほか、排ガス中の窒素酸化物も少なく済む。</p>		

(4)広島県

18	(株)カンサイ	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	広島市佐伯区五日市町石内460	電話番号	082-941-1641
URL	http://www.ekansai.co.jp	資本金(万円)	1,840
業種	産業廃棄物処理、環境技術事業	従業員数	57
項目	○未利用有機資源の炭化技術の開発・炭化物を用いた植物活性炭材『ガード』の開発		
実施内容	<p>○従来の炭化装置と比較して容積効率や熱効率が良く、製品の炭素率が非常に高い炭化装置を開発。</p> <p>○未利用有機資源(刈芝、剪定枝等)を炭化物に製造し、更にその炭化物に土壌病害を抑制する機能性物質及び抗菌微生物を吸着させた植物活性炭材『ガード』を製造。</p>		

19	サンヨー緑化産業(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	広島市安佐南区大塚西6-5-10	電話番号	082-849-1000
URL	http://www.sanyoryokuka.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	造園業、土木工事	従業員数	18
項目	○建設工事現場で発生した伐採木、伐根材、枝葉等をのり面緑化材料としてリサイクル		
実施内容	<p>○リサイクル工法は、ダム・道路・土地開発等の建設工事で発生する膨大な伐採木及び伐根材等を破碎・チップ化し、緑化工の植生基盤材やマルチング資材として、各現場条件にあわせて活用する。地球環境の保全や省エネルギー・省資源化に向けた廃棄物ゼロの工法である。</p>		

20	食協(株)	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	広島市南区松川町5-9	電話番号	082-264-1311
URL	http://www.shokkyo.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	米卸	従業員数	160
項目	○無洗米装置から出る副産物「はく離米粉」の飼料化事業		
実施内容	<p>○精米工場の無洗米製造工程から集中的に回収される米の研ぎ汁に相当する副産物の成分を分析し、幼動物(特に赤ちゃん豚)の栄養補給源としての有用性を発見。</p> <p>○無洗化処理装置メーカー、大手飼料メーカーと共同で飼料原料としての用途開発、製品化、全国流通の事業化を行う。現在全国10ヶ所の大型精米工場と提携して「はく離米粉」を回収し、飼料工場に供給するリサイクル環境の橋渡しをしている。</p>		

(広島県のつづき)

21	久米産業(株)	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	広島市中区幟町10-5	電話番号	082-221-6087
URL	http://www.eco-kume.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	産業廃棄物再生業(食品系廃棄物のコンポスト化)	従業員数	21
項目	○食品企業排出の廃棄物と粉碎バーク等を6か月以上発酵・熟成させ、木質系コンポスト「豊穰」を製造し、JAを通して販売		
実施内容	○NPO広島循環社会推進機構の循環型社会形成推進技術研究開発事業に参画し、特産野菜の土壌病害を軽減する機能性コンポストの商品化に取り組んでいる(研究体制:県立広島大学、広島県立総合技術研究所農業技術センター、久米産業株式会社)。		

22	(有)広島水産加工	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	呉市阿賀南6-2-10	電話番号	0823-71-7634
URL	http://www.hiroshimasuisankakou.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	飼料製造業	従業員数	18
項目	○魚さいを加工し、良質な魚粉、魚油を製造		
実施内容	○魚さいを再生資源回収トラックが各事業所、各店舗を回り回収し、再生工場へ搬入。再生工場で良質な魚粉、魚油へと製造。 ○魚粉は養魚、養鶏等の配合飼料の原料、魚油は食用マーガリンや養鶏等の飼料原料等に使用。		

23	双葉三共(株)	分野	有機性廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	竹原市田万里町西小寺1359(工場)	電話番号	082-426-0748(工場)
URL	http://www.futaba-sankyo.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	肥料	従業員数	17
項目	○微生物による有機性廃棄物の発酵処理、肥料化		
実施内容	【登録再生事業】 ○当社の開発した微生物による有機性廃棄物の発酵処理は、廃棄物に含まれる有機物と空気中の酸素を微生物に与えて発酵させ、そのとき発生する熱によって廃棄物の水分を蒸発させるという方法である。 ○したがって、複雑な施設は不要、エネルギー消費も少なく経済的である上に、処理された廃棄物は土壌改良性に優れた良好な肥料として大地に還元されるという一石三鳥の技術である。		

24	(株)やまみ	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	三原市沼田西町小原字袖掛73-5	電話番号	0848-86-3788
URL	http://www.yamami.co.jp	資本金(万円)	2,700
業種	食品製造	従業員数	148
項目	○豆腐工場から出るおからの再利用		
実施内容	○豆腐製造工場より発生する製品ロス、余剰汚泥等をメタン発酵させた燃料(メタンガス)を製造し、汚泥乾燥の燃料とする設備の導入をして運転している。		

(広島県のつづき②)

25	笠原産業(株)	分野	木質バイオマス(サーマル利用)
住所	庄原市中本町2-11-25	電話番号	0824-72-1155
URL	-	資本金(万円)	-
業種	木材チップ製造	従業員数	-
項目	○ペレタイザーによる林地残材のペレット化		
実施内容	○ペレタイザーを設置し、林地残材、チップ製造時の木くず等を利用してペレットを製造。 ○庄原市近辺に設置している約10台のペレットストーブの燃料として利用されている。		

26	アクセス	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	東広島市安芸津町風早516-8	電話番号	0846-45-5733
URL	-	資本金(万円)	-
業種	バイオディーゼル燃料の製造・販売	従業員数	-
項目	○廃食油を利用したバイオディーゼル燃料の製造・販売		
実施内容	○広島県西部一帯の飲食店から、廃食油を月間2万5000リットル程度無償で回収し、バイオディーゼル燃料を製造(製造能力:300リットル/日) ○製造したバイオディーゼル燃料は、自社所有のダンプなどの燃料として使うほか、残りは一次処理して油脂業者などに転売している。		

27	広島ガステクノ(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	安芸郡海田町明神町2-118	電話番号	082-822-0180
URL	http://www.hgt.co.jp	資本金(万円)	8,000
業種	プラント設計	従業員数	13
項目	○乾留炭化設備で有機系廃棄物をリサイクル・有効活用		
実施内容	○無酸素(間接加熱)の状態で行った高温乾留(600℃以上)する24時間連続式の乾留炭化設備であり、石炭をコークス炉で乾留し、乾留ガス(都市ガス)と炭化品(コークス)を製造・販売してきた都市ガス事業の技術・ノウハウが集約。 ○納入済み設備において、炭化品が第三者に鉄鋼保温材や土壌改良材などの用途として販売されている。 ○水分を含んだ発熱量の低いものから、高発熱量の物まで様々な処理物に対応する。		

28	西日本リネンサプライ(株)	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	安芸郡海田町南つくも町13-35	電話番号	082-822-1141
URL	http://www.leasekin-west.co.jp/	資本金(万円)	5,000(全社)
業種	クリーニング、リネンサプライサービス	従業員数	310名(全社)
項目	○食品残渣の堆肥化リサイクル工場の新設		
実施内容	○H18.5月 北広島町で食品リサイクル工場「北広島エコファクトリー」が稼働。 ○動植物性残渣に一定比率の発酵菌を混ぜた後、全長60mの高圧攪拌・発酵減容量槽2ラインで有機堆肥化する。 ○日量50トンの残渣処理能力で、産業廃棄物処理・一般廃棄物処理・再生利用事業登録の許可を持つ。 ○現状はコンビニの弁当工場、スーパーの期限切れ商品等の食品残渣10トンが入荷。 ○更に牛糞と混ぜて発酵させた堆肥「悠暉(ゆうき)」は、普通肥料登録・広島県リサイクル製品登録済み。		

(5) 山口県

29	やまぐち県酪乳業(株)	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	下関市菊川町田部夢団地1	電話番号	0832-88-0500
URL	http://www.yamaraku.co.jp/	資本金(万円)	27,000
業種	乳製品製造	従業員数	157
項目	○乳製品廃棄物などをメタン発酵させてバイオガスを製造		
実施内容	○本社工場に(株)コプロスが開発したメタン発酵装置を設置し、工場から出る乳製品廃棄物2.5t/日を水で薄め15日程度かけてメタン発酵させてバイオガスを製造。これをビンの洗浄やタンクの殺菌用の蒸気ボイラーの燃料として使用するほか、再度メタン発酵の熱源として使用する。 ○一方、メタン発酵残さは、酵素による再資源化装置により、堆肥生産の水分調整材として再生利用する。		

30	飯森木材(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	宇部市大字川上211-5	電話番号	0836-21-9619
URL	http://www.iimori-biomass.jp	資本金(万円)	1,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数	25
項目	○山林伐採から木廃材のリサイクル(燃料チップ・堆肥・ボード原材料)バイオマス発電への燃料供給窓口		
実施内容	○山林伐開業…森林整備工事の他、造成工事の為の樹木の伐出作業から、移動式破砕機を用いて現場から排出される木屑のチップ化・搬出処理まで請け負う。 ○堆肥製造…前途チップを自社工場で堆肥化。畜糞を使用しないので臭いが無く使いやすい山口県認定リサイクル製品「ウッドエコソイル」や「維新」等の木質堆肥を製造。 ○農業…平成19年より農業参入し認定農業者となった。前述の堆肥を使用し特大のニンニク「山口県産きんぐにんにく」等を生産中。 ○バイオマス発電燃料供給事業…バイオマス発電所への燃料供給窓口として木製チップの買い付け業務を行っている。中国・近畿・関東・九州と、地域を問わず相談を受け付けている。 ○廃棄物処分業…上記により自社処分場において建廃系木質廃材を積極的に受け入れるようになり、発電燃料の他、ボード原材料等としてチップ化リサイクルを行っている。		

31	中外炉工業(株)	分野	木質バイオマス(サーマル利用)
住所	(本社)大阪市中央区平野町3-6-1	電話番号	06-6221-1251(本社)
URL	http://www.chugai.co.jp/index.html	資本金(万円)	617,672
業種	工業炉・産業機械・環境設備等の設計・製造・販売	従業員数	約450
項目	○間伐材からのガス化発電、熱利用等の実証試験を実施		
実施内容	○NEDO事業を活用し、岩国市錦町の山林の一角に木質バイオマスガス化発電設備を設置し、間伐材等のガス化発電及び熱利用等を実施。 ○県内から供給する間伐材をチップ化してガス化炉により可燃性ガスを抽出し、ガスエンジン発電を行う。電力や熱は近くの福祉施設の電力やボイラー用の加熱に使われている。		

32	山口県森林組合連合会	分野	木質バイオマス
住所	山口市駅通り2-4-17	電話番号	083-922-1995
URL	http://www.ykenshin.or.jp/	資本金(万円)	-
業種	森林組合	従業員数	-
項目	○間伐材などバイオマスを固形燃料化するペレット燃料の製造		
実施内容	○間伐材などのバイオマスを固形燃料化するペレット燃料の製造施設を岩国市の岩国木材センターで稼働。 ○直径約6mm、長さ約1cmの円筒状に固め、ペレットに加工。間伐材3,300tを原料に、年間約1,500tを生産できる。 ○間伐材は錦川森林組合(岩国市)などの森林組合から7,000円/tで仕入れ、ペレットは35円/kg(税別)で販売している。		

(山口県のつづき)

33	中国電力(株)新小野田発電所	分野	木質バイオマス(サーマル利用)
住所	山陽小野田市新沖2-1-1	電話番号	0836-88-2460
URL	http://www.energia.co.jp/	資本金(万円)	18,552,762(全社)
業種	電力業	従業員数	9,864(全社)
項目	○燃料の一部を木質バイオマスで代替する木質バイオマスの混焼の実施		
実施内容	<p>○平成19年より「バイオマスエネルギー地域システム化実験事業」から間伐材の供給を受けるとともに、日本樹木リサイクル協会からの伐採材を使用して、木質バイオマスの混焼発電を行っている。</p> <p>○現在、年間約1万tの木質バイオマスを受け入れ、石炭との混焼発電を行っており、石炭専焼時と同様な安定した運転を継続している。</p>		

34	永大産業(株)山口平生事業所	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	熊毛郡平生町大字曾根2388	電話番号	0820-56-3221
URL	http://www.eidai.com	資本金(万円)	328,500
業種	木材商	従業員数	1,423(全社)
項目	○木くずを外部から受入れ、パーティクルボード原料として利用		
実施内容	<p>○製材工場残材、建築解体材等の廃材をチップ化し、パーティクルボードの原料として再利用するマテリアルリサイクルを実践。</p> <p>○廃木材を使った木質ボードは、山口県認定リサイクル製品として認定番号第1号を取得している。</p> <p>○パーティクルボードの素晴らしさはマテリアル利用により「木」をそのまま使う点にあり、木の特性を生かしている製品である。</p>		

5 - 3. 環境関連企業（環境関連機器製造分野）

5-3.環境関連企業(環境関連機器製造分野)

(1)鳥取県

1	(株)細田企画	分野	環境負荷低減機器
住所	西伯郡南部町天萬1937	電話番号	0859-48-3977
URL	http://www.h-circus.com	資本金(万円)	1,800
業種	機械設計・工作機械	従業員数	23
項目	○建築廃材の廃石膏ボード分別処理機「プラスターボ」の開発・製造・販売		
実施内容	○ハンマーで叩くだけで簡単に内部(紙と紙に挟まれた石膏部)を圧縮破壊できる破壊石膏ボードの特性に基づき、振動・粉塵・騒音が少なく処理速度が極めて速い分別処理機「プラスターボ」を開発。 ○現在リサイクルに適した石膏粉(オプションマシン装着によりできる、不純物を除去した細粒粉)のさらなる用途拡大を目指して、新製品の開発に着手している。 ○時間0.5t、2.0t及び5.0tを揃えている。		

(2)島根県

2	松江土建(株)	分野	水質・土壌消化機器
住所	松江市学園南2-3-5	電話番号	0852-21-3521
URL	http://www.matsue-doken.co.jp/	資本金(万円)	30,000
業種	建設業・建築工事	従業員数	152
項目	○水中設置し水圧を利用して作る高濃度酸素により湖沼やダム湖などの底層の貧酸素状態を解消する水質浄化システム		
実施内容	○酸素を水に効率よく溶解させた高濃度酸素水(水深30m時一溶存酸素濃度55mg/L以上)を作る装置。 ○貧酸素状態の湖沼やダム湖などの水域に対して、高濃度酸素水を対象水域に供給し、自然の浄化作用の促進と貧酸素による水質の悪化を防除する。 ○この気液溶解装置(水中型)とポンプは水中に設置し、水圧(水深)を利用するため、溶解効率が高くなり、空気供給でも水深・水温により溶存酸素濃度20mg/L以上が可能になる。これにより、陸上型に比べポンプの消費電力は30%以上小さくなる。		

3	(株)ミライエ	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	松江市矢田町250-167	電話番号	0852-28-0001
URL	http://www.miraie-corp.com	資本金(万円)	5,220
業種	環境コンサルティング・環境機器製造	従業員数	4
項目	○畜産試験場と共同開発した繰り返し不要の堆肥化装置		
実施内容	商品名 : イージージェット ○高圧エアの効果で繰り返しは一切不要になる、パネル状の堆肥化装置。 ○既存の施設の床に並べて敷くだけ。簡単施行。 ○従来の二倍の速さで家畜排泄物を堆肥化、作業コストを90%カット可能。 商品名 : イージージェットJr. (ジュニア) ○持ち運べるほど軽量・コンパクトな、パイプ状の堆肥化簡単装置。 ○フレコンパック内の原料に、イージージェットJr.を差し込むだけで堆肥化できる。 ○小規模農家や堆肥センター、動物園、植物園、栽培農家、造園業者など、様々なジャンルで使用可能。		

4	(株)ミシマ	分野	環境負荷低減機器
住所	松江市大庭町792-15	電話番号	0852-25-2905
URL	http://www.mishimax.jp	資本金(万円)	6,800
業種	環境関連機器研究・製造	従業員数	13
項目	○汚泥、生ごみ、畜糞などの有機廃棄物を水と炭酸ガスに発酵分解処理する有機物発酵分解処理装置(ミシマックス)の開発		
実施内容	○発酵分解槽に充填した杉のチップに生息する土着の微生物の働きによって、投入した有機廃棄物を極めて効率的かつ低コストで発酵分解処理する有機発酵分解処理装置を産官学連携で開発。 ○発酵分解処理後の残渣は優良な菌体肥料(有機質肥料)として農地に還元できる。		

(島根県のつづき)

5	島根電工(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	松江市東本町5丁目46-2	電話番号	0852-26-2833
URL	http://www.sdgr.co.jp	資本金(万円)	26,000
業種	電気・通信・機械・環境	従業員数	290
項目	①木質バイオマスガス発電装置を試作開発、研究・改良 ②木質バイオマスボイラ導入企画・設置工事		
実施内容	①斐伊川流域林業活性化センター主催の木質バイオマス活用研究会への参画を契機に木質バイオマス・ガス発電装置を試作開発、研究・改良を継続中。 ・約15分で発電機の起動が可能であり、系統連系で商用電源と接続できる。 ・原料は上質チップを使い、自動供給され、機器類をボックスに収納できる。 ②木質チップ・ペレット等を燃料とするバイオマスボイラの導入企画、試算、設置工事メンテナンス全般に対応している。		

6	(株)山陰プロスハート	分野	水質・土壌浄化機器
住所	松江市西津田1-9-58	電話番号	0852-28-4134
URL	http://www.neonite.jp/	資本金(万円)	2,900
業種	濁水・汚泥・土壌の処理剤製造と処理機器の販売レンタル	従業員数	11
項目	○排水・汚泥・土壌の凝集・固化・不溶化・有害物分解処理工法の開発		
実施内容	○ネオナイト工法は建設工事を行う際、地表水、地下水、雨水や土砂、セメントや油が混入した排水及び汚泥・汚染土壌や工場から排出される有害物質を含んだ排水・汚泥の浄化を省スペース、低コストで行う技術である。 ○ネオナイト工法は主に排水処理、汚泥処理、土壌処理、無害化処理に区分される。		

7	カナツ技研工業(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	松江市春日町636	電話番号	0852-25-5555
URL	http://www.kanatsu.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	総合建設業	従業員数	169
項目	○高速多段土壌層法		
実施内容	○本システムは、土壌の持つ浄化能力を最大限に活用し、生物処理と物理化学的処理を組み合わせた画期的な処理法で、従来の目詰まり問題は解消され、装置のコンパクト化も実現。 ○BOD、SS、リンを含めた高度処理が可能となり、中水として再利用及び河川浄化施設等の実施プラントが設置され、現在稼動中。		

8	(株)研電社	分野	水質浄化機器
住所	出雲市長浜町1372-15	電話番号	0853-28-1818
URL	http://www.kendensha.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	一般産業機械の製造	従業員数	9
項目	○目詰まりせずに連続的に固体と液体の分離を行う装置の開発		
実施内容	○目詰まりせずに連続的に固液分離を行う固液分離装置「スリットセーバー」を開発。 ○構造も簡単に軽量コンパクトであり、また本装置は圧搾脱水も可能な仕組みとなっており、簡単に脱水機としても利用もできる。 ○スリットセーバー単体としても利用が可能だが、浄化システムの前処理装置として利用できる。		

(島根県のつづき②)

9	(有)マルナガファーム	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	江津市敬川2302-2	電話番号	0855-53-1166
URL	-	資本金(万円)	1,000
業種	養豚業 母豚1,000頭一貫	従業員数	18
項目	○家畜排泄物の堆肥化(施設の製造、設置)		
実施内容	<p>○平成18年11月に島根県バイオマスの環づくり対策事業(約2分の1助成)を活用し、松川農場(同市松川地区)におがくず発酵床飼育方式により汚水を伴わず悪臭も減少させる肥育専用豚舎と密閉式たい肥化施設を新設。松川農場では、豚舎の敷料に江津市内の製材業者が端材から製造したおがくずを利用している。利用方法は発酵剤とおがくずを混ぜ合わせ厚さ約45センチまで敷詰め、ふん尿を大量のおがくずに吸着、発酵させることで臭気や水分の発生を抑えるものである。</p> <p>○1日当たり19トンのふん尿を約0.9トンのたい肥にしている。たい肥化時に発生する発酵熱による臭気と水蒸気は、脱臭槽に吸引させ取り除いている。</p>		

10	エステック(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	八東郡東出雲町揖屋2797	電話番号	0852-52-6100
URL	http://www.sto-jp.co.jp	資本金(万円)	8,200
業種	機械設計	従業員数	38
項目	○有害粉塵の飛散を防止し、作業者の安全を守りながら試料調製が可能なアスベスト試料前処理装置の開発		
実施内容	<p>○アスベスト分析に必要な試料調整作業を安全に行うための、アスベスト試料前処理装置の開発。グローブボックス式密閉構造の装置内で、粗粉碎、微粉碎の工程を連続して行うために、コンタミ防止に不可欠で最も危険な洗浄作業時の粉塵の飛散を防止し、アスベストから作業者を保護しながら大粒の試験体でも安全に試料調製作業が可能である。</p>		

11	進和産業(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	簸川郡斐川町大字直江町4985	電話番号	0853-72-0679
URL	-	資本金(万円)	8,500
業種	環境改善技術開発	従業員数	6
項目	○高減容型有機物処理装置の開発		
実施内容	<p>○有機物とバイオ資材を混合攪拌しながら複数の処理槽内をエンドレスで循環する新しい発想の有機物処理装置を開発。</p> <p>○バイオ資材の攪拌効率を高める効果と、省エネを同時に達成して好気性微生物の活動環境条件を長期間安定させることに成功。</p> <p>○これにより有機物の24時間連続投入、連続処理が可能となり「燃えない消却炉」として大規模処理が可能となる。</p> <p>○通常の堆肥製造装置に切り替えることも簡単にできる。(生ゴミ・汚泥・畜糞・焼酎粕などの有機物は殆ど処理可能)</p>		

(3)岡山県

12	オゴー開発(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	岡山市南区西市522-1	電話番号	086-241-4187
URL	http://www.ksk-ogo.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	総合工事業	従業員数	50
項目	○ソーラー、ハイブリットLED街路灯の開発		
実施内容	<p>○風力・太陽光(または太陽光のみ)のクリーンエネルギーのみを利用した環境に優しい街路灯を開発。</p> <p>○高輝度白色LEDはランプの球切れによる交換作業が約10年間不要で消費電力は最大8wの省エネ型。明るさは蛍光灯40w相当。</p> <p>○災害時には避難誘導灯として平時は防犯照明として使用できます。人検知センサーによる調光機能が付いているので光害にも対応している。</p>		

(岡山県のつづき)

13	公協産業(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	岡山市東区中尾126-4	電話番号	086-278-9770
URL	http://www.kokyo.com	資本金(万円)	5,000
業種	産業廃棄物処理業	従業員数	72
項目	○産業廃棄物のRecycle(原材料としての再利用)、Reuse(製品としての再利用)をテーマとした事業展開		
実施内容	<p>【環境事業～業界をリードするRecycle、Reuseシステム～】</p> <p>○産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収穫運搬及び中間処理。</p> <p>○セメント工場向け代替燃料製造及び副原料の製造。</p> <p>【アグリ事業～安全と環境の為に、ノウハウを活かしさらなるフィールド～】</p> <p>○野菜、果実、茶の栽培、販売、研究。</p> <p>【化学品事業～ケミカル分野の研究開発にも積極的に取り組み、新化学の時代を担う各種製品を販売～】</p> <p>○工業薬品等、販売。</p>		

14	萩原工業(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	倉敷市水島中通1-4	電話番号	086-440-0850
URL	http://www.hagihara.co.jp	資本金(万円)	100,800
業種	機械器具、プラスチック製品	従業員数	407
項目	○熱可塑性廃プラスチックの再生ペレット化装置の開発		
実施内容	<p>○本機は、熱可塑性廃プラスチックの粉碎、減容、溶融、押出、濾過、造粒工程を一体化した装置。</p> <p>○廃プラスチックは、コンベアーまたはロールフィーダーにて粉碎・減容を行う円筒シュレッダーに供給。粉碎時のせん断発熱により付着・吸湿水分を気化させながら、押出機で最適な温度に加熱溶融される。強制真空装置による脱気、及び自動逆洗浄機能付濾過装置で不純物を除去し、約3mm程度のペレットに加工する。添加剤、マスターバッチ投入による改質コンパウンドも可能。一連の動作は、シーケンサーにより自動コントロールされ、各種センサーやモニターによる運転管理が可能。運転データの外部機器出力や、機械メンテナンスお知らせ機能も標準装備。また含水した材料に対応したタンデム(2段押出機)仕様も可能。</p>		

15	(株)クラレ 倉敷事業所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	倉敷市玉島乙島7471	電話番号	086-526-5111
URL	http://www.kuraray.co.jp/	資本金(万円)	8,895,500
業種	化学	従業員数	6,770(連結)
項目	○薬剤使わず余剰汚泥を抑制する排水処理システムの開発		
実施内容	<p>○各種工場の排水処理設備や下水処理場において発生する余剰汚泥を、薬剤等を全く用いることなく大幅に削減する画期的な排水処理システム「ゼクルス」を開発。</p> <p>○このシステムは、生物処理槽に微生物固定担体を使用することで処理槽は従来法の1/5程度の省スペースとなる。且つ、汚泥減容槽で有機物濃度を低く制御できるので、微生物自身の自然分解力を促し汚泥増殖を抑制できるため、ほとんど余剰汚泥を引き抜く必要がない。これにより、オゾンや特別な薬品を使用して汚泥の減容を図る必要もなく、設備投資やランニングコストが軽減される。</p>		

16	(株)光システムズ	分野	各種産業設備製造業
住所	倉敷市連島町鶴新田2149-9	電話番号	086-444-3776
URL	http://www.hikarisystems.co.jp/	資本金(万円)	1,500
業種	各種産業設備・装置の製作	従業員数	20
項目	○合理化・省人化を目的とした装置の開発		
実施内容	<p>○メカトロニクス技術を核とした16軸ロボット開発による3D検査装置の製作。(2009年ものづくり日本大賞へ応募)</p> <p>○家電エアコン熱交換器より銅、アルミを回収する分離装置の開発。</p> <p>○品質管理を目的とした自動検査装置の各種開発と製作。</p> <p>○合理化・省人化を目的とした各種自動機の製作。</p>		

(岡山県のつづき②)

17	エンバイロ・テクノ	分野	排水浄化装置
住所	津山市志戸部416-14	電話番号	0868-25-2044
URL	-	資本金(万円)	-
業種	各種廃水処理の浄化コンサル	従業員数	3
項目	○排水浄化脱臭装置「バイオワーカー」		
実施内容	<p>○有機性の産業排水施設において、排水バイオリクター内の内部リアクターと接触培養し、これらの有効菌を増殖活性化し、循環させることによって浄化脱臭する。</p> <p>○大幅な維持管理コストの削減、運転管理改善を図る。</p> <p>○食品廃棄物の有効利用、堆肥化コンサル。</p>		

18	津山ステンレスネット	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	津山市山北663津山市役所東庁舎1階	電話番号	0868-24-0740
URL	http://www.t-shinsan.com/domain/stainless/index.html	資本金(万円)	-
業種	各種ステンレス容器・食品加工用機器等製造	加入企業数	8
項目	○投入物の水切りが不要な業務用生ゴミ・水中高分子処理装置「メルチャン・KG」の開発		
実施内容	<p>○同装置に生ゴミを投入し、破砕機で2～3mm程度に粉砕し、分解槽に送られる。分階槽では送られた空気と微生物の働きにより、残渣の中の有機物を水と二酸化炭素に分解し、分解液は一定量取り出されると同時に、外気空気を取り込み電気ヒーターで50～64℃で低温蒸発させる。</p> <p>○汚泥の水分がなくなるとバリバリに乾燥し、細粒化され殺菌された乾燥残渣とうしてタンク外に自動的に吸い出される。</p> <p>○従来主流の木質チップと一緒にかけ混ぜ発酵させるタイプと違い、投入前の水切りが不要で汁物やてんぷら油の処理も可能である。</p>		

19	備前グリーンエネルギー(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	備前市吉永町吉永中885	電話番号	0869-84-9500
URL	http://www.bizen-greenenergy.co.jp	資本金(万円)	-
業種	自然エネルギー・省エネルギーの普及・導入・調査	従業員数	10
項目	○自然エネルギー・省エネルギー(ESCO)の導入に関する設計、施工、資金・補助金に関するコンサルティング等の包括的サービスの提供、エネルギー政策に関わる調査・研究		
実施内容	<p>○平成17年度～19年度において環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の採択を受けて、省エネルギー量を保証するエスコ事業及び、ペレットストーブや太陽熱温水器の普及促進を行う。</p> <p>○平成19年度は、岡山市、瀬戸内市、備前市の保育園などに初期費用不要、電力会社相当の電気代を払うだけで太陽光システムが設置できる「オンサイト太陽光発電事業」(おかやまさんさん発電所)を行う。</p> <p>○平成20年度は、省エネルギー量を保証するエスコ事業を更に発展させ、自然エネルギー設備と省エネルギー設備を組み合わせた新しい低炭素型エスコ事業を提供。</p> <p>○複数の自治体のエネルギー政策立案のための調査やエスコ実現可能化調査を参画。</p>		

20	ゼネラル技研(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	瀬戸内市邑久町福山28-13	電話番号	086-942-8284
URL	-	資本金(万円)	4,000
業種	機械設計	従業員数	9
項目	○ダイオキシン類、ダストの法令排出基準値をはるかに下回るガス化焼却炉の開発		
実施内容	<p>○多くの廃棄物は、一度ガス化させてから燃焼させると簡単にそして完全に燃焼させることができる。この原理に基づいて「二段燃焼式ガス化消却炉」が設計される。この焼却炉は、焼却対象物をガスに変える「ガス化室」とガス化室で生成されたガスを燃焼させる「生成ガス燃焼室」の二室を併せ持つバッチ式の焼却炉で、不要物や廃棄物を理想的な形で処理することができる。</p> <p>○生成ガスを二次燃焼させ煙の発生がない(無公害)、二次燃焼は生成したガスを使用するため商用燃料を節約できる(経済的)、おき火燃焼により僅かな不燃物しか残らないなどの特徴がある。</p>		

(岡山県のつづき③)

21	(株)アイダ・トレーディング	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	美作市中川337	電話番号	0868-74-7025
URL	http://www.aida-trading.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	各種省力機械・専用機・搬送装置の設計及び製作	従業員数	12
項目	○水中分解方式食品残渣処理装置の開発		
実施内容	<p>○事業所系食品残渣を微生物により水中分解し、投入量の2～3%にあたる無機物を粒上固形物として排出する食品残渣処理装置を開発。</p> <p>○急速に好気分解させるので嫌な悪臭が発生しない、微生物としてGRAS対応菌を使用しており、動植物に対し無害であり、爆発性・可燃性等の危険なガスが発生しない。てんぷら油・多量の残飯・塩分を含んだ廃棄物も投入可能である、装置から排水は出ないので排水設備は不要である、乾燥固形肥料、液体肥料として活用できる等の特徴がある。</p>		

22	(株)大森機械製作所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	都窪郡早島町22-3	電話番号	086-482-0625
URL	http://www15.ocn.ne.jp/~omoritop/	資本金(万円)	1,000
業種	機械工業	従業員数	12
項目	○使用済み蛍光灯をリサイクルする装置「トップグリーン」の開発		
実施内容	<p>○蛍光灯リサイクル事業に大規模なプラントは不要。</p> <p>○直管8w～110w、電球型管、環状管と殆どの蛍光灯に対応可能。</p> <p>○一時間当たり1,000本の処理が可能。(40w直管換算)</p> <p>○破碎作業からガラス洗浄(透明化)までが一連の作業が可能となる。</p>		

23	三陽機器(株)	分野	環境関連機器
住所	浅口郡里庄町新庄3858	電話番号	0865-64-2871
URL	http://www.sanyokiki.co.jp	資本金(万円)	6,600
業種	農業用機械、油圧・空圧機器製造	従業員数	100
項目	○草刈機・樹木破碎機の開発		
実施内容	○草刈機・樹木破碎機の開発。		

(4) 広島県

24	(株)共立	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市中区大手町4-6-16	電話番号	082-246-4151
URL	http://www.kyoriz.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	建設業・環境事業	従業員数(人)	81
項目	○水温躍層形成の抑制・底層の貧酸素状態改善を行うコンパクトな水質浄化装置の開発		
実施内容	<p>○水温成層化、貧酸素化、富栄養化等で水質が悪化した閉鎖性水域の水質浄化装置の開発。</p> <p>○表層水を底層へ送水、酸素供給、表層水と底層水の攪拌混合、水流発生等の4機能を、シンプルな機器構成で同時に行う。</p> <p>○稼動部は水ポンプのみであり、附帯設備工事等を要しないコンパクトな装置である。</p> <p>○コスト性・メンテナンス性に優れ、水域特性点状況変化に柔軟な対応可能。</p>		

25	三建産業(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	広島市安佐南区伴西3-1-2	電話番号	082-849-6790
URL	http://www.sanken-sangyo.co.jp	資本金(万円)	9,500
業種	築炉工事	従業員数	145
項目	○アルミの切り屑をリサイクル製品に変える小型アルミ切粉溶解設備「キリコメーター」の開発		
実施内容	<p>○アルミの切り屑を自社リサイクルして製品に変える小型アルミ切粉溶解設備「キリコメーター」を開発。</p> <p>○アルミの切粉を乾燥させ油を飛ばしたものを投入し、渦で巻き込んで燃やさず溶かす。連続して多量に溶解することと高歩留まりの両立が困難と言われていたアルミニウム切粉溶解の分野で、溶湯ポンプを採用することにより、切粉を溶湯の渦に巻き込んで瞬時に溶解する画期的なシステムである。これによって、切粉は溶解中に大気と接触する機会が皆無となり、溶解歩留まりが飛躍的に向上した。“キリコメーター”は2,000kg/hまでの連続自動溶解に最適である。</p>		

26	三菱重工業(株) 機械事業部	分野	環境負荷低減機器
住所	広島市西区観音新町4-6-22	電話番号	082-291-2116
URL	http://www.mhi.co.jp/hmw/	資本金(万円)	26,560,000(全社)
業種	機械製造業	従業員数	1,311(機械事業部)
項目	○Re-injection コンプレッサ及び電動RTG等CO2排出抑制に貢献する製品の開発・製造		
実施内容	<p>○Re-injection コンプレッサは、発電所等から排出されるCO2に圧力を加え、地中に封じ込めることで大気中へのCO2放出を防止するために用いられる圧縮機である。</p> <p>○電動RTG(トランスファークレーン)は港湾荷役に用いられる大型クレーンを電動化することで、エンジン発電機を搭載する従来型と比べCO2排出量、燃料費とも約90%削減を実施している。</p>		

27	ラボテック(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市佐伯区五日市中央6-9-25	電話番号	082-921-5531
URL	http://www.labotec.co.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	計量証明	従業員数	68
項目	○分析業務の省力化を進めるための自動分析装置を各種製造		
実施内容	<p>○分析技術者の負担を軽減することを目的として、JIS、上水試験法など公定法に準拠した自動分析装置を開発。</p> <p>○自動BOD測定装置、ガスオートサンプラー、SS自動設定装置など、多岐にわたる分析項目に対応した装置を製造している。</p>		

(広島県のつづき)

28	パーキテック(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市東区戸坂千足2-10-17	電話番号	082-567-2211
URL	http://www.parchitec.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	機械工業	従業員数	10
項目	○食品残さをエコフィードにする飼料化プラント ○鶏糞をボイラー用燃料として活用する画期的なエネルギープラント		
実施内容	○ホテル・スーパー等から排出される残さを乾燥、減量、殺菌処理して、飼料原料(エコフィード)による飼料化プラント。 ・排出される現地でエコフィード化する分散処理方式(ホテル・学校・スーパー・食品工場等) ・排出される食品残さを収集回収して、エコフィード化する集中処理方式(ホテル・大型商業施設・学校・食品工場等) ○養鶏場から1日トン単位で排出される鶏糞をボイラー用燃料として活用する画期的なエネルギープラント。 ・小型貫流ボイラーの採用により安全で取扱いが容易であり、点火以降の自動運転と省力運転が可能、炉内温度が高く 臭気及びダイオキシンの発生がない等の特徴がある。		

29	MHIソリューションテクノロジーズ(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	広島市西区観音新町1-20-24	電話番号	082-233-1450
URL	http://www.mhisoltech.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	工業用試験機製造・販売	従業員数	525
項目	○オフセット印刷機のブランケット洗浄作業時に発生する洗浄廃液を再生し、洗浄液として再利用するリサイクル装置を開発		
実施内容	○環境負荷低減をターゲットにオフセット印刷機のブランケット洗浄作業時に発生する洗浄廃液を再生し、洗浄液として再利用する為のリサイクル装置を開発。 ○廃液中に含まれるインク顔料は正帯電しており、電界を使った分離方法により、正帯電顔料粒子は負極である水表面に電気泳動させ、微細水滴は水滴内の極による凝集作用で粗大化し、重力沈降分離させる。 ○この分離技術は、濾過法による濾布の目詰まりもなく、電気エネルギーも蒸留法の概ね1/40程度と極めて少ないことが特徴である。 ○運転時に騒音・振動・臭気など一切発生せず、環境に優しい装置である。		

30	中外テクノス(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市西区横川新町9-12	電話番号	082-295-2222
URL	http://www.chugai-tec.co.jp/	資本金(万円)	4,700
業種	建設コンサルタント、機械装置設計製作	従業員数	995
項目	○林地残材を圧縮・結束し、減容化および運搬しやすく成型する装置		
実施内容	○土場における造材作業の中で、林地残材を圧縮・結束することにより減容化し、運搬しやすく成型する装置「林地残材圧縮結束装置」を開発。 ○減容化により輸送効率が向上し、丸太状成型により取り扱いが容易となる。 ○丸太状成型残材を山元にストックすることにより、需要に応じた供給が可能となる。 ○林地ストック時に自然乾燥が可能であり、運搬する木質バイオマス重量あたりの熱量が向上。		

31	(株)東洋高圧	分野	バイオマス有効利用機器
住所	広島市西区楠木町2-1-22	電話番号	082-237-6255
URL	http://www.toyokoatsu.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	研究開発用化学プラント製造	従業員数	32
項目	○産業廃棄物、工場廃水、ダイオキシン、PCB等の分解装置の開発		
実施内容	○バッチ式が一般的である超臨界装置を連続式として開発。簡単に研究所に設置研究できる小型の物から実稼動に耐えうる大型のものまで製造可能。特殊材料(インコネル、ハステロイ、チタン、タンタル、ジルコニウム等)を用いることにより、更に条件の厳しい超臨界を用いることができ、難分解性物質を短時間で分解(ダイオキシン分解は数10秒)できる装置である。 ○近年新規開発したまるごとエキスは多くの賞やメディアで評価を受ける装置であり、各種食材のエキス化が可能な装置である。食品の新しい処理方法として注目されている。		

(広島県のつづき②)

32	(株)日本製鋼所 広島製作所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	広島市安芸区船越南1-6-1	電話番号	082-822-3181
URL	http://www.jsw.co.jp/	資本金(万円)	1,969,423(全社)
業種	機械製造	従業員数	約2,100(全社)
項目	○塩素系樹脂を含む混合廃プラスチックを脱塩素化し、ケミカルリサイクルとして利用可能なペレット製造システム		
実施内容	○塩素系樹脂を含む混合廃プラスチックを二軸スクルー押出式脱塩素装置を用い熱分解・脱塩素化することにより、高品質なプラスチックペレットにし、高炉還元剤、セメント原燃料やボイラー燃料として利用する技術。 ○廃プラスチック率向上、CO2排出量削減に貢献、最終処分場延命化等の導入効果が期待できる。		

33	広島ガス(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	広島市南区皆実町2-7-1	電話番号	082-252-3154
URL	http://www.hiroshima-gas.co.jp	資本金(万円)	329,100
業種	都市ガス	従業員数	639
項目	○家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」		
実施内容	○他の燃料と比較してCO2排出量が少ないクリーンエネルギー天然ガスを動力源として、自宅で発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。 ○電気と熱の合計でのエネルギー利用率が約77%と、エネルギーの無駄を抑えるシステム。		

34	(株)広島環境研究所	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市南区出島1-20-3	電話番号	082-254-0310
URL	http://www.e-hel.com	資本金(万円)	6,000
業種	環境計量証明	従業員数	5
項目	○未利用バイオマスを活用して効率的にガス化して発電する装置の開発		
実施内容	○地域分散型の小型発電システムである本装置は、運転開始から立ち上がり早く、DSS運転(Daily・Start・Stop・夜間停止)が容易にでき、オンサイトで発電できるよう考案されている。 ○大型システムに見られるようなボイラー方式ではなくダウンドラフト方式であるため、タール分の少ないバイオマスガスを発生させ、直接エンジンに供給、発電することができる。 ○排出される炭(チャー)は活性炭に近い性質を持っており、排水中の有機物除去等にも利用可能。		

35	日鋼設計(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市安芸区船越南1-6-1	電話番号	082-822-7653
URL	http://www.nikkosekkei.co.jp	資本金(万円)	2,500
業種	設計	従業員数	192
項目	○木質バイオマス燃料を使用する環境にやさしいストーブ及び温水ボイラの開発		
実施内容	○木質バイオマスペレットを燃料としているため「カーボンニュートラル」という概念より燃焼しても実質的な地球上の二酸化酸素は増加しない。 ○温風は燃焼室と完全に分離され、ファンより吹き出すので、部屋の空気も汚さず、点火・消化時の臭いが無い。広島市のグッドデザイン賞エコロジーデザイン部門で奨励賞を受賞した優れたもののストーブ。 ○又、一般家庭用のペレット焚き温水ボイラも開発し、販売を開始。		

(広島県のつづき③)

36	(株)キムラ	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	呉市広多賀谷3-4-9	電話番号	0823-74-3009
URL	http://www.kimura-gr.co.jp	資本金(万円)	2,000
業種	機械装置製造・販売業	従業員数	80(グループ全体)
項目	○廃自動車スクラッププレス機(廃自動車解体支援装置)の開発 ギロチン付きプレス機開発 ○金属、廃プラ、ペットボトル圧縮・減容機開発、およびリサイクルプラントの施工・保守		
実施内容	○自動車リサイクル法に基づきリサイクル率の向上につながるような、高出力・省電力油圧制御技術のスクラッププレス機や独自技術開発による各種自動車解体支援装置を開発。 ○鉄スクラップなどの圧縮と切断の機能を兼ね備えた複合処理機を発売。設置スペースも縦10メートル、横20メートルと場所をとらず省スペース化が図れるほか、処理物が長方形のため運搬ロスがない。 ○大型プラントの建物、設備一式の設計から施工・保守まで実施。		

37	(有)矢野鉄工所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	呉市川尻町小仁方1-25-27	電話番号	0823-87-2748
URL	-	資本金(万円)	580
業種	一般機械器具製造業	従業員数	9
項目	○土のうの中詰材を限定することなく、定形、定量の土のう製作の建設機械。		
実施内容	○軟弱地盤、道路、鉄道の振動吸収など地盤改良、土木工事に有効な土のうを、量産できる土のう製造機『ドノーラック』を開発。 ○当機は土のうの中詰材を限定(1部除く)しないので、土、砂、砂利さらに建設廃材などリサイクル資材でも製作可能。 ○不揃いの中詰材を、選別し定量に袋詰、重量・形状の整った土のう作成を可能にした建設機械。		

38	寿工業(株) 広製作所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	呉市広白岳1-2-43	電話番号	0823-73-1135
URL	http://www.kotobuki-ind.jp/	資本金(万円)	4,800(全社)
業種	鉄鋼工業	従業員数	320(全社)
項目	○省エネ型汚泥遠心脱水装置 超高速嫌気好気水処理システム		
実施内容	【省エネ型汚泥遠心脱水装置「ウィザードプレス」】 ○世界初の直胴型ボウル構造を採用し従来のデカンター型遠心脱水機の限界を超えた最新鋭機を開発。 【超高速嫌気好気水処理システム「DUOクイックリアクター」】 ○嫌気バイリアクターと好気バイリアクターのデュアルシステムによる超高速の水処理システムであり、冬季でも超高速水処理が可能である。		

39	(株)愛和	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	呉市阿賀南2-9-39	電話番号	0823-72-5050
URL	http://www11.ocn.ne.jp	資本金(万円)	1,000
業種	環境機械製造	従業員数	30
項目	○生ゴミ処理機「マジックボックス」の開発		
実施内容	○SDM菌という色々な微生物が酸素の力を借りて高温で生ゴミを発酵分解し、おもに水と炭酸ガスに分解。 ○マジックボックスでは温度を65℃～80℃程にコントロールし、大腸菌に代表されるような有害菌や病原菌を発酵熱で死滅させている。		

(広島県のつづき④)

40	三蓉エンジニアリング(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	呉市阿賀南2-10-1 呉ジャンプ・コア5号室	電話番号	0823-76-4669
URL	http://www.sanyoeng.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	廃棄物処理機器製造	従業員数	7
項目	○廃棄物(廃木材・石こうボード・古紙等)のリサイクルを目的とした機械設備の設計・製作・据付・販売(破砕機・粉碎機・フルイ機・選別機・搬送装置)		
実施内容	○家屋解体材・建設廃材は近年バイオマス発電燃料・製紙・ボード原料として注目される。弊社の破砕選別システムは廃木材を破砕・篩分け・選別する独自の技術システムを構成し高品質・大量生産・低コストのチッププラントを日本各地に納入実績を有する。		

41	広愛産業(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	三原市小泉町甲原241-4	電話番号	0848-60-9821
URL	http://www.koai.jp	資本金(万円)	1,000
業種	産業廃棄物処理業・バイオテクノロジー事業	従業員数	18
項目	○バイオごみ処理機と加熱溶融型燃料化装置の組み合わせにより、事業所からゴミが消えるシステムを開発		
実施内容	○生ごみ、プラスチック、紙等を同時に分解できる(分解率98%)バイオごみ処理機「K:OAI」と、現在開発中の「加熱溶融型燃料化装置“RMF”」の二つの装置を組み合わせる事で、事業所からゴミが消えるシステムを実用レベルで提供。 ○生ゴミはそのまま自社で培養した土壌菌や納豆菌など約20種類のバクテリアの働きでゴミを分解消滅する装置へ、紙やプラスチック類などは破砕機で粉碎後に投入する。ゴミは分解後、二酸化炭素と水を含む蒸気として放出され、投入量の98%が減容されるため残渣はほとんど残らない。 ○さらに焼却しないためダイオキシンが発生せず、二酸化炭素の発生量を抑える。		

42	永和国土環境(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	福山市南蔵王町2-21-27	電話番号	084-924-7402
URL	http://www.ecoeiwa.co.jp	資本金(万円)	5,000
業種	環境関連装置の販売及び研究開発・建設コンサルタント	従業員数	15
項目	○カキ殻を利用し、汚水を高度処理し、トイレ洗浄水に再利用する「アクアメイクシステム」の開発		
実施内容	○汚水をカキ殻で高度処理し、中水として再利用する装置「アクアメイクシステム」を開発。 ○このシステムは、公共水域の富栄養化抑制、絶大な節水効果、立地条件が不問、維持管理が容易で安価等の特徴があり、上水の不要な水洗トイレとして再利用可能なだけでなく、災害時の避難地においても、独立電源を使用して、水洗トイレが使用可能である。		

43	広和エムテック(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	福山市引野町5-15-9	電話番号	084-943-7734
URL	http://www.kowa-m.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	環境保全装置製造	従業員数	15
項目	○浮上油や浮遊物を吸引回収する装置の開発		
実施内容	○独自の技術によって浮上油・浮遊物の回収・分離装置、排水処理のための固液分離・油水分離装置を開発。 ○製品の1つである浮遊物回収装置「スクープロボ」は、自動的に液面の変化に追従しながら浮上油や浮遊物を吸引回収する装置であり、波のある水面でも回収が可能。また、油流出事故や廃水処理施設等でも使用可能。		

(広島県のつづき⑤)

44	(株)御池鐵工所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市神辺町大字川南396-2	電話番号	084-963-5500
URL	http://www.miike.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	機械工業、鉄鋼工業	従業員数	126
項目	○廃プラスチック、古紙、廃木材のRPF製造プラント、生ゴミ処理プラント、バイオマスボイラー、木質ペレット製造プラント、下水汚泥の固形燃料化プラント		
実施内容	○製作所から発生するオガ粉を圧縮し、固形燃料にするオガライト製造プラントの発売以来、一貫して廃棄物と呼ばれる「未利用資源」をいかに有効利用するかに挑戦し続け、今日の固形燃料RPF製造プラントの基本技術である「選別」「破碎」「成形」「乾燥」のノウハウを蓄積。廃プラスチック・古紙等からRPF燃料を製造するプラント、廃木材を破碎チップ化して、ボイラー燃料を製造するプラント、間伐材、剪定材等から木質ペレットを製造するプラント、食品残渣から飼料堆肥化する食品リサイクルプラント、有機汚泥の有効利用をめざす下水汚泥の固形燃料化プラント、RPF燃料、木屑チップ、木質ペレットを燃料とするバイオマスボイラーの各々製作、据付等々が主な取扱品目。		

45	伸洋産業(株)	分野	環境関連機器
住所	福山市松浜町4-3-44	電話番号	084-924-6511
URL	http://www.shinyoh.com	資本金(万円)	6,500
業種	廃棄物処理機の製造・販売	従業員数	8(開発要員)
項目	○低炭素化社会対応の水槽落下重力で“自家発電”		
実施内容	○垂直縦型枠の上下に装着の上部スプロケットと下部スプロケットに噛み合うエンドレス・チェーンに固着された回転水槽には、下部水槽の貯留水がポンプアップで最上部回転水槽に充填されて水量重力落下して下部水槽で自動排水、空槽は上昇で最上部で再度充填落下の繰り返し。 ○スプロケット半径・槽の数・槽貯水量の相関関係で発電量は小から大まで、ランニングコストは、水の自然蒸散量の補給だけで、-45℃でも不凍水で、天候無関係の24時間常時発電で、発電電力は新開発バッテリーに充電、変換、供給。 ○新開発バッテリーとリチウムイオンバッテリーの比較は、大規模大容量、耐久性は5倍で充放電同時可能なすぐれ物。 ○設置はビル屋上から山中まで、砂漠で水力発電の発想の新開発で超シンプル格安で新興国精算可能。		

46	エクセル(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	福山市神辺町旭丘47-6神辺工業団地	電話番号	084-965-1331
URL	http://www.excel-inc.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	LED照明開発製造、太陽電池ウエハー製造	従業員数	280
項目	○LEDを使用した照明灯の開発製造、オゾン水装置開発製造		
実施内容	○蛍光灯の約1/2.5と低消費電力、蛍光灯の約8倍と長寿命のLED照明灯。照明器具は既設の物を使用でき、照度は蛍光灯と同等。蛍光灯10w~110wまでのシリーズ。大幅な維持管理コストの削減、運転管理改善を図る。ダウンライトの電球型も20w~80wシリーズ。 ○オゾン水は除菌、消臭、洗浄、漂白効果が知られている。オゾン水濃度を4.5ppmまで可能で、簡易型なので場所が少なくよいため食堂、厨房、魚、肉等の洗浄に良い。薬品がないので手の荒れが少ない。 ○工場向けの空気清浄機は、特殊性が強いため、市場を考えペットや介護向けの室内でも置ける違和感のない家具調小型の清浄機を製品化した。人体に害がない活性炭を吸着剤として使用している。 ○特長としては、ゴミだけでなく臭いも除去でき、アンモニア臭の消臭は従来比の430倍。		

47	福山地方鋳物工業協同組合	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市明神町2-6-6	電話番号	084-931-0890
URL	-	資本金(万円)	-
業種	鋳物工業協同組合	加入企業数	15
項目	○鋳物の製造過程で生じる廃砂をリサイクルする装置の開発		
実施内容	○鋳物の製造過程で生じる産業廃棄物の「廃砂」削減を狙い、廃砂リサイクル機を福山市および学者の協力により開発。 ○中小企業向けの小型機で、投入された廃砂を磁石で鉄と砂に分類する。砂の再利用率はほぼ100%。 ○このリサイクル機の導入により、従来70~95%であった砂のリサイクル率が98%程度にアップする。		

(広島県のつづき⑥)

48	福山ゴム工業(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市松浜町3-1-63	電話番号	084-921-2311
URL	http://www.fukuyamagomu.co.jp/	資本金(万円)	4,680
業種	ゴム工業	従業員数	190
項目	○熱分解法による使用済みゴムクローラからの芯金回収装置に関する研究開発		
実施内容	<p>○中国地域で福山熱煉工業(株)が行っている熱処理技術と広島大学が研究している酸化及び付着物剥離技術を応用して、このテーマについて共同で研究することにより、芯金を元の形のまま回収し、再利用する研究開発を実施。</p> <p>○当面ゴム乾留用に改造した約0.5ton-クローラ/日規模の装置で実証実験を実施し、装置がゴムの乾留に十分適していることを確認した上で、約2t-クローラ/日規模の実機へと展開する予定。</p>		

49	(株)北川鉄工所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	府中市元町77-1	電話番号	0847-40-0545
URL	http://www.kiw.co.jp	資本金(万円)	864,000
業種	機械	従業員数	956
項目	○建設汚泥・焼却灰などを造粒・固化、土木資材などにリサイクルするユニット型リサイクルプラント「ペレック」		
実施内容	<p>○1台で解砕・混練・造粒をおこなう高性能ミキサ「ペレガイア」を搭載したユニット型リサイクルプラント「ペレック」。コンパクトで、トラック1台で運搬が可能、基礎工事が不要で設置撤去が簡単なため、とくに建設現場などで発生する汚泥・残土のオンサイト処理に適している。</p>		

50	豊国工業(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	東広島市西条町御菌字6400-3	電話番号	082-493-7005
URL	http://www.hokoku-kogyo.co.jp	資本金(万円)	45,000
業種	鉄鋼業、環境装置、立体駐車場	従業員数	343
項目	○食品工場対応・小型バイオガスプラントの開発		
実施内容	<p>○食品工場における有機性廃棄物のバイオガス燃料化とゼロエミッション化システムを開発。</p> <p>○メタン発酵消化による汚泥減量化と、回収バイオ燃料を利用した汚泥の真空乾燥で、ゼロエミッション化を実現。</p>		

51	(株)サタケ	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	東広島市西条西本町2-30	電話番号	082-420-8625
URL	http://www.satake-japan.co.jp	資本金(万円)	28,000
業種	食品加工用機械・精米機械製造	従業員数	950
項目	○バイオマスガス化発電システムの開発		
実施内容	<p>○地球温暖化の原因である二酸化炭素の削減のためバイオマスの有効利用の研究・開発を行い、その一つとしてバイオマスガス化発電システムを開発。</p> <p>○このシステムは木材や籾殻等のバイオマスをガス化発生炉で不完全燃焼、可燃ガスを発生させ、その可燃ガスを燃焼させエンジンを回して発電するシステムである。</p> <p>○高い熱効率(電気へ変換する熱効率は20%以上:木質原料の場合)、クリーンなガス(可燃ガス中のタールが少なく、酢液等の副産物無し)、様々なバイオマスが利用可能(木材・籾殻・竹・きのこ廃菌床・堆肥等)である。</p>		

(広島県のつづき⑦)

52	マツダ(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	安芸郡府中町新地3-1	電話番号	082-282-1111
URL	http://www.mazda.co.jp	資本金(万円)	15,006,800
業種	自動車製造業	従業員数	22,298(2009年3月31日現在) (単独:出向者含む)
項目	○アイドリングストップ技術や水素ロータリーエンジン自動車などの環境にやさしい自動車関連技術の開発		
実施内容	<p>○アイドリングストップ技術他CO₂や排出ガスなどの環境負荷物質低減に寄与する自動車関連技術の開発。</p> <p>○CO₂排出量ゼロで、水素とガソリンの併用が可能な水素ロータリーエンジン車の開発・リース販売。</p> <p>○石油資源を原料として全く含まない植物由来100%の自動車内装部品の開発や、食糧と競合しないセルロース系バイオマス原料のバイオプラスチック技術開発の共同開発。</p> <p>○廃棄処分にされる樹脂製バンパーを新車バンパーとして使用可能にするリサイクル技術の開発。</p>		

(5)山口県

53	(株)コプロス	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	下関市長府安養寺1-15-13	電話番号	083-246-0545
URL	http://www.copros.co.jp	資本金(万円)	9,000
業種	建設機械製造業	従業員数	120
項目	○地下埋設式のメタン発酵プラント技術の開発		
実施内容	<p>○食品廃棄物や畜産ふん尿を発酵させ発生したメタンガスを回収し電力や熱エネルギーに変換して利用する「ケコム・バイオガスプラント」の開発。</p> <p>○このプラントは、当社が開発した網管立坑工法であるケコム工法を応用した地下設置発酵槽を使用しており、地下設置のため温度管理が容易であり、また景観も良い。</p> <p>○発酵の過程で固形物が減容化できるため、エネルギー回収と同時に廃棄物処理費用の削減ができる。</p> <p>○畜産ふん尿で(有)鹿野ファーム殿(養豚)、食品廃棄物ではやまぐち県酪乳業(株)殿(乳製品廃棄物・排水処理余剰汚泥)で稼働している。</p>		

54	(株)カネヤス	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	下関市菊川町榑崎644-1	電話番号	083-288-2111
URL	http://www.kaneyasu.co.jp	資本金(万円)	7,106
業種	一般機械器具製造業	従業員数	34
項目	○梱包廃材減容機、紙類圧縮成形機の開発		
実施内容	<p>○梱包廃材減容機は、新聞梱包材リサイクルのために開発された商品であり、新聞が印刷所から販売店に配送される際に使用するポリ袋、PPバンドを選別・減容・梱包し、再生利用の低コスト化を図る。</p> <p>○紙類圧縮成形機は、破碎した古紙を圧縮・減容・成形梱包処理するもので、圧縮成形した紙は再生利用が可能である。</p>		

55	日環特殊(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	下関市山の田東町7-1	電話番号	083-253-7797
URL	http://www.nikkan-t.co.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	環境プラント事業・給排水衛生設備事業	従業員数	40
項目	○水処理工程で発生する有機性廃棄物の減量・エネルギー化システムの開発(3D汚泥破碎装置)		
実施内容	<p>○山口大学との共同研究で、水処理工程で発生する有機性廃棄物(汚泥)を減量・エネルギーに転換する「汚泥減量・バイオマス資源化システム」の開発に成功。共同開発製品「3D汚泥破碎装置」に汚泥を投入することにより汚泥を破壊・分解する。その後、消化行程にてバイオマスガスを発生させ、電力へ交換する。残渣物は通常処理より1/2以下に減量可能。この技術は(財)下水道新技術推進機構より技術評価を取得。(2009年7月:山口県初)</p>		

(山口県のつづき)

56	極東興産(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	下関市長府扇町8-10	電話番号	0832-48-4711
URL	http://www.kyokutohkousan.co.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	運搬・食品加工機械製造、据付	従業員数	51
項目	○養鶏場から出る鶏ふんを有機肥料化する装置の開発		
実施内容	○従来、高温で焼却するか産廃業者に処理を任せるしかなかった鶏ふんを有機肥料化する装置を開発(処理能力:12~15t/日)。 ○鶏ふんは倉庫内で発酵させた後、冷凍機で冷やし熱風で温度を下げながら、湿度15%の粒状にする。低温乾燥するため成分の変性が少なく栄養バランスに優れた有機肥料ができる。		

57	(株)内藤工業所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	宇部市大字木田614-1	電話番号	0836-62-0048
URL	http://www.naito-kogyosho.co.jp	資本金(万円)	4,500
業種	総合工事業	従業員数	19
項目	○ダム湖の流木を集積する流木塵芥集積船の開発		
実施内容	○平成11年にダム湖の流木を集積する専用船を自社開発。平成13年には水環境に配慮する為、同船の駆動を油圧から水圧駆動方式に変える研究開発を実施。 ○広範囲に浮遊する塵芥等を効率よく集積可能、従来の人力による収集方法に比べ安全作業が可能、喫水が浅く(40cm)、湖岸に堆積する塵芥等も容易に回収できる等の特徴がある。		

58	中村建設(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	宇部市大字中山1115-10	電話番号	0836-21-5802
URL	http://nakamura-k.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	総合建設業	従業員数	22
項目	○濁水処理システム「ミズコシタロウ」の開発		
実施内容	○濁水処理装置「ミズコシタロウ」は凝集剤が不要な濁水処理装置として国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)の認定を受けたフィルター濾過方式による濁水処理装置。		

59	宇部テクノエンジ(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	宇部市大字小串字沖の山1980	電話番号	0836-34-5134
URL	http://www.ube-ind.co.jp/techno/	資本金(万円)	13,000
業種	機械修理業	従業員数	294
項目	○バイオマス燃料ボイラー、小型ガス化発電設備の導入		
実施内容	<p>【Binderバイオマス燃料ボイラー】</p> <p>○ヨーロッパにおいて3,000台以上の納入実績を持つオーストリアBinder社の技術に当社の技術を付加した高性能で信頼性の高いバイオマス燃料ボイラー。さまざまな燃料性状に適した燃焼部を有していることから、各種バイオマス燃料に幅広く対応することが可能である。</p> <p>【AHT小型ガス化発電設備】</p> <p>○バイオマスガス化発電を普及価格で提供できるよう小型パッケージ化し、運転の容易性・安定性を追及したもので、国内需要に最適な製品である。</p>		

(山口県のつづき②)

60	海水化学工業(株)	分野	水質・土壌浄化機器/ 省エネルギーシステム
住所	防府市大字浜方535	電話番号	0835-22-8105
URL	http://www.kaisuikagaku.com	資本金(万円)	4,800
業種	化学工業	従業員数	47
項目	○屋上外断熱プラス潜熱冷却システム(ESGreenRf,ESCON-Rcシステム)／雨水利用システム		
実施内容	<p>【屋上外断熱プラス潜熱冷却システム ESGreen-Rf】 ○屋上緑化の問題点、不安を解消した改正省エネ法対応屋上省エネ・緑化システム。屋上土地空間の資産価値化、防水層・建物の寿命大幅延長にも有効な新省エネシステム。(社)土木学会地球環境技術賞受賞の信頼できる技術システム。(特許出願済、関連実案登録済)</p> <p>【屋上外断熱プラス潜熱冷却パネルシステム ESCON-Rc】 ○高度断熱板を機能性不燃無機表面層を一体積層成型したパネルを屋根面に連結固定。表面層は層内通水、保水、表面蒸散促進機能と熱反射機能を有し、低蓄熱性の潜熱冷却機能を有し、表面温度制御により間欠給水。軽歩行強度。(社)土木学会 地球環境技術賞。特許実案等出願済み。大型金属屋根、壁面用にも展開。</p> <p>【雨水貯留浄化システム RainCircular】 マイクロナノバブル方式好気性浄化機構。耐震性レベルⅡ。放水、トイレ、洗浄水として、屋上外断熱プラス潜熱冷却システムや駐車場緑化、校庭緑化等の水源として。ライフラインとして。</p> <p>【高品位コウライ芝新品種 SCRUM 他】 校庭緑化、屋上緑化、高規格スポーツクラブターフに最適な高品位芝郡</p>		

61	西日本セラテック(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	周南市浜田1-2-5	電話番号	0834-63-1326
URL	-	資本金(万円)	1,200
業種	薪炭、セラミックス製品・加工	従業員数	2
項目	○剪定枝・食品残さ等の連続炭化装置を開発		
実施内容	<p>○廃木材・食品残渣・有機汚泥などを廃棄物とすることなく「バイオマス(炭化物原料)」として活用し、環境汚染物質吸着剤などに有効利用する為の、新方式による炭化リサイクル装置を研究開発。</p> <p>○炭化装置は、ダイオキシン吸着剤など従来にない付加価値の高い製品製造が可能であり、安価なプラント価格、自然と廃熱利用による省燃費設計などの特徴がある。</p>		

5 - 4. 環境関連企業（環境調和型製品製造分野）

5-4.環境関連企業(環境調和型製品製造分野)

(1)鳥取県

1	(株)アスコ	分野	水質・土壌浄化製品
住所	鳥取市南吉方1丁目73	電話番号	0857-22-1216
URL	http://www.asc-co.jp/	資本金(万円)	2,000
業種	建設コンサルタント	従業員数	27
項目	○「バイオ化研菌」の販売。水質・ヘドロ浄化用「バイオコロニー」、水質浄化・悪臭処理用「バイオリキッド」植物発育・家畜混合飼料用「バイオテック」		
実施内容	○「バイオコロニー」は、粒状の製品で好気性・嫌気性条件下で活動可能であることから水質の悪化した、湖沼等の水質浄化・悪臭処理用。「バイオリキッド」はグリストラップ内の汚水、汚泥、悪臭浄化用でバッキ装置などの設備・維持管理が不要。「バイオテック」は、土壌中の残留物をバクテリア群が分解し植物発育を促す・家畜混合飼料用としても微生物群によって家畜の生長を促進させる。		

2	大村塗料(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	鳥取市千代水3-87	電話番号	0857-28-7881
URL	http://www.omuratoryo.co.jp	資本金(万円)	6,000
業種	塗料製造・卸	従業員数	8
項目	○プラスチックリサイクルを可能にするコーティングシステムの開発		
実施内容	○プラスチックリサイクル時に容易に融解脱離できる剥離性アンダーコートを開発。 ○アンダーコートとの層間剥離がなく密着性に優れ、意匠性・機能性を具備するトップコートを選択することにより2コート使用ではあるが効率的なプラスチックのマテリアルリサイクルが可能となる。 ○また、同時に開発した剥離液の組成は、環境に対し影響がほとんどなく、生分解性を有するものである。		

3	(株)ジャパン緑化	分野	環境負荷低減製品
住所	鳥取市鹿野町鷲峯234	電話番号	0857-84-6000
URL	http://www.japan-ryokka.co.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	製造業・建設業	従業員数	12
項目	○針葉樹皮を原料とした環境保全型建設資材「E-ソイル」の製造		
実施内容	○杉や檜の樹皮を特殊加工し、ミネラルコンポストにより表面活性処理された新しい多目的環境保全型建設資材「E-ソイル」を製造。 ○用途として、緑地の土壌改良剤、クレイ(土)系グラウンドの土壌安定材、屋上緑化土壌、法面の厚層基盤材、マルチング材、透水性舗装材など色々な場面で利用可能である。 ○「E-ソイル」の特長は殺菌力があるため土壌中の根腐れ菌を抑制し、植栽に適した土壌に改良できること、アオコも発生せず、河川や湖沼を汚染しないこと、細やかな繊維が複雑に絡み合う構造から、軽量でも強風による飛散や雨水による流出が起こりにくいなどがある。最近では脱臭や断熱の効果もあることが判明。		

4	(株)イルカカレッジ	分野	水質・土壌浄化製品
住所	米子市万能町127	電話番号	0859-35-9787
URL	http://www.iluka.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	各種コンサルティング事業	従業員数	4
項目	○水の浄化、水質改善装置の研究開発		
実施内容	○廃油の出る事業所で、手軽に廃食油を精製し、その場の電気に変換するためのろ過装置を開発しており、現在鳥取大学医学部にて実証試験を実施。 ○仕組みは特殊なるろ過フィルターで不純物をろ過した廃食用油に調整剤を入れるだけの簡単なもの。 ○電気自動車の技術開発・指導・販売。 ○水の浄化、水質改善装置の研究開発・指導・販売。 ※環境関連の中心はEV(電気自動車)と水の活性化で活動している。		

(2) 島根県

5	小松電機産業(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	松江市乃木福富町735-188	電話番号	050-3161-2490
URL	http://www.komatsuelec.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	電気機械器具製造	従業員数	89
項目	○CO2排出削減に役立つ高速シートシャッター「門番」の開発・製造・販売		
実施内容	○シートシャッター「門番」は、人や車輛が近づくとセンサーで感知し高速開閉する製品。「門番」独自のECOシステムでCO2排出削減。地球温暖化防止を推進。食品・精密機器など多様な工場の安全・清潔・省エネを追求し、世界に喜びの輪を広げる。		

6	(株)イズコン	分野	水質・土壌浄化製品
住所	出雲市大津町1778-1	電話番号	0853-23-2633
URL	http://www.izcon.jp	資本金(万円)	8,000
業種	コンクリート製品製造	従業員数	225
項目	○循環型社会構築に貢献する環境保全・資源循環型コンクリートの開発		
実施内容	○水質汚濁を引き起こす原因物質であるリンを、河川から選択的に除去することができる、浮島型リン吸着コンクリートの開発にも成功。 ○リン吸着コンクリートの用途を更に拡大するために、湖沼やダム、流れの緩やかな都市河川などの停滞水域で利用することができる、浮島型リン吸着コンクリートの開発にも成功。 ○本製品は、リン吸着材料と軽量な発泡ガラスを利用したリン吸着コンクリートに、専用の浮力体と植物を複合化しており、水質浄化と景観的効果を同時に発揮する。		

(3) 岡山県

7	谷口商会(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	岡山市藤田338-31	電話番号	086-296-5906
URL	http://www.taniguti.co.jp	資本金(万円)	3,500
業種	環境保全装置・資材改造	従業員数	20
項目	○水面・水中・路面・床面・土壌などの油濁による環境汚染の防止・除去用資機材の開発、製造、販売		
実施内容	○浮遊活性炭化物「スミレイ」。水に浮かび油だけを選択的に吸着する特殊炭化物。コーヒー抽出残渣リサイクル品。 ○スミレイオイルフェンス。油を吸着しつつ流化拡散防止。軽量で一人でも張れる。水深が浅い場所でも防除可能。 ○スミレイオイルマット。超薄油膜まで回収可能な吸着力と急流でも数日間浮かび続ける浮力を持つ高性能マット。 ○コブラ。油事故現場で油膜や細かなゴミを迅速・精密に除去する携帯型スキマーと濾過機のセット。 ○路面・床面用の液体吸着材「ACライト」。1mm程度の粒状の多孔質セラミックス。吸着後もべたつかない。 ○高速凝集剤「オイルロックス」。水中に乳化分散した油や塗料やコンクリートを現場で簡単に凝集除去できる。 ○高機能油水分離器「MUCHシステム」。動力も消耗資材も要らず、排水基準クリア。油汚染土壌対策・復旧にも。 ○「ACバイオ」。油汚染土壌に混ぜて油を吸着させ、油を分解除去するバイオレメディエーション資材(粉体)。		

8	日本エス克蘭工業(株) 西大寺工場	分野	水質・土壌浄化製品
住所	岡山市金岡東3-3-1	電話番号	086-942-9800
URL	http://www.exlan.co.jp/	資本金(万円)	200,000(全体)
業種	化学繊維	従業員数	-
項目	○光触媒の効果で消臭・抗菌機能を高めるアクリル繊維の開発		
実施内容	○光触媒の効果で消臭・抗菌機能を高めるアクリル繊維を開発。 ○光触媒に使うのは酸化チタン。太陽光や蛍光灯の光で酸化還元反応を起こし、においや汚れの原因となる有機物を水と二酸化炭素に分解する。 ○繊維は酸化チタンを練り込んだ層と、直径数十ナノメートルの穴が無数に開いた層による多層構造。繊維の表面積は通常のアクリル繊維の10倍に拡大し、有機物などが吸着しやすくなる。		

(岡山県のつづき)

9	豊和(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	倉敷市児島田の口4-4-18	電話番号	086-477-6060
URL	http://www.howa-net.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	染色整理業	従業員数	250
項目	○環境に優しい脱色加工「エアークロッシュ」の開発		
実施内容	<p>○従来の有害な脱色剤を使用しない、オゾンで脱色する加工「エアークロッシュ」を開発。 ○オゾンの原料は大気中の酸素であり、排水もほとんど出ない為、地球環境に優しい脱色方法である。 ○6カ国において国際特許を取得し、開発したオゾンウォッシャーにて量産が可能である。 ○従来の脱色剤を使った仕上がりに加え、ユニークな表情をあわせ持った脱色加工が可能。</p>		

10	アールビーシーコンサルタント(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	津山市高野山西478-3	電話番号	0868-26-5205
URL	http://www.rdc-kk.co.jp	資本金(万円)	4,800
業種	建設コンサルタント	従業員数	17
項目	○水質浄化活性炭の粉末「バクチャーパウダー」を使用した浄化法の開発		
実施内容	<p>○水質浄化活性炭の粉末「バクチャーパウダー」を使用した浄化法は、これまでの水質浄化システムの常識を打ち破った自然浄化法。 ○水量に対し30PPM(重量比)のバクチャーパウダーを散布すると、やがて原生動物が確認できるようになり、これらの微生物は、有機物を分解・摂取して栄養源にするとともに、自らも魚などの餌となり、理想的な食物連鎖が形成される。 ○その結果、富栄養化の原因となる窒素やリンは除去され、「自然浄化法バクチャーシステム」が完成。</p>		

11	日本植生(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	津山市高尾573-1	電話番号	0868-28-0251
URL	http://www.nihon-shokusei.co.jp	資本金(万円)	34,295
業種	建設業、造園業、土木建築材料製造	従業員数	290
項目	○水環境に配慮した機能炭を利用した植生基材マット「エコステーション」の開発		
実施内容	<p>○「エコステーション」に利用されている機能炭は硝酸性窒素を吸着することができ、さらに吸着した硝酸性窒素を植物に還元し、硝酸性窒素を有効に活用できる水環境に配慮した炭である。 ○間伐剤チップや食物残渣などのリサイクル材で機能炭を製造しており、循環型社会にも貢献。</p>		

12	(有)植田木工	分野	環境負荷低減製品
住所	真庭市月田7408-1	電話番号	0867-44-3462
URL	-	資本金(万円)	500
業種	木工業	従業員数	5
項目	○湿度調整機能及び化学浮遊物質や悪臭を吸着する炭質材の製造		
実施内容	<p>○昔から使用されている墨を再処理して、炭素商品の応用範囲を広げた環境、健康にやさしい成型炭を製造。 ○木質系炭材を粉砕し環境にやさしい繋ぎ材と攪拌、その後高温高圧処理された成型炭は湿度調節機能及び科学浮遊物質や悪臭を吸着する炭質材に再生される。 ○煮沸または水洗い可能で再利用でき、強度な衝撃により破損した場合には土壌に返すことができる環境配慮型炭質材である。</p>		

(岡山県のつづき②)

13	中備化工(有)	分野	環境負荷低減製品
住所	浅口市寄島町3183-1	電話番号	0865-54-3231
URL	http://www.straw-kobo.co.jp/	資本金(万円)	600
業種	プラスチック加工	従業員数	11
項目	○生分解性プラスチックを使用したストローの製造		
実施内容	○ストローの材料となる生分解性樹脂は、使用後は生ゴミと同様にコンポスト化できる、焼却しても有害物質を発生しないなどという特色があり、地球に優しく環境に負荷をかけないエコロジー素材として注目されつつある。		

14	大橋化学工業(株)岡山工場	分野	環境負荷低減製品
住所	勝田郡勝央町太平台40	電話番号	0868-38-4131
URL	http://www.ohashi-chem.com/	資本金(万円)	10,000(全社)
業種	塗料製造・卸	従業員数	200(全社)
項目	○各種機能性塗料、溶剤の製造		
実施内容	○高硬度、耐摩耗性、耐擦傷性、耐化学薬品性、耐溶剤性など非常に優れた塗膜性能を持った機能性塗料を開発。 ○高い生産効率、省エネルギー、環境対策に有利である。		

(4) 広島県

15	(株)テックコーポレーション	分野	環境負荷低減製品
住所	広島市中区三川町2-6	電話番号	082-247-1100
URL	http://www.techcorporation.co.jp	資本金(万円)	7,000
業種	環境機器開発・製造・販売	従業員数	110
項目	○業務用環境機器の開発・製造・販売		
実施内容	○食品資源リサイクル機器(バイオ式生ゴミ処理機)「マジックバイオくん」は、独自に精製したバイオ菌の働きを利用し、有機物を水と炭酸ガスに分解する装置で、すでに学校や病院、ホテルやレストラン、食品加工工場といった様々な業種に導入されている。この「バイオ式処理」は、焼却処理する場合と比べて環境に優しいという一面もあり、環境意識の高まりとともに問合せの件数も増加している。		

16	(株)大野石油店	分野	環境負荷低減製品
住所	広島市中区西白島町22-15	電話番号	082-221-9107
URL	http://ohno-group.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	石油製品および自動車関連商品の販売、自動車整備	従業員数	240
項目	○酸化チタンを利用した光触媒製品「ミラクルチタン光触媒コート」の製造・開発・販売		
実施内容	○酸化チタンを利用した「ミラクルチタン光触媒コート」を独自開発。 ○ミラクルチタンは安全で光触媒効率がよく、また作業が容易であるなど優れた特長がある。 ○消臭、抗菌、防汚、防カビに効果があり、建材や応用商品など幅広い範囲で提供。		

(広島県のつづき)

17	(株)板野紙工	分野	環境負荷低減製品
住所	広島市佐伯五日市町上河内468	電話番号	082-928-0515
URL	-	資本金(万円)	1,000
業種	ダンボール製品各種抜型の製造販売	従業員数	14
項目	○紙製品、パッケージの企画設計・リサイクル率の高いダンボールを材料とした製品の開発、製造、販売		
実施内容	○これからの時代にマッチした、循環型社会対応が可能な製品、リサイクル性の高いダンボールを素材とした工業製品の包装緩衝材や家庭向けにデザイン性を加味し今までにない家具やアイデア雑貨を開発、製造している。		

18	ケイ・イー・シー	分野	環境負荷低減製品
住所	尾道市美ノ郷町三成1998-2	電話番号	050-3440-2188
URL	http://www.kec-intl.com/	資本金(万円)	-
業種	節電省エネ機器装置開発事業	従業員数	-
項目	○待機電力をゼロにカットする節電装置		
実施内容	<p>○待機電力をゼロにカットする節電装置を開発。節電機能以外に遠隔にある機器の電源をオン・オフし遠隔コントロールする目的でも使用されている。</p> <p>○つけるだけで待機電力をゼロにし、電力、二酸化炭素も82%カットできる。</p> <p>○発明大賞・考案功労賞受賞・中小企業優秀新技術&新製品賞・優秀賞を受賞している製品。</p> <p>○1994年に開発し、現在はNTT-AT社との提携によりファックス用の節電装置「節電虫」商品の生産と販売を行っている。</p> <p>○2009年度はすべての家電商品や電気機器に使用でき、携帯電話からも電源遠隔コントロール可能な「スーパー節電虫」を開発。</p> <p>○2010年度はスーパー節電虫をマイコン自動化した「スマート節電虫」を開発。</p>		

19	(株)伸友	分野	環境負荷低減製品
住所	福山市南手城町2-24-26	電話番号	084-923-2125
URL	hyyp://www.shinyuu.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	産業機械及び化学薬品販売	従業員数	25
項目	<p>○環境、物流、省エネ設備販売施工</p> <p>○処理薬品、繊維加工薬品の販売</p>		
実施内容	<p>【環境設備、省力物流設備、省エネ設備の提案、営業】</p> <p>○省エネルギー型ボイラーの販売、施工(四位置燃焼制御)。</p> <p>○インバーター制御型省エネルギーコンプレッサーの販売(あらゆる負荷変動においても最高の省エネを実現)。</p> <p>○用水から廃水まで、総合的に「省エネ」「環境への負荷低減」を考慮したトータルシステムソリューションの提案。</p> <p>○低炭素社会の実現に向けたCO2削減技術の企業診断、技術提案。</p>		

20	日東製網(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	福山市一文字町14-14	電話番号	084-953-1234
URL	http://www.nittoseimo.co.jp	資本金(万円)	137,800
業種	漁具	従業員数	264(全体)
項目	○漁網を応用した網製の買い物用バッグの開発		
実施内容	<p>○漁網を応用した網製の買い物用バッグ「shopping網(ショッピング・アミーゴ)」を開発。</p> <p>○ポリプロピレン製で無結節網を採用。約60kgまで耐久性を持たせた漁網を応用しているため、耐水性にも優れており、2年程度は繰り返し使用が可能である。</p>		

(広島県のつづき②)

21	広島化成(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	福山市松浜町2-2-11	電話番号	084-922-7210
URL	http://www.hirosimakasei.co.jp	資本金(万円)	20,000
業種	ゴムプラスチック製品製造	従業員数	400
項目	○環境負荷を低減した熱可塑性エラストマー製品の開発		
実施内容	○リサイクル性に優れた環境への負荷を小さく出来る製品を目指し、発泡剤として水を用いた地球に優しい熱可塑性エラストマーのスポンジ製品を開発。 ○プラスチック成型方法で、リサイクル可能で環境に負荷をかけないゴム同等の性能を有した製品の開発。		

22	JFEスチール(株) 西日本製鉄所	分野	水質・土壌浄化製品
住所	福山市箕沖町113	電話番号	084-945-4149
URL	http://www.japan-ryokka.co.jp/	資本金(万円)	23,964,400(全社)
業種	製鋼・製鉄業	従業員数	14,492(会社・単独)
項目	○鉄鋼スラグによる海域環境改善技術(藻場・浅場造成)		
実施内容	○製鉄副産物である鉄鋼スラグを用いた、リサイクル材のみによる藻場・浅場製造技術を確立。 ○海域環境改善効果があり、浚渫土との組み合わせも可能である。 ○炭酸カルシウムによる高い生物親和性がある。		

23	ミサワ環境技術(株)	分野	環境浄化製品・環境負荷低減システム
住所	三次市向江田町4252-2	電話番号	0824-66-2281
URL	http://www.ecomisawa.com/	資本金(万円)	4,000
業種	建設業・建設コンサルタント	従業員数	40
項目	①「バイオ化研菌」の販売。水質・ヘドロ浄化用「バイオコロニー」、水質浄化・悪臭処理用「バイオリキッド」植物発育・家畜混合飼料用「バイオテック」。 ②地球温暖化防止技術「地中熱利用システム」		
実施内容	①「バイオコロニー」は、粒状の製品で好気性・嫌気性条件下で活動可能であることから水質の悪化した、水質浄化・悪臭処理用。「バイオリキッド」はグリストラップ内の汚水、汚泥、悪臭浄化用でパッキ装置などの設備・維持管理が不要。「バイオテック」は、土壌中の残留物をバクテリア群が分解し植物発育を促進、家畜混合飼料用としても微生物群によって家畜の生長を促進させる。 ②地下100mより採熱した地中熱を路面融雪や冷暖房・給湯へ利用することで、以下につながる。 (1)ヒートアイランド現象抑制 (2)化石燃料を用いないのでCO2排出削減(3)ライフサイクルコストを低減。		

24	戸田工業(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	大竹市明治新開1-4	電話番号	0827-59-0083
URL	http://www.todakogyo.co.jp	資本金(万円)	556,200(全社)
業種	化学工業	従業員数	406(全社)
項目	○高濃度VOC汚染土壌・地下水を短期間で浄化「RNIP」重金属類を固化・不溶化し溶出を抑制「AMH」		
実施内容	○高濃度VOC(揮発性有機塩素化合物)汚染土壌・地下水を短期に浄化可能な、ナノスケールの高性能ナノ鉄複合粒子「RNIP」と、重金属類を固化・不溶化し、溶出を抑制する無機系酸化粉末「AMH」を開発。 ○「RNIP」はVOCを短時間で高速分解浄化し、通常鉄分の30倍以上の強い還元性能によりVOCを水素化脱塩素して完全に分解・無害化する。高い浸透性により深層汚染にも対応可能である。 ○「AMH」は汚染土壌等の重金属類を固定・不溶化して溶出を抑制するもので、マグネシウム、カルシウム、アルミニウム、鉄等から構成された環境に優しい無機系酸化粉末である。		

(広島県のつづき③)

25	(株)あべダンボール	分野	環境負荷低減製品
住所	東広島市黒瀬町宗近柳国82-1	電話番号	0823-82-6181
URL	-	資本金(万円)	1,200
業種	段ボール製造	従業員数	25
項目	○パルプ素材より製造する保冷容器「パル・クール」の開発		
実施内容	<p>○リサイクル可能な保冷容器「パル・クール」(商品名)を開発。 ○オールパルプ系素材で構成した完全リサイクル可能でクリーンな次世代保冷容器であり、特徴は発泡スチロール製とほぼ同じレベルの保冷力を有し、耐水処理したパルプモードを内蔵しているので気密性が高く、水も空気も外に出さない。</p>		

26	(株)メンテック	分野	環境装置製造販売
住所	東広島市八本松飯田2丁目2-1	電話番号	082-436-4800
URL	http://www.mentec.co.jp	資本金(万円)	9,675
業種	メンテナンス業・環境装置製造販売	従業員数	100
項目	○泡の力でダストを消す「ダストバスタ」の開発		
実施内容	<p>○粉じん抑制剤により水の表面張力を低下させ、水とダストのなじみを良好にし、泡を成形することによりダストに接触する表面積を数十倍にするという2つの特徴の相乗効果により絶大な粉じん抑制効果を発揮させる。 ○さらに、その使用水量は散水方式の1/5～1/10でよく、ダストを外部へ流出させず公害問題を未然に防止できる。 ○粉じん抑制剤の使用量は使用水量1に対して200分の1～1,000分の1の使用量と極めて少なく経済的な粉塵対策が可能。</p>		

(5) 山口県

27	宇部興機(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	宇部市大字善和字大日203-230	電話番号	0836-62-0101
URL	http://www.ubekohki.co.jp/index.htm	資本金(万円)	2,000
業種	-	従業員数	65
項目	○ソーラー発電と発光ダイオード(LED)のベストマッチングシステム		
実施内容	<p>○ソーラー発電と発光ダイオード(LED)のベストマッチング製品。 ○超高輝度白色LEDを最適配置しているため、同一ワット数の白熱電球や蛍光灯を上回る明るさと、非常に発熱の少ない光が得られる。 ○もともと超寿命のLEDを、各種センサーでコントロールすることにより、ランプの寿命切れによる交換作業が不要となる。 ○省エネのため、通常は低照度で点灯し、人体検知センサーが感知したとき一定時間(任意タイマー)高照度点灯する。また、照明タイマーで不要な深夜の点灯を停止することができる。</p>		

28	萩ガラス工房(有)	分野	環境負荷低減製品
住所	萩市大字椿東1189-453	電話番号	0838-26-2555
URL	http://www.hagi-glass.jp	資本金(万円)	1,000
業種	窯業・土石製品製造業	従業員数	10
項目	○ガラス質結合剤による高性能多孔質セラミックフィルターの研究開発、事業化及び需要開拓		
実施内容	<p>○高性能性を有するセラミック薄膜剤を直接表層に焼結付加させることにより、限外濾過領域であるサブミクロンオーダーでの濾過精度を有し、圧力損失が少ない一体型高機能性多孔質セラミックフィルターエレメントを開発。 ○この技術を薬品を一切使わない上水道用浄化装置用への適用について事業拡大中である。</p>		

(山口県のつづき)

29	東ソー(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	周南市開成町4560	電話番号	03-5427-5167(本社:有機化成品事業)
URL	http://www.tosoh.co.jp	資本金(万円)	4,063,300(全社)
業種	化学工業	従業員数	2,802(全社)
項目	○ガルバニック電池作用により土壌・地下水中のVOCを分解する剤の開発		
実施内容	<p>○MA-W100、MA-W200は従来の鉄粉に改良を加え、分解性能を飛躍的に向上させた新しいVOC分解剤である。鉄を主体とする粉体内部に、カソード(陰極)、アノード(陽極)から成る局部電池(4ガルバニック電池)を形成し、その電池作用(発生電子、あるいは発生水素)により優れた脱塩素分解性能を有する。</p> <p>○MA-W100は、環境基準値の数十倍程度のVOC汚染をターゲットに開発された、高い分解性能を確保しながら使いやすい価格レベルに抑えたタイプで、MA-W200は環境基準値の百倍以上の汚染をターゲットにする場合や、浄化期間を最短にする場合に使用される高性能タイプである。</p>		